LINEAR PCM RECORDER

LS-7

リニア PCM レコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を正しく安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
失敗のない録音をするために試し録りをしてください。

はじめに

- 本書の内容については将来予告なしに変更する場合があります。商品名、型番など、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 取扱説明書で使用している液晶画面や本機のイラストは実際の製品とは異なる場合があります。また、本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の著作権はオリンパス株式会社、およびオリンパスイメージング株式会社が所有しております。本書を無断で複製したり、複製物を無断で配布したりすることは著作権法により禁じられています。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害や、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関しても、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

商標および登録商標について

- IBM、PC/AT は、International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media は Microsoft Corporation の登録商標です。
- microSD と microSDHC は、SD Card Association の商標です。
- Macintosh、iTunes は米国アップル社の商標です。
- MP3 オーディオ符号化技術は Fraunhofer IIS 社と Thomson 社からのライセンスに基づき製品化されています。
- EUPHONY MOBILE、DVM は、DiMAGIC（ダイマジック社）の商標です。
- 日本電気株式会社からのライセンスに基づくノイズキャンセル技術を利用して製品化されています。
- Olympus Sonority は NTT エレクトロニクス株式会社の音声区間検出技術を利用して製品化されています。

その他の本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

PEAK L
OLYMPUS
PEAK R
SCENE
F1
MENU
F2
STOP
REC
OK
ERASE
VOL
LIST

INDEX

目次

はじめに

1 ご使用になる前の準備

2 録音について

3 再生について

4 メニューについて

5 本機をパソコンでお使いいただくためには

6 資料

安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの取扱説明書をお読みになって、正しく安全にお使いください。また、お読みになった後は、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。

安全に関する重要事項

- 安全に関する重要事項は、以下の表示と文章で示されます。あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守ってください。
- 表示の意味は、次のようになっています。

危険

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される」内容を示します。

警告

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

注意

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容を示します。

使用上のご注意

- 直射日光下の車の中や夏の海岸など、高温・多湿の場所に放置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
- 水気がついたら、すぐに乾いた布で水分を拭き取ってください。特に塩分は禁物です。
- 清掃するとき、アルコールやシンナーなど、有機溶剤を使用しないでください。
- テレビ・冷蔵庫などの電気製品の上や近くに置かないでください。
- 砂や泥をかぶらないようにご注意ください。修理不可能なほどの故障になることがあります。
- 強い振動やショックを与えないでください。
- 水気の多い場所で使用しないでください。
- 磁気カード（銀行のキャッシュカードなど）をスピーカやイヤホンの近くに置くと、磁気カードに格納されたデータに異常が生じることがあります。
- 三脚を取り付ける場合、本機を回さず三脚側のねじを回してください。

＜データ消失に関する注意事項＞

- メモリへの記録内容は誤操作、機器の故障、修理などで破壊されたり消えることがあります。大切な記録内容はパソコンのハードディスク、MO などのメディアにバックアップし、保存されることをおすすめします。
- 本製品は故障，当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じたデータの消失による損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

＜録音したファイルに関する注意事項＞

- 本機やパソコンの故障により、録音したファイルが消去されたり再生不能となった場合でも、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

本機について

⚠ 警告

● **可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。**
引火・爆発の原因になります。

● **分解、修理、改造をしないでください。**
感電やけがをするおそれがあります。

● **車両（自転車、バイク、車など）の運転をしながら操作しないでください。**
交通事故などの原因となります。

● **この製品を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。**
幼児、子供の近くで使用するときは細心の注意を払い、不用意に製品から離れないでください。幼児､子供には警告･注意の内容の理解ができませんし、加えて以下のような事故のおそれがあります。例えば
- 誤ってイヤホンコードを首に巻き付け、窒息する。
- 操作を誤りケガや感電事故などを起こす。

● **microSD ／ microSDHC カード以外は、絶対に本機に入れないでください。**
その他のカードを誤って入れた場合は、無理に取り出さず、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。

● **水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、**
① 速やかに電池を抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

● **航空機内や病院など使用に制限のある場所ではご使用をお避けになるか、その場所の指示に従ってください。**

● **異臭、異常音、煙が出ていたりするなどの異常を感じたときは使用を中止してください。**
火災・やけどの原因となることがあります。やけどに注意しながらすぐに電池を取り出し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご連絡ください（電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け、屋外で行ってください）。

● **本機をストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意してください。**

⚠ 注意

● **操作前から、音量を上げないでください。**
聴覚障害、聴力低下を引き起こすおそれがあります。

電池について

⚠ 危険

● **火気のある場所に電池を置かないでください。**

● **火の中への投入、加熱、⊕と⊖極間のショート、分解をしないでください。**
火災・破裂・発火・発熱の原因となります。

● **直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしないでください。**

● **⊕と⊖端子を接続しないでください。**
発熱や感電・火災の原因になります。

● **電池を持ち運んだり、保管する際は必ずケースに入れて、端子部分を保護してください。キーホルダーなどの貴金属と一緒に、携帯・保管しないでください。**
発熱や感電・火災の原因になります。

● **電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。**

● **直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置しないでください。**
液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・やけど・けがの原因となります。

⚠ 警告

● **濡れた手で触ったり持ったりしないでください。**
感電・故障の原因となります。

● **外装にキズや破損がある電池は使用しないでください。**
破裂・発熱の原因となります。

● **電池の極性（⊕と⊖）を逆に入れないでください。**
電池は、液漏れ、発熱、発火、破裂するおそれがあります。
- 外装シール（絶縁被覆）の破れた電池を使わないでください。
- 長期間使用しないときは、必ず電池を取り出して保管してください。
- 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示に従って廃棄してください。
- 使えなくなった電池は速やかに本機から取り出してください。液漏れのおそれがあります。

● **電池の液が目に入った場合は失明のおそれがありますので、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。**

● **充電できないアルカリ電池、リチウム電池などを充電しないでください。**

● **電池は幼児・子供の手の届くところに置かないでください。**
電池は幼児・子供が飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

● **万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、**
① けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。放置すると火災や火傷の原因となります。

● **水や海水などにつけたり、端子部を濡らさないでください。**

● **液漏れ、変色、変形、その他の異常が発生した場合は、使用を中止してください。**

- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
- 電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

⚠ 注意

- 充電した電池と放電した電池を一緒に混ぜて使用しないでください。
- 容量、種類、銘柄の異なる電池を一緒に混ぜて使用しないでください。
- ２本の電池を同時に充電してご使用ください。
- 電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。
- 充電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用の前に必ず充電してください。
- 充電池には寿命があります。指定する条件で充電しても使用時間が短くなったときは寿命と判断し、新しい充電池と取り替えてください。

充電式電池の廃棄について

- 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、⊕と⊖端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。
詳しくは一般社団法人 JBRC ホームページ (http://www.jbrc.com) をご覧ください。

Ni-MH

ソフトウェアについて

⚠ 警告

- 付属の CD-ROM を音楽用 CD プレーヤーで再生しないでください。
スピーカやヘッドホンを破損したり、聴力低下を引き起こすおそれがあります。

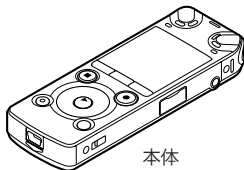
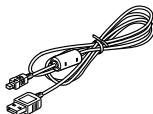
主な特長

- 内蔵 3 マイクシステムを搭載（高感度ステレオマイクとセンターマイク）。
高感度ステレオマイクとセンターマイクの組み合わせにより、高域から低域までバランスに優れた広帯域の録音が可能です。
- 原音を忠実にとらえる、高感度・低ノイズステレオマイクを採用。マイク自体を 90 度外側に向けることにより、自然で広がりのあるステレオ感で録音できます。
- CD レベル以上の音質で記録できるリニア PCM 形式に対応。さまざまな音源を、リアルに録音できます。音楽C D（サンプリングレート 44.1 kHz、ビット 数16 bit）以上の高サンプリングレート、ビット数での高解像度録音が可能です（☞ P.68）。
- 多彩な録音形式に対応。MP3 形式（MPEG-1/MPEG-2 Audio Layer3）をはじめ、WMA（Windows Media Audio）形式にも対応。ファイルを高圧縮で保存できるので長時間録音も可能です（☞ P.68）。
また、外部機器を接続すればアナログ音声入力信号をパソコンなしでエンコードできます（☞ P.38）。
- 本機で録音したファイルのほかにも、パソコンから転送した WAV、WMA、MP3 形式のファイルを再生できます。ミュージックプレーヤーとして、いつでもお楽しみいただけます。
- 大容量記録メディアに対応。内蔵フラッシュメモリのほか、市販品の microSD カードにも記録できます（☞ P.27）。
本機で動作確認済みの microSD カードについては、弊社 Web サイトでご確認ください。
http://olympus-imaging.jp/
- 録音開始時の最大２秒前※から録音を開始するプリレコーディング機能を搭載。例えば小鳥の鳴き声を録音する場合、鳴いた瞬間に録音ボタンを押すと、鳴き始める最大２秒前※ からの録音が始まります（☞ P.87）。
※ ［**録音モード**］の設定によって異なります。
- 録音をサポートする多彩な機能を搭載。録音レベルやマイク感度の調整、録音状況やお好みに応じ、各種録音機能をカスタマイズできます（☞ P.66 ～ P.88）。
- 音声に反応して自動的に録音の開始・停止を行う音声起動録音（VCVA）機能（☞ P.75）や音声同期録音機能（☞ P.77）、ノイズをカットして録音するローカットフィルタ機能（☞ P.73）を搭載しています。
- ノイズをカットして、音声をクリアに再生できるノイズキャンセル機能（☞ P.89）と、音声フィルタ機能（☞ P.92）を搭載しています。
- 用途に合わせてあらかじめ録音または再生の音質やモード設定を登録することができる録音シーン設定（☞ P.48、☞ P.83）と再生シーン設定（☞ P.48、☞ P.99）機能を搭載しています。
- 多彩なリピート機能を搭載しています（☞ P.46、P.93）。
- 音質劣化がなく自然な臨場感を作り出す EUPHONY MOBILE を搭載しています（☞ P.90）。
- 内蔵メモリと microSD カード間のファイル移動またはコピーと、メモリ内の各フォルダへのファイル移動またはコピーができます（☞ P.60）。

- 本機で録音したPCM形式のファイルの一部分を消去できます（☞ P.50）。
- 本機で録音したファイルを分割できます（☞ P.62）。
- インデックスマーク機能で、聞きたい場所をすばやく探すことができます（☞ P.45）。
- 再生スピードをお好みに合わせて調節できます（☞ P.44）。
- 操作状況を音声でお知らせする音声ガイド機能（日本語・英語対応）を搭載。多彩な機能も簡単に操作できます（☞ P.107）。
- オリジナルのフォルダ名が入力できます（☞ P.113）。
- タイマー録音（☞ P.79）やアラーム再生機能（☞ P.96）を搭載しているので、設定した時間に録音や再生を自動的に行えます。
- 聞きたいファイルを探す時に便利なイントロ再生機能を搭載しています（☞ P.109）。
- Windows と Macintosh に対応する専用ソフトウェアの Olympus Sonority を付属しています（☞ P.122）。
  - 本機で録音した音声ファイルをパソコンに転送すれば、再生や整理、編集などが簡単に行えます。
  - 波形編集やファイルの統合、分割ができます。
- Olympus Sonority はより高い機能を備えたOlympus Sonority Plus にアップグレード（有償）することが可能です（☞ P.130）。
  Olympus Sonority の機能に加え、MP3 ファイルの編集や音楽 CD の作成ができます。
- USB2.0 に対応しているので、パソコンにデータを高速で転送することができます。
- USB 充電機能を搭載しています（☞ P.19）。
- フルドット表示のバックライト付きディスプレイ（液晶表示パネル）を採用しています。

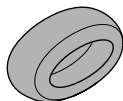
同梱品を確認する

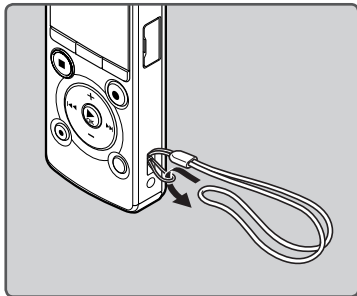
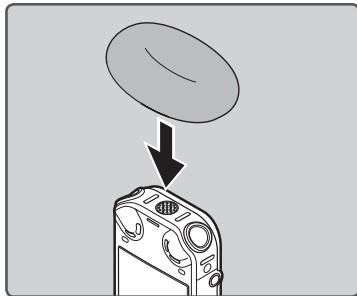
お買い上げの商品には次の付属品が入っています。
万一、不足していたり、破損していた場合には、お買い上げ販売店までご連絡ください。

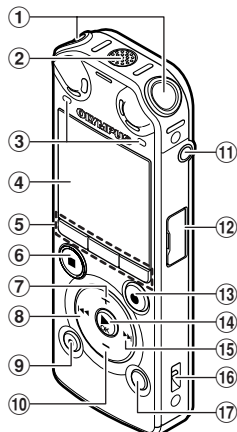
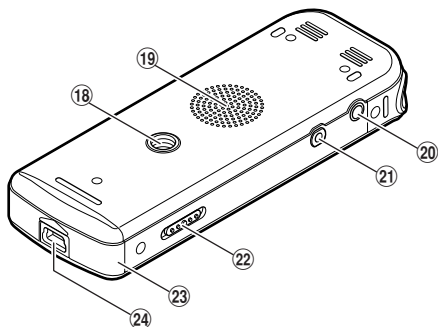
本体

USB 接続ケーブル

ストラップ

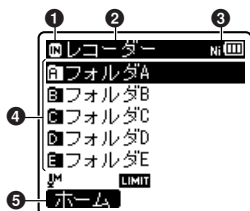
ウィンドスクリーン

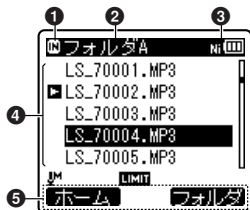
キャリングケース

- 単 4 形ニッケル水素充電池（2 本）
- Olympus Sonority CD-ROM
- 取扱説明書（保証書付）

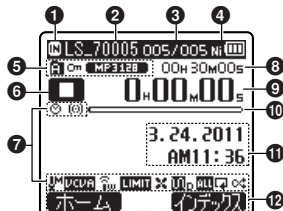
■ ストラップを取り付ける：

■ ウィンドスクリーンを取り付ける：

- ウィンドスクリーン（同梱）をマイクに取り付けてから録音をしてください。強い風がマイクに当たるとウィンドスクリーンを取り付けていても、ノイズが入る場合があります。

各部のなまえ

① 内蔵ステレオマイク
② 内蔵モノラルセンターマイク
③ PEAK L/R 表示ランプ（LED）
LED 表示ランプ（LED ）
④ ディスプレイ（液晶パネル）
⑤ F1 ボタン
MENU/SCENE ボタン
F2 ボタン
⑥ STOP（■）ボタン
⑦ ＋ボタン
⑧ ⏮ ボタン
⑨ ERASE ボタン
⑩ ーボタン
⑪ MIC ジャック
⑫ カードカバー
⑬ REC（●）ボタン
録音表示ランプ（LED）
⑭ ▶OK ボタン
⑮ ⏭ ボタン
⑯ ストラップ取り付け部
⑰ LIST ボタン
⑱ 三脚穴
⑲ 内蔵スピーカ
⑳ EAR ジャック
㉑ REMOTE ジャック
別売のリモコンセット RS30W の受信部を接続します。リモコンで本機の録音／停止の操作ができます。
㉒ POWER/HOLD スイッチ
㉓ 電池カバー
㉔ USB 端子

ディスプレイ（液晶パネル）

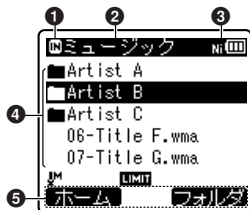
■［レコーダー］モード表示画面：

フォルダリスト表示画面

❶ 記録メディア表示
　[IN]：内蔵フラッシュメモリ
　[ ]：microSD カード
❷ 現在のフォルダ名
❸ 電池表示
❹ フォルダ名
❺ ファンクションガイド表示

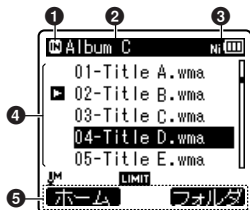
ファイルリスト表示画面

❶ 記録メディア表示
❷ 現在のフォルダ名
❸ 電池表示
❹ ファイル名
❺ ファンクションガイド表示

ファイル表示画面

❶ 記録メディア表示
❷ 現在のファイル名
❸ ファイル番号／フォルダ内の総ファイル数
❹ 電池表示
❺ フォルダ表示、ファイルロック表示、録音モード表示
❻ 本機の動作状態
　[●]：録音表示
　[●II]：録音一時停止表示
　[■]：停止表示
　[▶]：再生表示
　[▶▶]：早送り表示
　[◀◀]：早戻し表示
　[▶F]：早聞き再生表示
　[▶S]：遅聞き再生表示
❼ アイコン表示部（☞ P.16）
❽ 録音可能な残り時間、ファイルの長さ
❾ 録音経過時間、再生経過時間
❿ メモリ残量バー表示、再生位置バー表示
⓫ レベルメーター、録音日時
⓬ ファンクションガイド表示

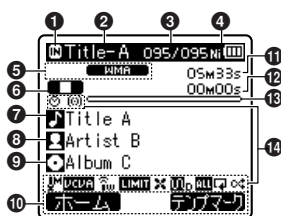
■［ミュージック］モード表示画面：

リスト表示画面 ❶

フォルダ内にファイルとフォルダがある場合

❶ 記録メディア表示
［IN］：内蔵フラッシュメモリ
［▭］：microSD カード
❷ 現在のフォルダ名
❸ 電池表示
❹ フォルダ名、ファイル名
❺ ファンクションガイド表示

リスト表示画面 ❷

フォルダ内にファイルのみがある場合

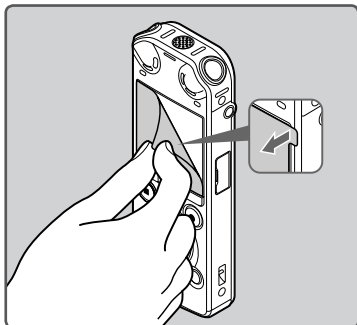
❶ 記録メディア表示
❷ 現在のフォルダ名
❸ 電池表示
❹ ファイル名
❺ ファンクションガイド表示

ファイル表示画面

❶ 記録メディア表示
❷ 現在のファイル名
❸ ファイル番号／
フォルダ内の総ファイル数
❹ 電池表示
❺ ファイル形式表示
❻ 本機の動作状態
［▶］：再生表示
［■］：停止表示
［▶▶］：早送り表示
［◀◀］：早戻し表示
［▶F］：早聞き再生表示
［▶S］：遅聞き再生表示
❼ タイトル名
❽ アーティスト名
❾ アルバム名
❿ ファンクションガイド表示
⓫ ファイルの長さ
⓬ 再生経過時間
⓭ 再生位置バー表示
⓮ アイコン表示部（☞ P.16）

1

各部のなまえ

アイコン表示部（全モード共通）

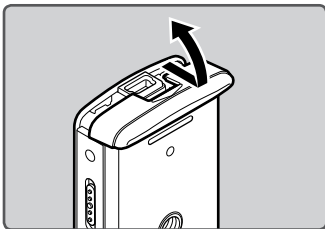
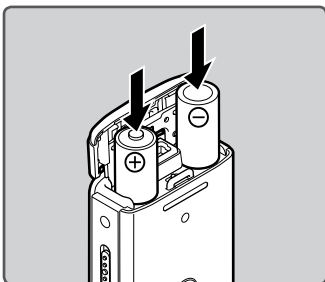
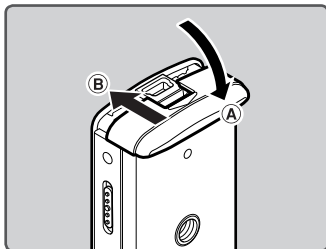
[ ]：タイマー
[ ]：アラーム
[ ]：マイク感度
[VCVA]：VCVA
[SYNC]：音声同期録音
[ ]：プリレコーディング
[COMP]：録音レベル
[ ]：ローカットフィルタ
[ ]：指向性マイク
[ ]：ノイズキャンセル
[ ]：音声フィルタ
[ALL]［ ］［ ］：再生モード
[ ]：EUPHONY
[ ]：リバーブ

• ディスプレイの保護シールをはがしてからお使いください。

電源について

電池を入れる

本機は充電池（付属）のほか、単４形アルカリ乾電池（市販）を使用できます。

- 本機で充電する場合、必ず付属の専用ニッケル水素充電池（BR404）をご使用ください。
- 付属の充電池は完全に充電されていません。ご使用の前や長期間ご使用にならなかった場合、連続充電のうえ完全に充電することをおすすめします（☞ P.19）。

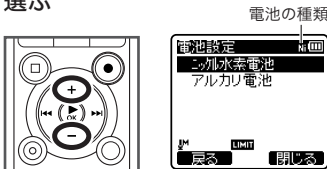
1 電池カバーを上から軽く押しながらスライドさせて開ける

2 単４形電池の ⊕ と ⊖ を正しい向きで入れる

3 電池カバーを Ⓐ の方向に押さえながら閉じ、Ⓑ の方向にスライドさせ電池カバーを完全に閉める

ご注意

- 本機でマンガン電池はご使用になれません。
- 交換の際は単４形アルカリ乾電池、またはオリンパス製ニッケル水素充電池をご使用ください。
- 電池の交換は必ず本機を停止状態にしてから行ってください。本機が録音、消去などの動作中に電池を抜くと、ファイルが再生できなくなるなどの故障が発生するおそれがあります。
- 本機から電池を抜いた状態が 15 分以上続いたり、短い間隔で電池の出し入れを行うと、電池や時刻の設定が必要になる場合があります。このとき、［**電池設定**］画面が表示されます。
  詳しくは「**電池の設定**」をご覧ください（☞ P.18）。
- 長期間本機をご使用にならない場合、電池を取り外してください。
- 充電池をお買い替えの場合、必ずニッケル水素充電池 BR-404（別売）をご使用ください。他社製品をご使用になると、故障の原因となりますので、絶対におやめください。

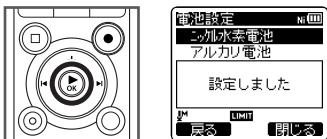
電池の設定

現在使用している電池に合わせてお選びください。

1 電池を入れて、本機の電源を入れる（☞ P.17）

2 ＋または－ボタンを押して本機に入れた電池の種類を選ぶ

［**ニッケル水素電池**］（Ni）：
オリンパス製ニッケル水素充電池（BR404）をご使用の場合にお選びください。

［**アルカリ電池**］（Al）：
アルカリ乾電池をご使用の場合にお選びください。

3 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- ディスプレイの［**時**］表示が点滅表示する場合、「**日付・時刻を合わせる［Time & Date］**」をご覧ください（☞ P.24）。

電池表示について

電池の残量に応じてディスプレイの電池表示が次のようにかわります。

- ディスプレイに［▭］が表示されたら、早めに新しい電池に交換してください。電池がなくなると、［▭］と［**電池残量がありません**］と表示され、動作が停止します。

ご注意

- 内蔵スピーカで再生するとき、電池表示が［▭］であっても音量によっては電池の出力電圧が低下し、本機にリセットが発生する場合があります。この場合、音量を下げてご使用ください。
- 繰り返し使用したニッケル水素充電池では電池持続時間は短くなります（☞ P.146)。
- microSD ご使用時は電池持続時間（☞ P.146) は短くなります。
- ご使用の電池の性能により電池持続時間は変化します（☞ P.146)。
- 電池を交換したときに自動的に［**電池設定**］画面が表示されない場合があります。その場合は「**電池の設定［Battery]**」の手順に従って電池の設定をしてください（☞ P.112)。

1

電源について

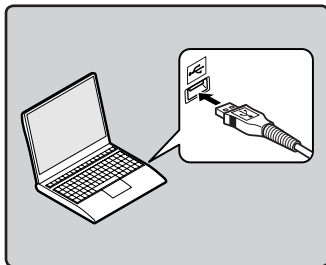
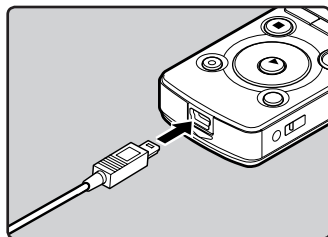
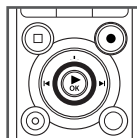
パソコンとUSB接続して充電する

パソコンのUSB端子に接続して充電できます。充電をする場合、充電池（付属）を本体に正しく入れてください（☞ P.17）。

USB接続ケーブルを接続する前にホールドを解除してください（☞ P.23）。

アルカリ電池やリチウム電池などの一次電池を絶対に充電しないでください。
液漏れ、発熱など本機の故障の原因になります。

1 パソコンを起動する

2 USB接続ケーブルをパソコンのUSBポートに接続する

3 本機が停止または電源が切れている状態で、本機底面のUSB端子へUSB接続ケーブルを接続する

4 ▶OKボタンを押して充電を開始する

- ［**OKボタンで充電を開始します**］が点滅中に▶OKボタンを押してください。

5 電池表示が［▣］になったら充電完了です

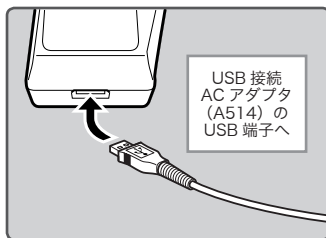
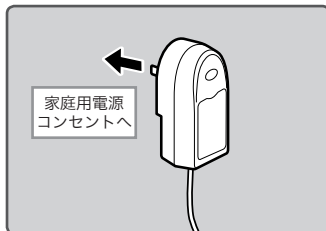
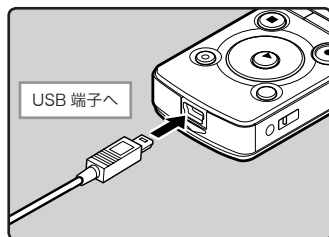
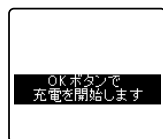
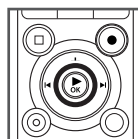
充電時間：約3時間＊

＊ 室温で電池残量がない状態から満充電する場合のめやすです。電池の残量や充電の状態などにより変化します。

USB 接続 AC アダプタ(別売)と接続して充電する

USB 接続 AC アダプタ（A514）（別売）と接続して充電できます。

- AC アダプタを接続する前に USB 接続設定を［**AC アダプタ接続**］に切り替えてください（☞ P.114）。
- USB 接続ケーブルを接続する前に、ホールドを解除してください（☞ P.23）。

1 USB 接続ケーブルを AC アダプタの USB 端子に接続する

2 AC アダプタを家庭用電源コンセントに接続する

3 本機が停止または電源が切れている状態で、本機底面の USB 端子へ USB 接続ケーブルを接続する

4 ▶OK ボタンを押して充電を開始する

- ［**OK ボタンで充電を開始します**］が点滅中に ▶OK ボタンを押してください。

5 ［**充電完了**］と表示されたら充電完了です

1
電源について

ご注意

- ＵＳＢ接続したパソコンの電源が入っているときに充電をしてください。
  パソコンの電源が入っていないときやパソコンがスタンバイ、休止、オートパワーオフモードの場合、充電できません。
- パソコンと接続して充電するときはUSB ハブを使用しないでください。
- 付属の充電池を入れ、［**電池設定**］の設定を［**ニッケル水素電池**］にしてください。［**電池設定**］の設定が［**アルカリ電池**］の場合、充電できません（☞ P.18、P.112）。
- ［[C]］ ***1** または ［[H]］ ***2** が点滅している場合、充電できません。周囲の温度が5 ～ 35℃の環境で充電してください。
  ***1**［[C]］：周囲の温度が低い場合
  ***2**［[H]］：周囲の温度が高い場合
- 満充電しても使用時間が著しく短くなったときは電池の寿命です。新しい電池と取り替えてください。
- USB コネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていない場合、正常に動作しません。
- USB 接続ケーブルは必ず付属の専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用になると、故障の原因となりますので、絶対におやめください。またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。
- USB 接続設定を［**コンポジット**］に設定していると USB 経由での充電ができません。充電をする場合は、［**ストレージ**］に設定してください（☞ P.114）。
- USB 接続設定を［**コンポジット**］に設定しているときに充電する場合は、USB 接続設定を［**毎回確認**］に設定し、USB ケーブルを接続します。
  ［**USB 接続**］画面で［**AC アダプタ接続**］を選ぶと、充電できるようになります（☞ P.114）。

充電について

ニッケル水素充電池（BR404）を使用の際には下記をよくお読みください。

■ 放電：

充電池は、使用しないと自然に放電します。ご使用の前には、必ず充電するようにしてください。

■ 操作温度：

充電池は化学製品です。 推奨温度範囲で使用する場合にも充電池の性能は変化しますが、故障ではありません。

■ 推奨温度範囲：

本機動作時：0 ～ 42℃
充電：5 ～ 35℃
長期保管：－ 20 ～ 30℃

上記の温度範囲外での充電池の使用は、性能・寿命の低下の原因となります。長期間本機をご使用にならない場合、液漏れ・さびを防ぐために、充電池を取り外して保管してください。

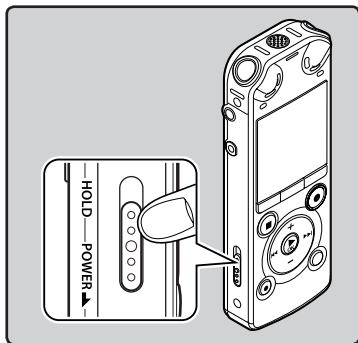
ご注意

- ニッケル水素充電池自体の性質上、新しく購入した電池や長期間（1 カ月以上）使用していない電池は、充電が完全にされない場合があります。この場合は充放電を 2、3 回くり返してください。
- 充電池は、関係する法令に従って処分してください。充電池を完全に放電しないで処分する場合、ショートしないように電池端子をテープで絶縁するなどの処置をしてください。

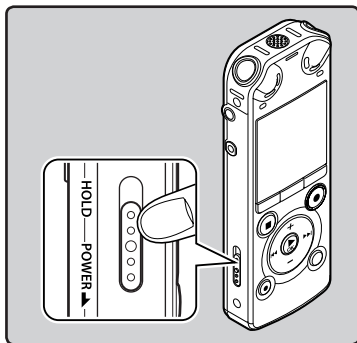
電源を入れる／切る

本機をご使用にならない場合、電源を切ることで電池の消耗を最小限に抑えられます。
電源を切っても既存のデータや各モードの設定、時計設定などは保持されます。

電源を入れる

本機の電源が切れている状態でPOWER/HOLD スイッチを矢印の方向へスライドさせる

• ディスプレイが点灯し電源が入ります。

電源を切る

POWER/HOLD スイッチを矢印の方向へ 0.5 秒以上スライドさせる

• ディスプレイが消灯し電源が切れます。
• レジューム機能により電源を切る前の停止位置を記憶して電源が切れます。

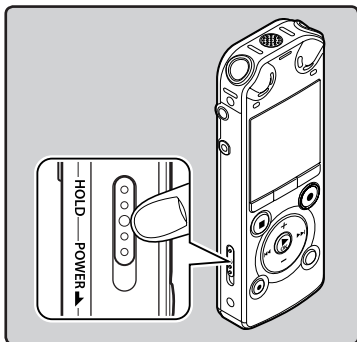
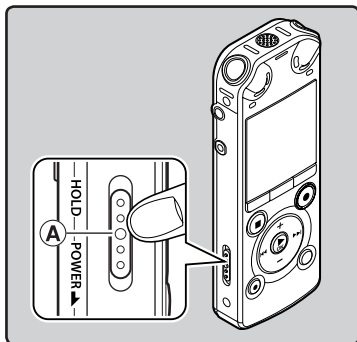
スリープモードについて

電源を入れて停止状態のまま 10 分以上（初期設定）経過すると、ディスプレイ表示が消え、スリープ（省電力）モードになります（☞ P.111）。
• スリープモードを解除するには、いずれかのボタンを押してください。

誤操作を防止する－ホールド機能

ホールドにすると動作中の状態を保ち、ボタン操作を受け付けません。かばんやポケットに入れたときに誤ってボタンが押されても動作しないので、持ち運びに便利です。また、録音中に誤って停止させてしまうことを防ぎます。

ホールドにする

録音中または再生中に、POWER/HOLD スイッチを［ホールド］の位置にスライドさせる

- ディスプレイに［**ホールド**］が表示され、ホールド状態になります。

ホールドを解除する

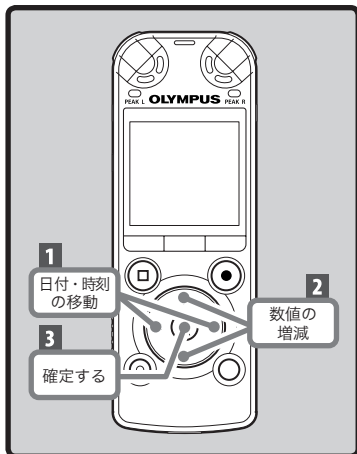
POWER/HOLD スイッチを Ⓐ の位置にスライドさせる

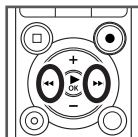
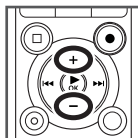
ご注意

- ホールドの状態でいずれかのボタンを押すと、時計表示が 2 秒間点灯しますが動作しません。
- 再生（または録音）中にホールドにすると、再生（録音）状態のまま操作ができなくなります（再生が終了したり、メモリ残量がなくなって録音が終了すると停止状態になります）。
- RS30W リモコンセット（別売）を接続すると、ホールドの状態でもリモコンで操作できます。

日付・時刻を合わせる［Time & Date］

日付と時刻を設定しておくと、「いつ録音した」という情報がファイルごとに自動で記録されます。録音したファイルの管理を容易にするために、あらかじめ日付・時刻合わせをしてください。

ご購入後初めてご使用になる場合や、長い間ご使用のないあとで電池を入れた場合、［時計を設定してください］と表示されます。「時」表示が点滅したら、手順 1 から設定を行ってください。

1 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して設定項目を選ぶ

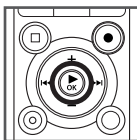
- 「**時**」「**分**」「**年**」「**月**」「**日**」の中から、設定したい項目に点滅を合わせてください。

2 ＋または－ボタンを押して設定する

- 以下同じように ▶▶I または I◀◀ ボタンで次の設定項目を選び、**＋**または**－**ボタンを押して設定を行います。
- 時、分の設定中、**F1** ボタンを押すたびに、12 時間表示と 24 時間表示が切り替わります。

例：午後 10 時 38 分の場合

PM 10 時 38 分（初期値） ←→ 22 時 38 分

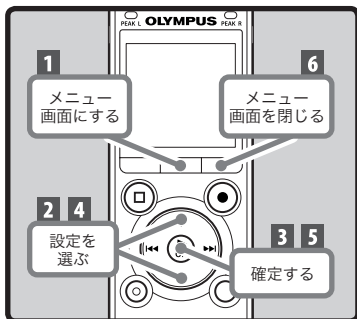
- 年、月、日の設定中、**F1** ボタンを押すたびに［**年**］［**月**］［**日**］表示の順序が切り替わります。

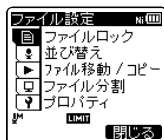
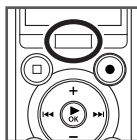
例：2011 年 3 月 24 日の場合

3 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- 設定した日時で本機の時計が動き始めます。時報などに合わせて ▶**OK** ボタンを押してください。

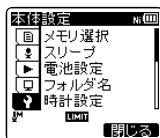
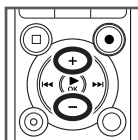
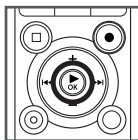
ご注意

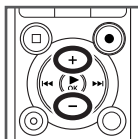
- 設定の途中に ▶**OK** ボタンを押すと、それまでに確定した項目が設定され時計が動き始めます。
- 設定後、［**音声ガイドが必要ない場合は、OFF を選択してください**］とアナウンスが流れ、音声ガイド設定（☞ P.107）に移行します。音声ガイドが不要なときは、［**OFF**］を選択してください。

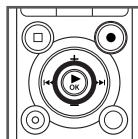
日付・時刻の設定をかえるには

停止中に **STOP**（■）ボタンを押し続けると［**現在日時**］や［**メモリ残量**］（録音可能な残り時間）を確認できます。現在日時が合っていない場合、下記の手順で設定してください。

1 停止中に MENU/SCENE ボタンを押す

- メニュー画面に入ります（☞ P.52）。

2 **＋またはーボタンを押して［本体設定］タブを選ぶ**

- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 **▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動させる**

- ［**本体設定**］画面に入ります。

4 **＋またはーボタンを押して［時計設定］を選ぶ**

5 **▶OK ボタンを押す**

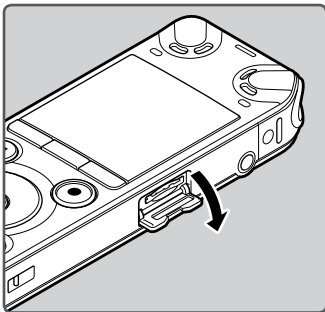
- ［**時計設定**］画面に入ります。
- ［**時**］表示が点滅します。

以下は「**日付・時刻を合わせる［Time & Date］**」の手順 1 〜手順 3 の設定と同じです（☞ P.24、P.25）。

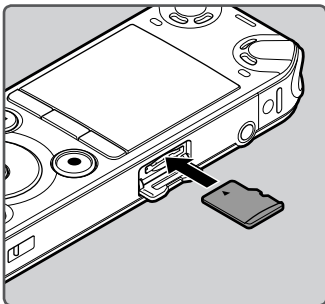
6 **F2（閉じる）ボタンを押してメニュー画面を終了する**

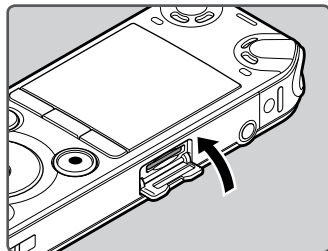
microSD カードを入れる／取り出す

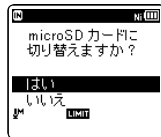
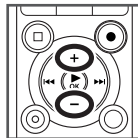
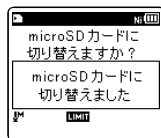
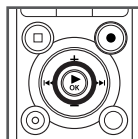
本書に記載されている「microSD」とは microSD と microSDHC の両方をさします。本機では内蔵メモリのほかに市販の microSD カードをご使用になれます。

microSD カードを入れる

1 停止中にカードカバーを開ける

2 図のように microSD カードの向きを正しく合わせて入れる

- microSD カードが斜めに入らないようにまっすぐに入れます。

- microSD カードの向きを間違えたり、斜めに入れると接触面が破壊されたり、microSD カードが抜けなくなる場合があります。
- microSD カードが奥まで挿入されていないと、microSD カードに記録できない場合があります。

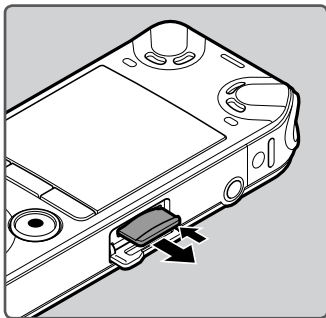
3 カードカバーを閉じる

- microSD カードを入れると、記録メディアの切り替え画面が表示されます。

4 microSD カードに記録する場合、＋または－ボタンを押して［**はい**］を選ぶ

5 ►OK ボタンを押して設定を完了する

ご注意

- 記録メディアを内蔵メモリへ切り替えることもできます（☞ P.110）。
- パソコンなどの他の機器でフォーマット（初期化）した microSD カードは、認識できない場合があります。お使いになる前に、必ず本機でフォーマットしてください（☞ P.118）。

microSD カードを取り出す

1 停止中にカードカバーを開ける

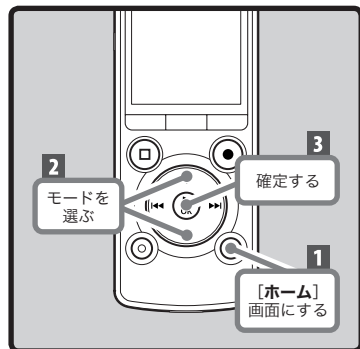
2 microSD カードを一度奥に向かって押し込んで、そのままゆっくり戻す

- microSD カードが手前に出て止まります。microSD カードをつまんで取り出してください。
- ［**メモリ選択**］の設定を［**microSD カード**］にしていた場合、［**内蔵メモリに切り替えました**］と表示されます。

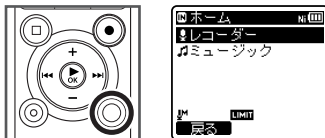
3 カードカバーを閉じる

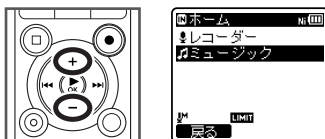
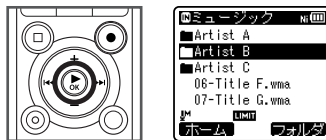
ご注意

- microSD カードを取り出す際に microSD カードを押した指をすぐにはなしたり、指ではじくようにして押し出すと、microSD カードが勢いよく飛び出すことがあります。
- 本機で動作確認済みの microSD カードについては、弊社 Web サイトでご確認ください。
  http://olympus-imaging.jp/
- microSD カードによっては本機との相性によって正しく認識しないことがあります。
- microSD カードが認識されない場合、microSD カードを取り出してからもう一度入れ直し、本機で認識するか試してください。
- microSD カードは書き込みや削除を繰り返すことによって処理能力が落ちることがあります。この場合、microSD カードを初期化し直してください（☞ P.118）。

[ホーム] 画面の操作

ICレコーダーやミュージックプレーヤーとしてご使用いただけます。

1 LIST ボタンを繰り返し押して[ホーム]画面にする

- [**ホーム**] 画面に入ります。

- ファンクションガイド表示部に[**ホーム**]が表示されているときに、**F1** ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

2 ＋または−ボタンを押してモードを選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

[レコーダー] を選んだ場合:

[**レコーダー**] モードに切り替わり、マイクから録音したり、本機で録音したファイルを再生できます(☞ P.33、P.40)。

[ミュージック] を選んだ場合:

[**ミュージック**] モードに切り替わり、本機に転送した音楽ファイルを再生できます(☞ P.40)。

ご注意

- 録音中の場合、本機を停止しないとモードの切り替えができません。

フォルダについて

記録メディアは、内蔵メモリまたは microSD カードを使用できます。記録メディアにかかわらず音声ファイル、音楽ファイルやコンテンツファイルは、ツリー型に構成されたフォルダにそれぞれ振り分けて保存されます。

音声録音用フォルダについて

［**レコーダー**］フォルダ内の［**フォルダ A**］～［**フォルダ E**］は音声録音用フォルダです。本機で録音を行う場合、この 5 つの フォルダの いずれかを選んで行ってください。

1

フォルダについて

ご注意

- ［**レコーダー**］フォルダ直下に入れたファイルやフォルダは本機で表示されません。

音楽再生用フォルダについて

Windows Media Player を使用して音楽ファイルを本機に転送すると、音楽再生用フォルダ内を下記の図のような階層構造で、フォルダを自動作成します。同じフォルダ内にある音楽ファイルは、お好みの順番に並び替えて再生できます（☞ P.59）。

ホーム

ミュージック

第１階層

アーティスト 01

アーティスト 02

アーティスト 03

第２階層

アルバム 01

アルバム 02

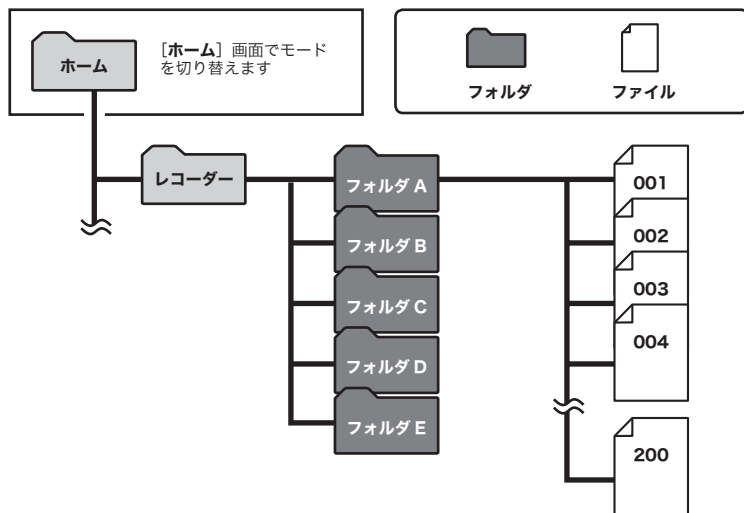
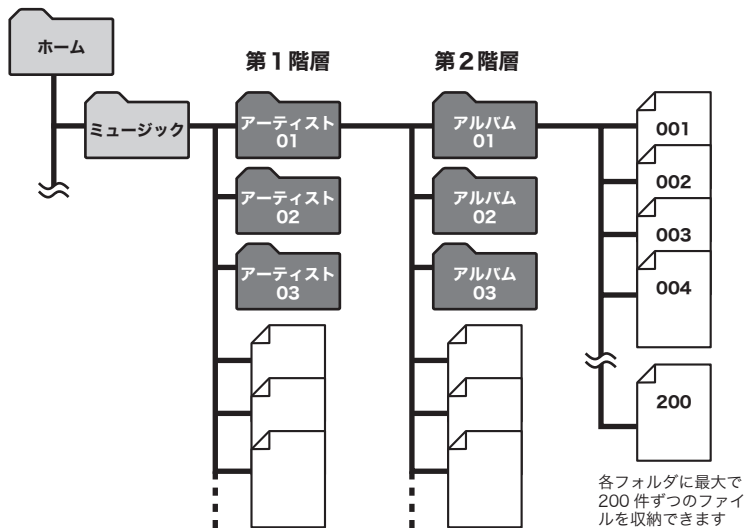
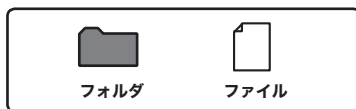
アルバム 03

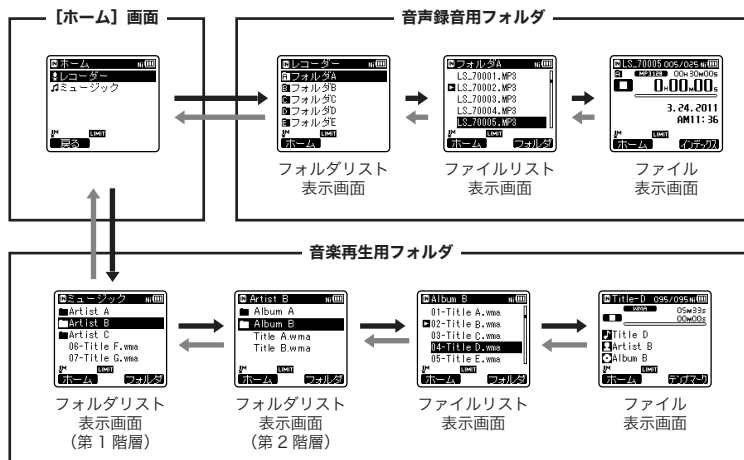
001

002

003

004

200

各フォルダに最大で 200 件ずつのファイルを収納できます

［**ミュージック**］フォルダには、［**ミュージック**］を含めて最大 200 フォルダまで作成できます。

フォルダとファイルの選びかた

フォルダの切り替えは停止中または再生中に操作してください。フォルダの階層構造については［**フォルダについて**］をご覧ください（☞ P.30）。

階層を移動する

戻る : LIST ボタン

押すごとに 1 つ上の階層に戻ります。リスト表示画面では、⏮ ボタンでも操作できます。

- フォルダの階層を移動しているときに **LIST** ボタンを押し続けると、ファイル表示画面に戻ります。

進む：▶OK ボタン

押すごとにリスト表示画面で選んだフォルダまたはファイルを開き 1 つ下の階層に進みます。リスト表示画面では、⏭ ボタンでも操作できます。

＋または－ボタン

フォルダやファイルを選びます。

［ホーム］画面：

本機のモードを切り替えます (☞ P.29)。

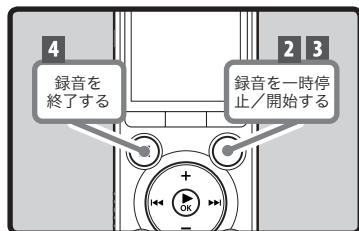
リスト表示画面：

本機に記録されているフォルダとファイルがリスト表示されます。

ファイル表示画面：

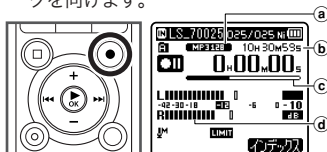
選んだファイルの情報が表示されます。再生待機状態になります。

録音する

録音を開始する前に［A］～［E］の音声録音用フォルダを選んでください。［A］フォルダはプライベート用、［B］フォルダはビジネス用といったように、録音する内容によって使い分けると便利です。

1 録音するフォルダを選ぶ（☞ P.30）

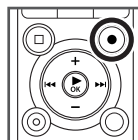
- 新しく録音した音声は、選んだフォルダの一番後ろのファイルとして保存されます。

2 REC（●）ボタンを押して録音の準備をする

- 録音表示ランプが点滅し、ディスプレイの［●II］が点灯します。
- 録音したい方向に内蔵ステレオマイクを向けます。

ⓐ 録音モード
ⓑ 録音可能な残り時間
ⓒ メモリ残量表示バー
ⓓ レベルメーター（録音音量や録音機能の設定に合わせて変化します）

- 本機は音源の音量が大きく変化するような録音状況などでもきれいに録音できるように設計されておりますが、録音状況によっては録音レベルを手動で調整することで、より高音質な録音ができます（☞ P.70）。

3 REC（●）ボタンを押して録音を開始する

- 録音表示ランプが点灯し、ディスプレイの［●］が点灯します。

ⓔ 録音経過時間

- 録音中は［**録音モード**］の変更ができません。停止中に設定してください（☞ P.68）。
- 内蔵ステレオマイクで録音する場合、ディスプレイ画面が上にある状態で正しくステレオ録音されます。ディスプレイ画面を下にして録音すると、音源の定位が逆相した状態で録音されるため正しいステレオ録音ができません。

4 STOP（■）ボタンを押して録音を停止する

- ディスプレイの［■］が点灯します。

ⓕ ファイルの長さ

ご注意

- 頭切れを防ぐために、録音表示ランプの点灯やディスプレイのモード表示を確認してから録音を行ってください。
- 録音可能な残り時間が 60 秒になると、LED 表示ランプが点滅を開始し、30 秒、10 秒と残量が減るにつれて点滅が早くなります。
- ［**ファイル件数がいっぱいです**］と表示された場合、これ以上録音できません。フォルダを変更するか、不要なファイルを消去してから録音をしてください（☞ P.49）。
- ［**メモリがいっぱいです**］と表示された場合、メモリがいっぱいです。不要なファイルを消去してから録音をしてください（☞ P.49）。
- 記録メディアは書き込みや削除を繰り返すことによって処理能力が落ちることがあります。この場合は記録メディアを初期化してください（☞ P.118）。
- 本機に microSD カードを入れた場合、操作する記録メディアが［**内蔵メモリ**］または［**microSD カード**］のどちらなのか間違えないよう必ず確認してください（☞ P.110）。
- ［A］～［E］以外のフォルダを選んで **REC**（●）ボタンを押すと、［**A ～ E フォルダで録音してください**］が点滅します。改めて［A］～［E］のいずれかのフォルダを選んでから録音を開始してください。
- 大事な録音をするときには、事前に記録メディアを初期化することをおすすめします。

リニア PCM 形式で 2GB を超えての録音について：

リニア PCM 形式の録音で、1 ファイルの容量が 2GB を超えた場合でも録音を継続します。

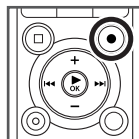
- ファイルは 2GB 毎に分割して保存されます。再生時には複数のファイルとして扱われます。
- 2GB を超えて録音した時は、フォルダ内のファイル件数が 200 件を超える場合があります。201 件目以降のファイルは本機では認識しませんので、パソコンと接続して確認してください。

録音に関する設定

録音環境に合わせてさまざまな設定ができます。

[マイク選択] (☞ P.66)	内蔵センターマイクのオン／オフを切り替えます。
[マイク感度] (☞ P.67)	録音感度を設定します。
[録音モード] (☞ P.68)	録音形式ごとに録音レートを設定できます。
[録音レベル] (☞ P.70)	録音レベルを自動で調整するか、手動で調整するか設定できます。
[指向性マイク] (☞ P.72)	内蔵ステレオマイクの指向性を設定できます。
[ローカットフィルタ] (☞ P.73)	エアコンの空調音やプロジェクターなどのノイズを低減できます。
[VCVA]（☞ P.75)	音声起動録音（VCVA）の起動レベルを設定できます。
[音声同期録音] (☞ P.77)	音声同期録音の起動レベルを設定できます。
[タイマー録音] (☞ P.79)	タイマー録音が設定できます。
[録音シーン] (☞ P.83)	録音する場面や状況に合わせた録音設定を選択・保存できます。
[録音モニター] (☞ P.85)	**EAR** ジャックから録音モニター音を出力する・しないを選べます。
[プラグインパワー] (☞ P.86)	**MIC** ジャックに接続した外部マイクに合わせ、プラグインパワー機能を使う・使わないを選べます。
[プリレコーディング] (☞ P.87)	録音開始最大 2 秒前からの音声を継続して録音します。

一時停止するには

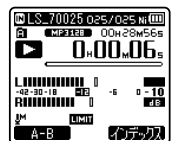
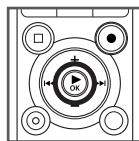
録音中に、REC (●) ボタンを押す。

- ディスプレイの［■II］が点灯します。
- 録音一時停止のまま 120 分以上過ぎると停止状態になります。

録音を再開するには：

REC (●) ボタンをもう一度押す。

- 一時停止したところから録音を再開します。

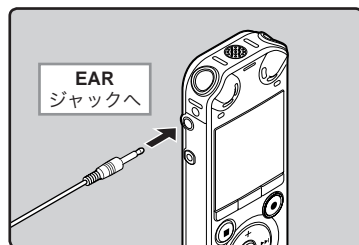
録音内容をすばやく確認するには

録音中に、►OK ボタンを押す。

- ディスプレイの［▶］が点灯します。
- 録音を中断し、今録音したファイルを再生します。

録音中の音声を聞くには（録音モニター）

イヤホンを本機の **EAR** ジャックに差し込むと､録音中の音声を聞くことができます。録音モニターの音量は**+**または**−**ボタンを使用して調節できます。

本機の EAR ジャックにイヤホンを接続する。

- 録音を開始すると録音中の音声をイヤホンで聞くことができます。

ご注意

- 音量を変えても録音レベルは変化しません。
- 耳への刺激を避けるため、音量を［**00**］にしてからイヤホンを入れてください。
- ハウリングをおこしますので、録音中はイヤホンをマイクに近づけないでください。
- アンプ内蔵スピーカなどを接続している場合、録音中にハウリングをおこすおそれがあります。録音モニターはイヤホンをご使用になるか、録音中は［**録音モニター**］を［**OFF**］にすることをおすすめします（☞ P.85）。

録音状況ごとの推奨設定（めやす）

ご購入後すぐに高音質ステレオ録音ができるように［**PCM 44.1kHz**］モードが設定されています。録音状況に応じて、録音モードに関する各種機能を詳細に設定することもできます。下記の表は録音状況を例にした録音設定のめやすです。

<table>
<tr><th rowspan="2">録音状況</th><th colspan="4">推奨設定</th></tr>
<tr><th>［録音モード］
（☞ P.68）</th><th>［マイク感度］
（☞ P.67）</th><th>［ローカット
フィルタ］
（☞ P.73）</th><th>［指向性マイク］
（☞ P.72）</th></tr>
<tr><td>広い教室での講義などの録音</td><td>［PCM］：
［44.1kHz/16bit］
［MP3］：［128 kbps］
［WMA］：［128 kbps］</td><td rowspan="2">［高］</td><td rowspan="4">［ON］</td><td>［+ 6］</td></tr>
<tr><td>大人数での会議などの録音</td><td>［MP3］：［128 kbps］
［WMA］：［128 kbps］</td><td rowspan="4">［OFF］</td></tr>
<tr><td>少人数での会議、打ち合わせ、商談などの録音</td><td>［MP3］：［128 kbps］
［WMA］：［128 kbps］</td><td>［中］</td></tr>
<tr><td>ノイズが多い中での口述録音</td><td>［WMA］：［64 kbps］</td><td>［低］</td></tr>
<tr><td>楽器演奏、野鳥の声、鉄道の音などの録音</td><td>［PCM］：
［96kHz/24bit］</td><td>録音する状況に合わせて、マイク感度を切り替えてください</td><td>［OFF］</td></tr>
</table>

本機で録音した音声には、自動的に以下のようなファイル名がつけられます。

① **ユーザー ID：**
本機に設定されたユーザー ID 名で、お使いのモデル名になります。

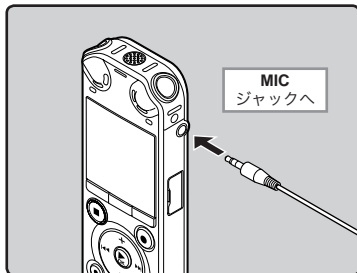
② **ファイル番号：**
記録メディアの切り替えにかかわらず、ファイル番号は連続してつけられます。

③ **拡張子：**
本機で録音した場合の録音形式の拡張子です。
- リニア PCM 形式：「**.WAV**」
- MP3 形式：「**.MP3**」
- WMA 形式：「**.WMA**」

外部マイクや他の機器から録音する

外部マイクや他の機器を接続し、音声を録音できます。ご使用の機器により、次のように接続してください。本機のジャックへの抜き差しは、録音中に行わないでください。

■ 外部マイクで録音する：

本機の MIC ジャックに外部マイクを接続する

ご使用いただける外部マイク（別売）（☞ P.142）

ステレオマイクロホン：ME51SW
大口径マイク内蔵で、高感度のステレオ録音が可能です。

2 チャンネルマイクロホン（全指向性）：ME30W
プラグインパワー対応の高感度全指向性マイクで、楽器演奏の録音に適しています。

コンパクトガンマイクロホン（単一指向性）：ME31
野鳥の声の野外録音などに役立つ指向性のガンマイクです。

コンパクトズームマイクロホン：ME32
三脚と一体化しているので、テーブルに設置して会議や講義など離れた場所の音を録音したい場合に適しています。

モノラルマイクロホン（単一指向性）：ME52W
周囲の雑音の影響を軽減して、離れた場所の音を録音したい場合に使用します。

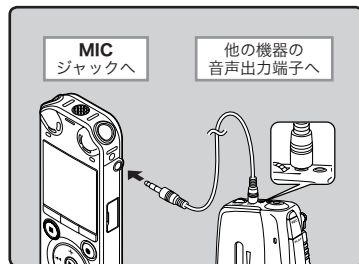
モノラルタイピンマイク（全指向性）：ME15
タイピン型ホルダー付きの目立たない小型マイクです。

モノラルテレホンピックアップ：TP7
イヤホン型マイクを耳に入れてそのまま通話できます。電話の声や会話を明瞭に録音できます。

ご注意

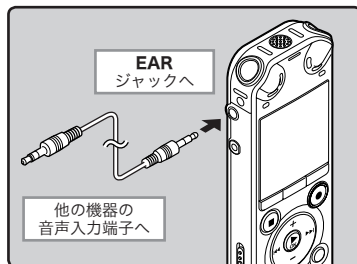
- 本機の **MIC** ジャックに外部マイクをつなぐと、内蔵マイクは動作しなくなります。
- プラグインパワー対応のマイクがご使用になれます。プラグインパワー機能を［**ON**］にした場合、本機からマイクへ電源を供給します（☞ P.86）。
- プラグインパワーに対応していない外部マイクを接続した場合、プラグインパワー機能を［**OFF**］にしてください。録音時にノイズが出るおそれがあります（☞ P.86）。
- ［**録音モード**］の設定をステレオ形式にした場合、外部モノラルマイクを接続して録音すると L チャンネルのみに音声が録音されます（☞ P.68）。
- ［**録音モード**］の設定をモノラル形式にした場合、外部ステレオマイクを接続して録音すると L チャンネルマイクのみの録音となります（☞ P.68）。

■ 他の機器の音声を本機で録音する：

他の機器の音声出力端子（イヤホンジャック）と本機の **MIC** ジャックをダビング用コネクティングコード KA333（別売）でつなぐと、その音声を録音できます。

ご注意

- 本機で録音レベルの調整（☞ P.71）をしてもきれいに録音できない場合、接続した外部機器の出力レベルの過多／過少が考えられます。外部機器を接続する場合、試し録音をして外部機器の出力レベルを調整してください。

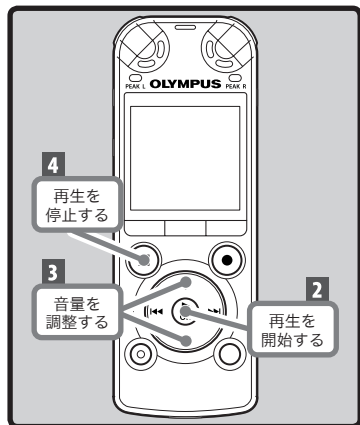
■ 本機の音声を他の機器で録音する：

他の機器の音声入力端子（マイクジャック）と本機の **EAR** ジャックをダビング用コネクティングコード KA333（別売）でつなぐと、本機の音声を他の機器へ録音できます。

ご注意

- 本機で再生関連の各種音質設定を調整すると、**EAR** ジャックから出力される音声出力信号も変化します（☞ P.89 ～ P.92、P.101）。

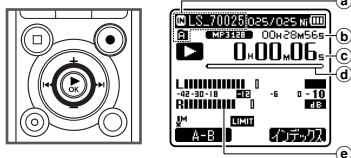
再生について

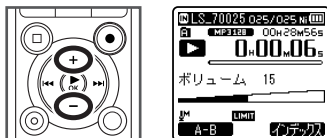
再生する

本機で録音したファイルのほか、パソコンから転送した WAV、MP3、WMA 形式のファイルを再生できます。

1 再生するファイルが収録されているフォルダからファイルを選ぶ（☞ P.32）

2 ►OK ボタンを押して再生を開始する

- ディスプレイの［▶］が点灯します。

ⓐ 記録メディア表示、ファイル名、フォルダ表示
ⓑ ファイルの長さ
ⓒ 再生経過時間
ⓓ 再生位置バー表示
ⓔ レベルメーター

3 ＋またはーボタンを押して聞きやすい音量にする

- ［**00**］～［**30**］の範囲で調整できます。数字が大きくなると音量が上がります。

4 STOP（■）ボタンを押して再生を停止する

- ディスプレイの［■］が点灯します。
- 再生しているファイルの途中で停止します。レジューム機能が働き電源を切っても停止位置を記憶します。次に電源を入れたときに記憶した停止位置から再生できます。

再生に関する設定

ファイルの再生方法は、目的やお好みに合わせてお選びください。

[ノイズキャンセル] **(☞ P.89)**	録音した音声が聞き取りにくいときはノイズキャンセルを設定してください。
[EUPHONY] **(☞ P.90)**	お好みに合わせ、4 段階にレベル調整できます。
[音声フィルタ] **(☞ P.92)**	再生または早聞き・遅聞き再生時に、低音域と高音域成分をカットし、音声をよりクリアに強調する音声フィルタ機能を搭載しています。
[再生モード] **(☞ P.93)**	お好みに合わせて再生モードをお選びいただけます。
[スキップ間隔] **(☞ P.94)**	再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返し再生するときなどに便利です。
[アラーム再生] **(☞ P.96)**	設定した時刻にアラーム音を鳴らし、アラームが鳴っている間にいずれかのボタンを押すと、あらかじめ設定したファイルを再生する機能です。
[再生シーン] **(☞ P.99)**	音質や再生方法に合わせて、お好みの再生設定を保存しておくことができます。
[リバーブ] **(☞ P.101)**	レコーディングスタジオからドームまで、さまざまな広さの空間での残響音をお楽しみいただけます。

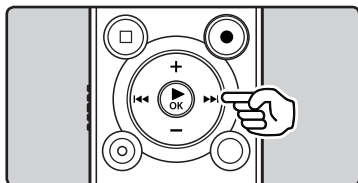
イヤホンで聞くには

本機の **EAR** ジャックにイヤホンを接続して聞くことができます。

- イヤホンを接続すると、スピーカから音は出ません。

ご注意

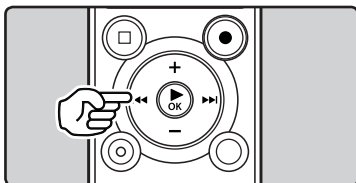
- 耳への刺激を避けるため、音量を［**00**］にしてからイヤホンを入れてください。
- 再生中イヤホンで聞く場合、音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こすおそれがあります。

早送りをするには

停止中に ▶▶I ボタンを押し続ける。

- ディスプレイの［▶▶］が点灯します。
- ▶▶I ボタンから手を離すと停止します。**▶OK** ボタンを押すと、その位置から再生します。

再生中に ▶▶I ボタンを押し続ける。

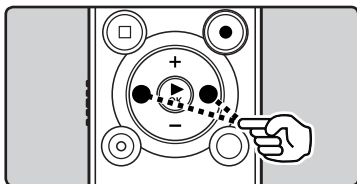
- ▶▶I ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中にインデックスマークやテンプマークがついているときは、その位置でいったん停止します（☞ P.45）。
- ファイルの終わりまで進むといったん停止します。さらに ▶▶I ボタンを押し続けると、次のファイルの先頭から早送りを続けます。

早戻しをするには

停止中に I◀◀ ボタンを押し続ける。

- ディスプレイの［◀◀］が点灯します。
- I◀◀ ボタンから手を離すと停止します。**▶OK** ボタンを押すと、その位置から再生します。

再生中に I◀◀ ボタンを押し続ける。

- I◀◀ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中にインデックスマークやテンプマークがついているときは、その位置でいったん停止します（☞ P.45）。
- ファイルの先頭まで戻るといったん停止します。さらに I◀◀ ボタンを押し続けると、前のファイルの終わりから早戻しを続けます。

ファイルの頭出しをするには

停止中または再生中に ▶▶I ボタンを押す。

• 次のファイルの頭出しをします。

再生中に I◀◀ ボタンを押す。

• 再生中のファイルの頭出しをします。

停止中に I◀◀ ボタンを押す。

• 1 つ前のファイルの頭出しをします。ファイルの途中で停止している場合、そのファイルの頭出しをします。

再生中に I◀◀ ボタンを 2 回押す。

• 1 つ前のファイルの頭出しをします。

ご注意

• 再生中に頭出しをした場合、ファイルの途中にインデックスマークやテンプマークがついているときは、その位置でいったん停止します。ただし、停止中に頭出しをした場合、インデックスマークやテンプマークの位置は飛び越されます（☞ P.45）。
• 再生中に頭出しをしたときに、［**スキップ間隔**］が［**ファイルスキップ**］以外に設定されている場合、設定時間分だけスキップまたは逆スキップして再生を開始します（☞ P.94）。

音楽ファイルについて

本機に転送した音楽ファイルが再生できない場合、サンプリングレートやビット数、ビットレートが再生できる範囲かご確認ください。本機で再生できる音楽ファイルのサンプリングレートやビット数、ビットレートの組み合わせは下記のとおりです。

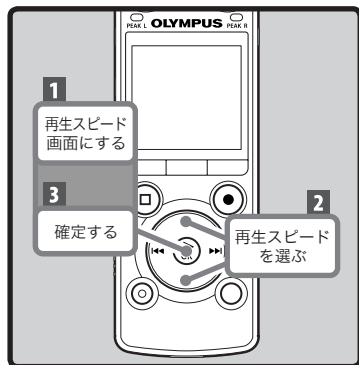
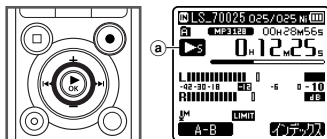
ファイル形式	サンプリングレート	ビット数およびビットレート
WAV 形式	44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz	16 bit または 24bit
MP3 形式	**MPEG1 Layer3**：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz **MPEG2 Layer3**：16 kHz、22.05 kHz、24 kHz	8 kbps から 320 kbps まで
WMA 形式	8 kHz、11 kHz、16 kHz、22 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz	5 kbps から 320 kbps まで

• 可変ビットレート（1 つのファイル内でビットレートを可変させて変換）の MP3 ファイルの再生については、正常に動作しない場合があります。
• WAV ファイルはリニア PCM 形式のみ、本機で再生できます。その他の WAV ファイルは再生できません。
• 本機で再生可能なファイル形式であっても、全てのエンコーダに対応しているわけではありません。

再生スピードを切り替える

会議の内容を早聞きしたり、語学学習で聞き取れなかった箇所を遅聞きするなど、必要に応じて切り替えてください。デジタル処理により、音程をかえずに音声を自動調整するため、違和感なく聞き取れます。

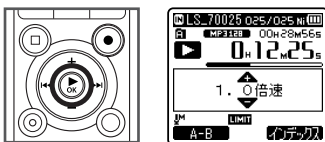
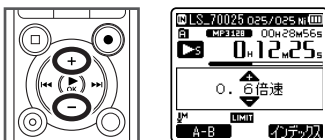
1 再生中に▶OK ボタンを押す

2 ＋または−ボタンを押して再生スピードを選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

ⓐ 再生スピード表示

- 再生を停止しても、変更した再生スピードはそのまま保持されます。次回の再生では変更した早さで再生を行います。

早聞き再生の制限事項について：

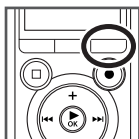
再生ファイルのサンプリング周波数やビットレートによっては、正常に動作しない場合があります。その場合は、早聞き再生の速度を落として再生してください。

ご注意

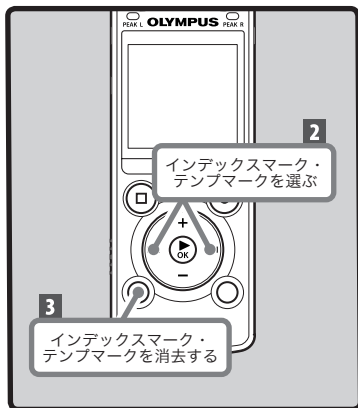
- 早聞き・遅聞き再生時でも、通常の再生と同じように、再生の停止、ファイルの頭出し、インデックスマーク・テンプマークの挿入などの操作ができます（☞ P.45）。
- ［**音声フィルタ**］が設定されていても、早聞き・遅聞き再生は使用できます（☞ P.92）。
- 早聞き・遅聞き再生時は以下の機能が使えません。
  - ［**ノイズキャンセル**］（☞ P.89）
  - ［**EUPHONY**］（☞ P.90）
  - ［**リバーブ**］（☞ P.101）
- ファイル再生中は［**音声ガイド**］の［**スピード**］（☞ P.107）設定が無効になります。

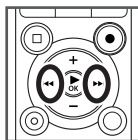
インデックスマーク・テンプマークをつける

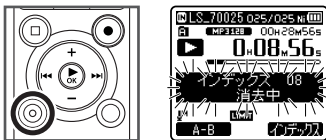
インデックスマークやテンプマークをつけると、早送り・早戻しやファイルの頭出し操作で、聞きたい位置をすばやく探せます。オリンパス製 IC レコーダー以外の機器で作成されたファイルにはインデックスマークがつけられませんが、代わりにテンプマークをつけることで聞きたい位置の一時記憶ができます。

1 インデックスマーク・テンプマークをつける位置で、F2（インデックス）ボタンを押す

- ディスプレイに番号が表示されインデックスマーク・テンプマークがつきます。

- インデックスマーク・テンプマークをつけたあとも録音または再生は続きますので、同様の操作で他の場所にインデックスマーク・テンプマークをつけることができます。

インデックスマーク・テンプマークを消去する

1 消去したいインデックスマーク・テンプマークのあるファイルを選ぶ

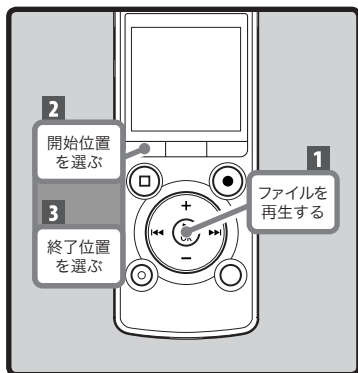
2 ►►I または I◄◄ ボタンを押して消去したいインデックスマーク・テンプマークを選ぶ

3 ディスプレイにインデックス・テンプ番号が表示されている間（約2秒間）に、ERASEボタンを押す

- インデックスマーク・テンプマークが消去されます。

- 消去したインデックスマーク・テンプマーク以降の番号は自動的に繰り上がります。

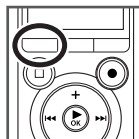
ご注意

- テンプマークは一時的なマーキングですので、ファイルをパソコンに転送したり、パソコンで移動すると自動的に消去されます。
- インデックスマーク・テンプマークは1つのファイル内に最大で16件までつけることができます。16件を超えてインデックスマーク・テンプマークをつけようとすると［**これ以上記録できません**］と表示されます。
- ファイルロックをかけてあるファイルは、インデックスマーク・テンプマークをつけたり消去することができません（☞ P.58）。

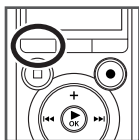
部分リピート再生のしかた

再生中のファイルの一部分を繰り返し再生できます。

1 部分リピートしたいファイルを選び、再生を開始する

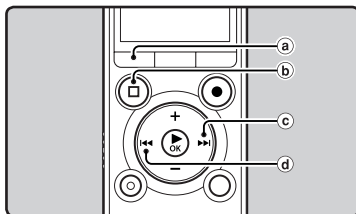
2 部分リピート再生の開始位置で、F1（A-B）ボタンを押す

- ディスプレイの［A］が点滅します。

- この［A］の点滅中も通常の再生中と同じように再生スピードの切り替え（☞ P.44）や、早送り・早戻し（☞ P.42）が行え、終了位置まで早く進められます。
- ［A］の点滅中にファイルの終わりまで到達した場合、そこが終了位置になり、リピート再生を開始します。

3 部分リピート再生を終了させたい位置で、もう一度 F1（A-B）ボタンを押す

- 部分リピート再生を解除するまで、繰り返し再生します。

ご注意

- 部分リピート再生中も通常再生と同じように、再生スピードをかえることができます（☞ P.44)。また、部分リピート再生中にインデックスマークやテンプマークの挿入・消去をした場合、部分リピート再生が解除され通常の再生に戻ります（☞ P.45)。

部分リピート再生を解除する

下記のいずれかのボタンを押すと、部分リピート再生は解除されます。

ⓐ **F1（キャンセル）ボタンを押す。**
F1（キャンセル） ボタンを押すと、部分リピート再生が解除され、通常の再生に戻ります。

ⓑ **STOP（■）ボタンを押す。**
STOP（■） ボタンを押すと、部分リピート再生が解除され、再生が停止します。

ⓒ **▶▶I ボタンを押す。**
▶▶I ボタンを押すと、部分リピート再生が解除され、頭出しになります。

ⓓ **I◀◀ ボタンを押す。**
I◀◀ ボタンを押すと、部分リピート再生が解除され、頭出しになります。

3

再生する

録音シーンや再生シーンを切り替える

録音シーンや再生シーンは簡単に切り替えができます。あらかじめ録音や再生に関する設定を登録すると、その設定内容で録音や再生を操作できます。詳しくは、「**録音シーンの設定［Rec Scene］**」または「**再生シーンの設定［Play Scene］**」をご覧ください（☞ P.83、P.99）。

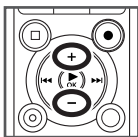
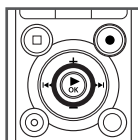
1 停止中に MENU/SCENE ボタンを押し続ける

• 再生中に **MENU/SCENE** ボタン押した場合、手順 4 に進みます。

2 ＋またはーボタンを押して［**録音シーン**］または［**再生シーン**］を選ぶ

3 ►OK ボタンを押す

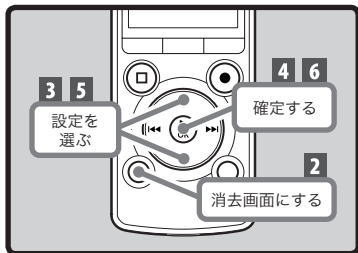
例：［**再生シーン**］を選んだ場合

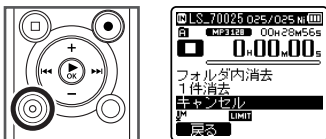
4 ＋またはーボタンを押して録音シーンまたは再生シーンを選ぶ

5 ►OK ボタンを押す

ご注意

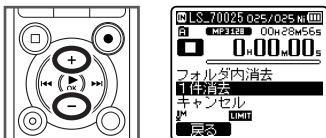
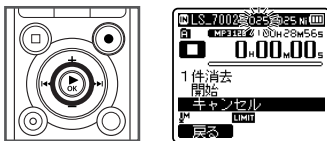
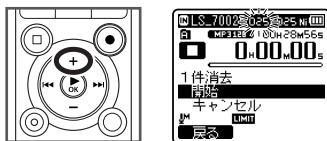
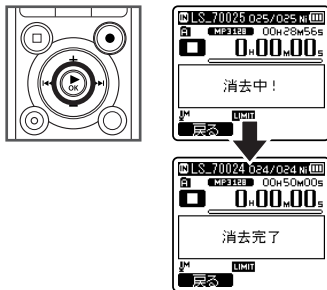
• ご購入直後は再生シーンの設定内容はすべてが初期設定となっています。
• 録音中は録音シーンが切り替えられません。

消去する

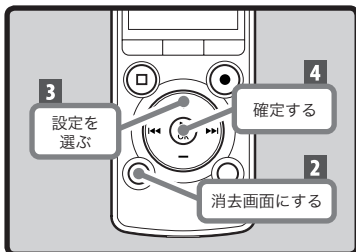
ファイルを消去する

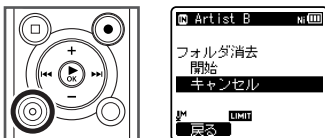
フォルダ内の消去したいファイルを消去できます。また、選んだフォルダやフォルダ内のファイルすべてを消去できます。

1 消去したいファイルを選ぶ（☞ P.32）

2 ファイル表示画面で停止中に ERASE ボタンを押す

- 操作中に 8 秒間何も操作しないと停止状態に戻ります。

3 **＋**または**－**ボタンを押して［**フォルダ内消去**］または［**1 件消去**］を選ぶ

4 ►OK ボタンを押す

5 **＋** ボタンを押して［**開始**］を選ぶ

6 ►OK ボタンを押す

- ディスプレイが［**消去中！**］にかわり、消去を開始します。［**消去完了**］と表示されたら終了です。

フォルダを消去する

フォルダごとファイルを消去できます。

1 消去したいフォルダを選ぶ
(☞ P.32)

2 ファイル表示画面で停止中に ERASE ボタンを押す

- 操作中に 8 秒間何も操作しないと停止状態に戻ります。

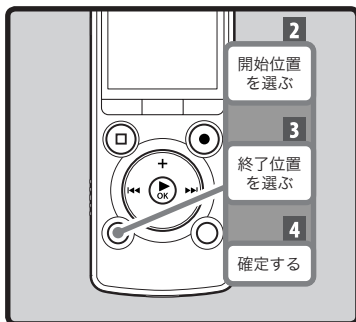
3 + ボタンを押して［**開始**］を選ぶ

4 ▶OK ボタンを押す

- ディスプレイが［**消去中 !**］にかわり、消去を開始します。［**消去完了**］と表示されたら終了です。

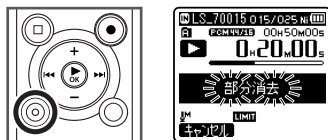
ファイルを部分消去する

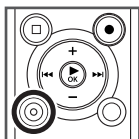
ファイルの不要な部分を消去できます。

> ! 部分消去できるファイルは本機で録音した PCM 形式のみです。

1 部分消去したいファイルを再生する

- 消去したい位置までファイルを進めます。ファイルが長い場合、▶▶| ボタンを使って部分消去したい位置まで進めます。

2 部分消去の開始位置で ERASE ボタンを押す

- ディスプレイの［**部分消去**］が点滅します。

- ［**部分消去**］点滅中も再生は続き、通常の再生中と同じように 早送り・早戻しが行え、終了位置まで早く進めることができます。表示の点滅中にファイルが終わりまで到達した場合、そこが消去終了位置になります。

3 部分消去を終了したい位置でもう一度 ERASE ボタンを押す

- ディスプレイの［**消去開始位置**］と［**消去終了位置**］が交互に点滅します。

4 ERASE ボタンを押す

- ディスプレイが［**部分消去中 !**］にかわり、消去を開始します。［**部分消去しました**］と表示されたら終了です。
- 部分消去完了位置で再生が停止します。
- 8 秒以内に **ERASE** ボタンを押さないと部分消去が解除されて再生状態に戻ります。

ご注意

- 一度消去したファイルは元に戻せません。消去の前に十分確認してください。
- 本機に microSD カードを入れた場合、操作する記録メディアが［**内蔵メモリ**］または［**microSD カード**］のどちらなのか間違えないよう必ず確認してください（☞ P.110）。
- 部分消去を行なうと、本機で表示される録音日時が変わります（ファイルの作成日時は変わりません）。部分消去を行なった後に、パソコンを使ってファイルのコピーおよび追加をした場合、ファイルの順序が入れ替わって表示される場合があります。ファイルの作成日時を確認する場合は、本機とパソコンを接続すればパソコンの画面で確認できます。
- ファイルロック設定のあるファイルや読み取り専用に設定されているファイルは消去されません（☞ P.58）。
- 本機のデフォルトフォルダの［**レコーダー**］（［**フォルダ A**］～［**フォルダ E**］）や、［**ミュージック**］は消去できません。
- ［**ミュージック**］フォルダでは、［**ミュージック**］以外のフォルダを消去できます。
- 本機で認識できないファイルがある場合、そのファイルおよびファイルのあるフォルダは消去されません。パソコンに接続して消去してください。
- 処理が完了するまで数十秒かかる場合があります。データが破損するおそれがありますので、処理中には次のような操作は絶対にしないでください。また、処理中に電池が切れることのないように、新しい電池に交換してください。
  ① 処理中に AC アダプタを取り外す。
  ② 処理中に電池を取り外す。
  ③ 記録メディアが［**microSD カード**］の場合、処理中にカードを取り外す。

メニューについて

メニュー設定のしかた

メニュー内の各項目はタブによって分類されているので、タブを選んで項目を移動すれば、すばやく目的の項目が設定できます。メニューの各項目は次の方法で設定が可能です。

1 録音中、再生中または停止中に、MENU/SCENE ボタンを押す

- メニュー画面に入ります。
- 録音中または再生中に設定できるメニュー項目については、メニューの一覧をご覧ください（☞ P.54 ～ P.57）。

2 ＋または－ボタンを押して設定したい項目のあるタブを選ぶ

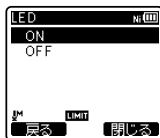
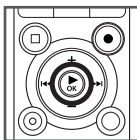
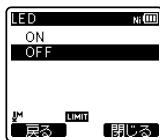
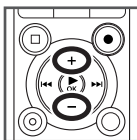
- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

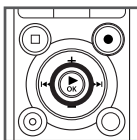
3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動する

- ▶▶I ボタンを押しても操作できます。

4 ＋または－ボタンを押して設定項目を選ぶ

5 ▶OK ボタンを押す

- 選んだ項目の設定に移動します。
- ▶▶I ボタンを押しても操作できます。

6 ＋またはーボタンを押して設定を変更する

7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- 設定が確定されたことを画面でお知らせします。

- **▶OK** ボタンを押さずに **I◀◀** ボタンを押すと、設定がキャンセルされ、1 つ前の画面に戻ります。

8 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 録音中または再生中にメニュー画面に入った場合、**F2**（**閉じる**）ボタンを押すと、録音または再生を中断させることなく元の画面に戻ります。

ご注意

- 停止中からの設定では、3 分間何も操作しないと停止状態に戻ります。この場合、設定途中の項目は変更されません。
- 録音または再生途中からの設定では、8 秒間何も操作しないとメニュー機能はキャンセルされます。

メニューの一覧

■ ファイルに関するメニュー設定：

設定タブ	設定項目	選択肢
ファイル設定 [File Menu]	**ファイルロック**［File Lock］☞ P.58	［**ON**］［**OFF**］
	並び替え［Replace］☞ P.59	フォルダ内のファイルを並び換えて再生順序を変更できます。
	ファイル移動／コピー [File Move/Copy] ☞ P.60	メモリ間でファイルのコピーと移動が行えます。
	ファイル分割［File Divide］☞ P.62	本機で録音したファイル（PCM、MP3）を分割することができます。
	プロパティ［Property］☞ P.64	ファイルを選んだ場合： ［**名前**］［**日時**］［**サイズ**］ ［**ビットレート**］ ［**アーティスト**］［**アルバム**］ フォルダを選んだ場合： ［**名前**］［**フォルダ数**］ ［**ファイル数**］

■ 録音に関するメニュー設定：

設定タブ	設定項目	選択肢
録音設定 [Rec Menu]	**マイク選択**［Mic Select］☞ P.66	［**センターマイクON**］ ［**センターマイクOFF**］
	マイク感度［Mic Sense］☞ P.67	［**高**］［**中**］［**低**］
	録音モード［Rec Mode］☞ P.68	［**PCM**］［**MP3**］［**WMA**］ 録音形式ごとに録音レートを設定できます。
	録音レベル［Rec Level］☞ P.70	［**マニュアル**］［**オート**］
	指向性マイク［Zoom Mic］☞ P.72	［**−3**］〜［**OFF**］〜［**+6**］
	ローカットフィルタ［Low Cut Filter］☞ P.73	［**300Hz**］［**100Hz**］［**OFF**］
	VCVA［VCVA］☞ P.75	［**ON/OFF**］： ［**ON**］［**OFF**］ ［**待機モニター**］： ［**ON**］［**OFF**］
	音声同期録音［V-Sync. Rec］☞ P.77	［**ON**］［**OFF**］

! 選択肢欄の ▭ 表記は初期設定です

■ 録音に関するメニュー設定（つづき）：

設定タブ	設定項目	選択肢
録音設定 [Rec Menu]	**タイマー録音** [Timer Rec] ☞ P.79	[**予約 1**] ～ [**予約 3**] に [**タイマー録音**] の設定を登録できます。
	録音シーン [Rec Scene] ☞ P.83	[**OFF**] [**ユーザー 1**] ～ [**ユーザー 3**]
	録音モニター [Rec Monitor] ☞ P.85	[**ON**] [**OFF**]
	プラグインパワー [Plug-inPower] ☞ P.86	[**ON**] [**OFF**]
	プリレコーディング [Pre-Recording] ☞ P.87	[**ON**] [**OFF**]

■ 再生に関するメニュー設定：

設定タブ	設定項目	選択肢
再生設定 [Play Menu]	**ノイズキャンセル** [Noise Cancel] ☞ P.89	[**HIGH**] [**LOW**] [**OFF**]
	EUPHONY [EUPHONY] ☞ P.90	[**POWER**] [**WIDE**] [**NATURAL**] [**OFF**]
	音声フィルタ [Voice Filter] ☞ P.92	[**ON**] [**OFF**]
	再生モード [Play Mode] ☞ P.93	[**再生範囲**]： [**ファイル**] [**フォルダ**] [**全ファイル**] [**リピート**]： [**ON**] [**OFF**] [**ランダム**]： [**ON**] [**OFF**]
	スキップ間隔 [Skip Space] ☞ P.94	[**スキップ**]： [**ファイルスキップ**] [**10 秒**] [**30 秒**] [**1 分**] [**5 分**] [**10 分**] [**逆スキップ**]： [**ファイルスキップ**] [**1 秒**] ～ [**5 秒**] [**10 秒**] [**30 秒**] [**1 分**] [**5 分**] [**10 分**]
	アラーム再生 [Alarm] ☞ P.96	[**予約 1**] ～ [**予約 3**] に [**アラーム再生**] の設定を登録できます。
	再生シーン [Play Scene] ☞ P.99	[**OFF**] [**ユーザー 1**] ～ [**ユーザー 3**]
	リバーブ [Reverb] ☞ P.101	[**OFF**] [**STUDIO**] [**CLUB**] [**HALL**] [**DOME**]

■ ディスプレイや音に関するメニュー設定：

設定タブ	設定項目	選択肢
表示／音設定 [LCD/Sound Menu]	**バックライト** [Backlight] ☞ P.102	**[点灯時間]**： **[OFF] [5 秒] [10 秒] [30 秒] [1 分]** **[輝度設定]**： **[HIGH] [LOW]**
	コントラスト [Contrast] ☞ P.103	**[01]** ～ **[06]** ～ **[12]**
	LED [LED] ☞ P.104	**[ON] [OFF]**
	ビープ音 [Beep] ☞ P.105	**[音量 1] [音量 2] [音量 3] [OFF]**
	言語選択（Lang） [Language(Lang)] ☞ P.106	**[日本語] [English]**
	音声ガイド [Voice Guide] ☞ P.107	**[ON / OFF]**： **[ON] [OFF]** **[スピード]**： **[スピード 1]** ～ **[スピード 3]** ～ **[スピード 5]** **[音量]**： **[音量 1]** ～ **[音量 3]** ～ **[音量 5]**
	イントロ再生 [Intro Play] ☞ P.109	**[10 秒] [5 秒] [3 秒] [OFF]**

■ 本機に関するメニュー設定：

設定タブ	設定項目	選択肢
本体設定 [Device Menu]	**メモリ選択** [Memory Select] ☞ P.110	**[内蔵メモリ] [microSD カード]**
	スリープ [Power Save] ☞ P.111	**[5 分] [10 分] [30 分] [1 時間] [OFF]**
	電池設定 [Battery] ☞ P.112	**[ニッケル水素電池]** **[アルカリ電池]**
	フォルダ名 [Folder Name] ☞ P.113	あらかじめ用意されたテンプレートの中からフォルダ名を選んで設定できます。
	時計設定 [Time & Date] ☞ P.24	**[時] [分] [年] [月] [日]**
	USB 設定 [USB Settings] ☞ P.114	**[USB 接続]**： **[PC 接続] [AC アダプタ接続]** **[毎回確認]** **[USB クラス]**： **[ストレージ] [コンポジット]**
	設定リセット [Reset Settings] ☞ P.116	メニュー設定を初期設定に戻します。
	初期化 [Format] ☞ P.118	メモリを初期化します。
	メモリ情報 [Memory Info.] ☞ P.120	メモリの残量と容量を表示します。
	システム情報 [System Info.] ☞ P.121	**[モデル] [バージョン] [シリアル番号]**

■ 録音メニュー設定：

設定項目	選択肢
マイク感度	メニュー項目の選択肢へ
録音レベル	
指向性マイク	
ローカットフィルタ	
VCVA	
録音モニター	
プラグインパワー	
バックライト	
LED	

■ 再生メニュー設定：

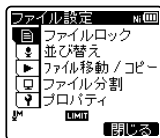
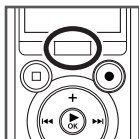
設定項目	選択肢
プロパティ	メニュー項目の選択肢へ
ノイズキャンセル	
EUPHONY	
音声フィルタ	
再生モード	
スキップ間隔	
リバーブ	
バックライト	
LED	

ファイル設定［File Menu］

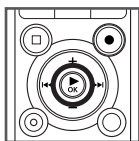
ファイルロックの設定［File Lock］

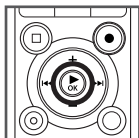
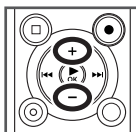
ファイルにファイルロックをかけることにより、重要なファイルの誤消去を防止できます。また、フォルダ内のファイル全消去を行っても消去されません（☞ P.49）。

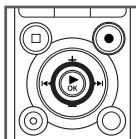
1 ファイルロックをかけたいファイルを選ぶ（☞ P.32）

2 停止中に MENU/SCENE ボタンを押す

- メニュー画面に入ります（☞ P.52）。

3 ►OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動させる

- ［**ファイル設定**］画面に入ります。

4 ►OK ボタンを押す

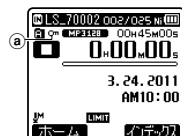
- ［**ファイルロック**］画面に入ります。

5 ＋または－ボタンを押して設定を変更する

［**ON**］：ファイルロックがかかります。
［**OFF**］：ファイルロックが解除されます。

6 ►OK ボタンを押して設定を完了する

- **I◄◄** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**ファイル設定**］画面に戻ります。

7 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ファイルリスト表示画面

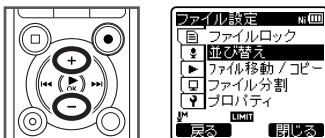
ファイル表示画面

ⓐ ファイルロック

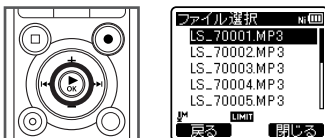
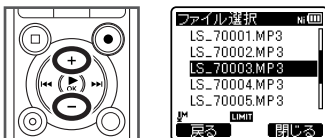
ファイルの並び替えをする［Replace］

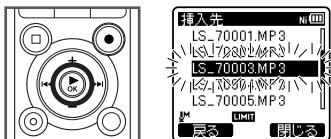
フォルダ内にあるファイルの再生順を変更できます。あらかじめ再生順を変更したいフォルダ（ファイル）を選んでください。

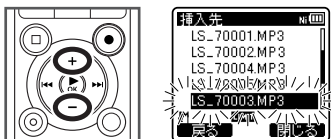
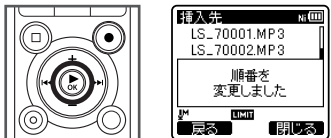
1 ファイルを入れ替えたいフォルダを選ぶ（☞ P.32）

2 ファイルロックの設定［File Lock］の手順２～３と同様の操作で［**ファイル設定**］画面に入ります（☞ P.58）

3 ＋または－ボタンを押して［**並び替え**］を選ぶ

4 ►OK ボタンを押す

- 手順１で選んだフォルダ内のファイルがリスト表示されます。

5 ＋または－ボタンを押して移動したいファイルを選ぶ

6 ►OK ボタンを押す

- カーソルが点滅表示し移動対象ファイルとして確定します。

- **I◄◄** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**ファイル選択**］画面に戻ります。

7 ＋または－ボタンを押して移動したい場所を選ぶ

8 ►OK ボタンを押して移動を完了する

- 引き続き並び替えたいファイルがある場合、再度手順５～手順８の操作を行ってください。
- **►OK** ボタンを押さずに **I◄◄** ボタンを押すと、設定がキャンセルされ、１つ前の画面に戻ります。

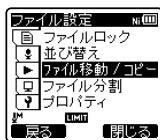
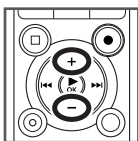
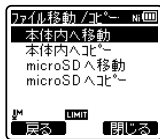
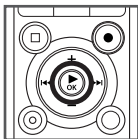
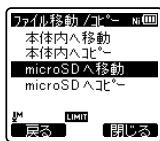
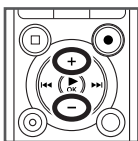
9 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

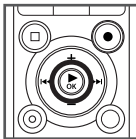
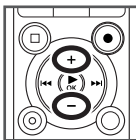
ファイルの移動／コピー［File Move/Copy］

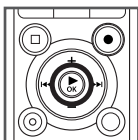
内蔵メモリまたは microSD カードに保存されているファイルを、メモリ内で移動したりコピーすることができます。また、メモリ間のファイル移動やコピーも可能です。

1 あらかじめ移動またはコピーしたいファイルが収録されているフォルダを選ぶ

2 ファイルロックの設定［File Lock］の手順 2 ～ 3 と同様の操作で［**ファイル設定**］画面に入ります（☞ P.58）

3 ＋または－ボタンを押して［**ファイル移動／コピー**］を選ぶ

4 ▶OK ボタンを押す

5 ＋または－ボタンを押してファイルの移動またはコピー方法を選ぶ

［**本体内へ移動**］：
内蔵メモリまたは microSD カード内のファイルを内蔵メモリ内の別のフォルダへ移動する。
［**本体内へコピー**］：
内蔵メモリまたは microSD カード内のファイルを内蔵メモリ内の別のフォルダへコピーする。
［**microSD へ移動**］：
内蔵メモリまたは microSD カード内のファイルを microSD カード内の別のフォルダへ移動する。
［**microSD へコピー**］：
内蔵メモリまたは microSD カード内のファイルを microSD カード内の別のフォルダへコピーする。

6 ▶OK ボタンを押す

7 ＋または－ボタンを押してファイルの移動またはコピー件数を選ぶ

［**1 件**］：指定した 1 件を選びます。
［**選択**］：複数のファイルを選びます。
［**全件**］：フォルダ内のファイルをすべて選びます。

8 ▶OK ボタンを押してそれぞれの設定に移る

［1件］を選んだ場合：

① ＋またはーボタンを押して移動またはコピーしたいファイルを選び、▶**OK** ボタンを押す。

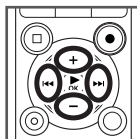
［選択］を選んだ場合：

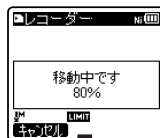
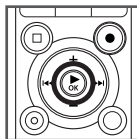
① ＋またはーボタンを押して移動またはコピーしたいファイルを選び、▶**OK** ボタンを押す。

② 手順 ① を繰り返して、移動またはコピーしたいファイルを選んだら、**F2**（**決定**）ボタンを押す。

［全件］を選んだ場合：

自動的に現在のフォルダ内の全てのファイルが選択され、［**移動先フォルダ**］画面に移ります。

9 ＋、ーまたは ▶▶I、I◀◀ ボタンを押して、ファイルの移動またはコピー先のフォルダを選ぶ

10 F2（**決定**）ボタンを押す

- ディスプレイに［**移動中です**］または［**コピー中です**］が表示され、移動またはコピーを開始します。その間は進行状況をパーセンテージで表示します。

- ［**移動しました**］または［**コピーしました**］と表示されたら終了です。

4

ファイル設定

JP

ご注意

- メモリ残量が足りない場合はコピーできません。
- ファイル件数が 200 件を超える場合は移動またはコピーできません。
- ファイルの移動またはコピー中に電池を抜かないでください。データが破損するおそれがあります。
- 同フォルダ内のファイル移動またはコピーはできません。
- 移動またはコピー中に操作をキャンセルすると、現在移動またはコピーを完了したファイルまでは有効となり、それ以外のファイルはキャンセルされます。
- ファイルロック（☞ P.58）のかけてあるファイルは、移動またはコピー後もその状態を保ちます。
- DRM が施されているファイルの移動またはコピーはできません。
- ［**レコーダー**］フォルダ直下にはファイルの移動またはコピーはできません。

ファイルの分割をする [File Divide]

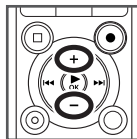
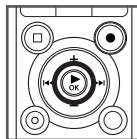
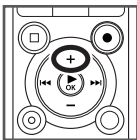
容量の大きいファイルや録音時間の長いファイルを分割して管理・編集しやすくすることができます。

> ファイル分割できるファイルは本機で録音した MP3 形式、PCM 形式のみです。

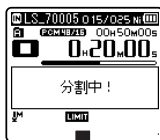
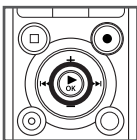
1 **ファイル分割したい位置で停止させる**

- ▶▶I または I◀◀ ボタンを押し続けると早送り・早戻しします。
- 分割位置はあらかじめインデックスマークなどでマーキングしておくと便利です。

2 **ファイルロックの設定［File Lock］の手順 2 ～ 3 と同様の操作で［ファイル設定］画面に入ります（☞ P.58）**

3 **＋または－ボタンを押して［ファイル分割］を選ぶ**

4 **▶OK ボタンを押す**

5 ＋ボタンを押して［**開始**］を選ぶ

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**ファイル設定**］画面に戻ります。

6 ▶OK ボタンを押す

- ディスプレイが［**分割中 !**］にかわり、ファイル分割を開始します。［**分割しました**］と表示されたら終了です。

7 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- ファイル表示画面以外からは［**ファイル分割**］はできません。
- フォルダ内のファイル件数が 199 件以上の場合、分割できません。
- ファイルロック（☞ P.58）がかかっているファイルは分割できません。
- 分割後のファイルは、前半部分のファイルは「**ファイル名 _1.wav**」、後半部分のファイルは「**ファイル名 _2.wav**」となります。
- MP3 や PCM ファイルでも収録時間の極端に短いファイルは分割できない場合があります。
- ファイルの分割中に電池を抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

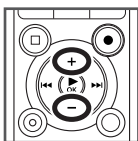
ファイルやフォルダの情報を見る［Property］

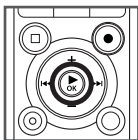
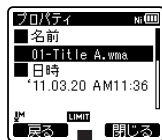
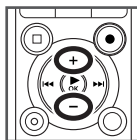
メニュー画面からファイルやフォルダの情報を確認できます。

ファイルの情報を見る

1 情報を表示したいファイルを選ぶ（☞ P.32）

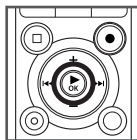
2 ファイルロックの設定［File Lock］の手順２～３と同様の操作で［**ファイル設定**］画面に入ります（☞ P.58）

3 ＋または－ボタンを押して［**プロパティ**］を選ぶ

4 ►OK ボタンを押す

- ［**プロパティ**］画面に入ります。

5 ＋または－ボタンを押して画面を切り替える

- ［**名前**］［**日時**］［**サイズ**］［**ビットレート**］***1**［**アーティスト**］***2**［**アルバム**］***2** が表示されます。

***1** リニア PCM 形式のファイルを選んだ場合、［**ビットレート**］部にサンプリング周波数やビット数が表示されます。

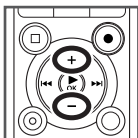
***2** タグ情報がファイルにない場合、［**UNKNOWN_ARTIST**］、［**UNKNOWN_ALBUM**］と表示されます。

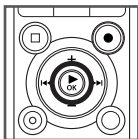
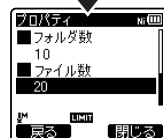
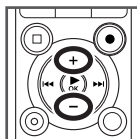
6 情報を確認したら►OK ボタンを押して［**プロパティ**］画面から出る

7 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

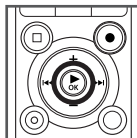
フォルダの情報を見る

1 情報を表示したいフォルダを選ぶ（☞ P.32）

2 ファイルロックの設定［**File Lock**］の手順２～３と同様の操作で［**ファイル設定**］画面に入ります（☞ P.58）

3 ＋または－ボタンを押して［**プロパティ**］を選ぶ

4 ▶OK ボタンを押す

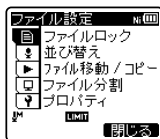
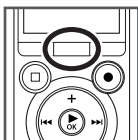
- ［**プロパティ**］画面に入ります。

5 ＋または－ボタンを押して画面を切り替える

- ［**名前**］［**フォルダ数**］［**ファイル数**］が表示されます。
- 本機で認識できない形式のファイルについては、ファイル数に含まれません。

6 情報を確認したら▶OK ボタンを押して［**プロパティ**］画面から出る

7 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

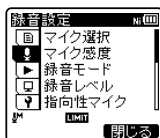
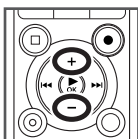
録音設定 [Rec Menu]

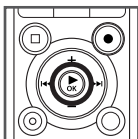
マイク選択の設定 [Mic Select]

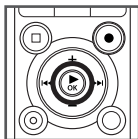
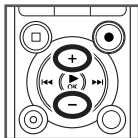
内蔵センターマイクのオン／オフを切り替えます。

1 停止中または録音中に MENU/SCENE ボタンを押す

- メニュー画面に入ります (☞ P.52)。

2 ＋または－ボタンを押して［**録音設定**］タブを選ぶ

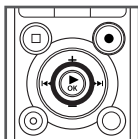
- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 ►OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動させる

- ［**録音設定**］画面に入ります。

4 ►OK ボタンを押す

- ［**マイク選択**］画面に入ります。

5 ＋または－ボタンを押して、［**センターマイク ON**］または［**センターマイク OFF**］を選ぶ

［**センターマイク ON**］:
3 マイクモード録音になります。

［**センターマイク OFF**］:
内蔵ステレオマイクのみの録音になります。

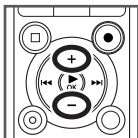
- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、前の画面に戻ります。

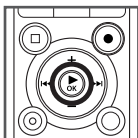
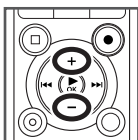
6 ►OK ボタンを押して設定を完了する

7 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

マイク感度の設定［Mic Sense］

目的に合わせて内蔵マイクの感度を切り替えられます。

1 マイク選択の設定［Mic Select］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**録音設定**］画面に入ります（☞ P.66）

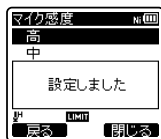
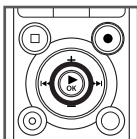
2 ＋またはーボタンを押して［**マイク感度**］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

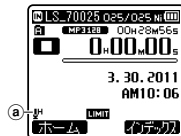
- ［**マイク感度**］画面に入ります。

4 ＋またはーボタンを押して［**高**］、［**中**］または［**低**］を選ぶ

［**高**］：
最も録音感度が高く、大人数の会議など、遠くの音や小さな音の録音に適しています。

［**中**］：
打合せや少人数の会議などの録音に適しています。

［**低**］：
最も録音感度が低く、口述録音に適しています。

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

5 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

6 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ マイク感度

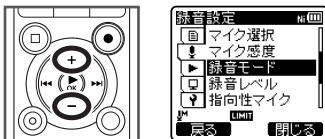
ご注意

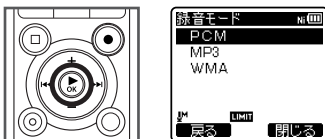
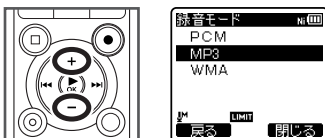
- 話し手の声をはっきりと録音したい場合、［**マイク感度**］を［**低**］に設定し、本機の内蔵マイクを話し手の口に近づけて（5 ～ 10cm）録音してください。

録音モードの設定［Rec Mode］

ステレオまたはモノラルの録音方式のほか、音質を重視して録音したり録音時間を重視して録音できます。目的に合わせて録音モードをお選びください。

1 マイク選択の設定［Mic Select］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**録音設定**］画面に入ります (☞ P.66)

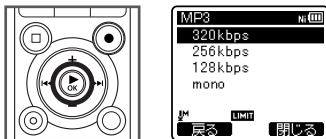
2 ＋またはーボタンを押して［**録音モード**］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

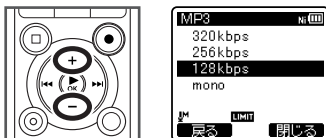
- ［**録音モード**］画面に入ります。

4 ＋またはーボタンを押して録音モードを選ぶ

[PCM]：
音楽 CD などに採用されている非圧縮音声形式です。

[MP3]：
ISO（国際標準化機構）のワーキンググループである MPEG が制定した国際規格です。

[WMA]：
米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式です。

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

5 ▶OK ボタンを押す

例：［**MP3**］を選んだ場合

6 ＋またはーボタンを押して録音レートを選ぶ

[PCM] を選んだ場合：
［**96 kHz/24 bit**］～［**44.1 kHz/mono**］

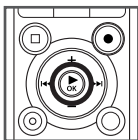
[MP3] を選んだ場合：
［**320 kbps**］～［**mono**］

[WMA] を選んだ場合：
［**128 kbps**］～［**mono**］

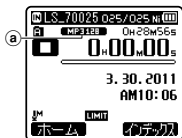
- サンプリングレートやビット数、ビットレートは数値が高いほどより高音質な規格になります。
- 高い録音レートに設定した場合、ファイル容量が大きくなります。録音操作の前に、メモリ残量が充分にあるかご確認ください。
- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、前の画面に戻ります。

7 ▶OK **ボタンを押して設定を完了する**

8 F2 **（閉じる）ボタンを押してメニュー画面を終了する**

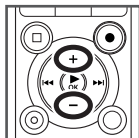
- 設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ 録音モード

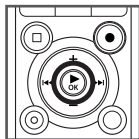
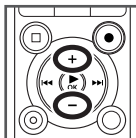
ご注意

- 指向性マイク機能を使用している場合、［**録音モード**］の［**PCM**］は［**44.1 kHz/16 bit**］以外に切り替えられません(☞ P.72)。また、［**MP3**］、［**WMA**］ではすべてのモードでご使用いただけます。
- ［**MP3**］の［**mono**］を選択した場合は 64 kbps となります。
- ［**WMA**］の［**mono**］を選択した場合は 8 kbps となります。
- 会議や講演会などをはっきりと録音したい場合、［**録音モード**］の設定を［**mono**］以外にして録音してください。
- ［**録音モード**］の設定をステレオ録音方式にして録音すると、モノラルマイクを接続した場合、L チャンネルのみに音声が録音されます。

録音レベルの設定 [Rec Level]

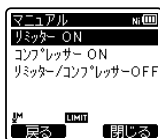
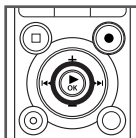
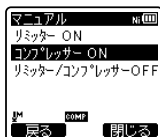
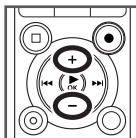
録音レベルを自動で調整するか、手動で調整するか設定できます。

1 マイク選択の設定［Mic Select］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**録音設定**］画面に入ります（☞ P.66）

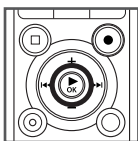
2 ＋または－ボタンを押して［**録音レベル**］を選ぶ

3 ►OK ボタンを押す

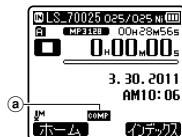
- ［**録音レベル**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して［**マニュアル**］または［**オート**］を選ぶ

［**マニュアル**］：録音レベルを 16 段階に調整して録音します（引き続き手順 5 ～手順 8 を操作してください）。

［**オート**］：録音レベルを自動で調整して録音します。すぐに録音するときに便利です（引き続き手順 7 ～手順 8 を操作してください）。

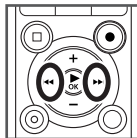
5 ►OK ボタンを押す

6 ＋または－ボタンを押して［**リミッター ON**］、［**コンプレッサー ON**］または［**リミッター / コンプレッサー OFF**］を選ぶ

［**リミッター ON**］：突発的な大音量の入力があった場合に、補正して入力レベルを絞る機能です。音がひずむのを抑えます。

［**コンプレッサー ON**］：大きな音量と小さな音量が混在した入力があった場合に補正して、入力レベルのバラつきを抑える機能です。全体的に均一に整え、聞きやすくなります。
［**リミッター／コンプレッサー OFF**］：補正機能を使わずに、入力レベルを調整する場合に使います。

7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

8 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ録音レベル

録音レベルを調整する

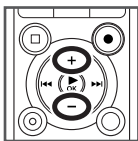
1 録音中または録音一時停止中に、▶▶I または I◀◀ ボタンを押して録音レベルを調整する

ご注意

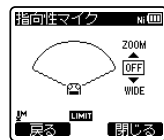
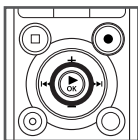
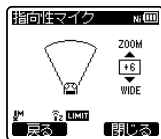
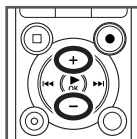
- ［**OVER**］が表示されると音が歪んだ状態で録音されます。［**OVER**］が表示されないよう録音レベルを調整してください。
  録音レベルを調整しても音の歪みが消えない場合は、マイク感度（☞ P.67）の設定を変更して、もう一度録音レベルを調整してください。
- あまりにも大きな音を入力すると、［**録音レベル**］を［**オート**］、［**リミッター ON**］または［**コンプレッサー ON**］に設定していてもノイズが発生することがあります。また、このときには過入力をお知らせする［**PEAK**］表示ランプが点灯しない場合があります。失敗のない録音のために試し録りをしてください。
- ［**01**］～［**16**］の範囲で調整できます。数字が大きくなるとレベルが上がり、レベルメーターの指標位置が大きくなります。

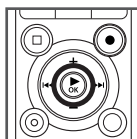
指向性マイクの設定［Zoom Mic］

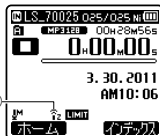
指向性マイク機能は DiMAGIC（ダイマジック社）の DVM（DiMAGIC Virtual Microphone）技術を使用しています。DVM は任意の方向からの音を強調して録音することが可能な収音システムです。広がりのあるステレオ録音から指向性の高い録音まで、内蔵ステレオマイク一つで切り替えを可能とした、最新の指向性制御方式です。

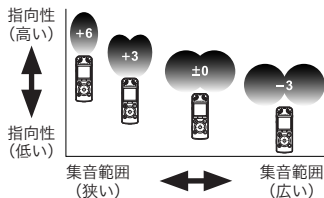
1 マイク選択の設定［Mic Select］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［録音設定］画面に入ります (☞ P.66)

2 ＋または－ボタンを押して［指向性マイク］を選ぶ

3 ►OK ボタンを押す

- ［**指向性マイク**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して内蔵ステレオマイクの指向性を調整する

- ＋側にすると指向性が高まります。
- －側にすると広がりのあるステレオ感で録音できます。
- 指向性を抑え、収音範囲を広げるとステレオ感のある録音ができます。
- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、前の画面に戻ります。

5 ►OK ボタンを押して設定を完了する

6 F2（閉じる）ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ 指向性マイク

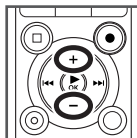
指向性マイク機能について：

ご注意

- ［**−3**］～［**+6**］の範囲で調整できます。
- ［**指向性マイク**］機能は内蔵ステレオマイクでのみ性能がでるように設計されています。市販品のマイクを使った場合や、コネクティングコードを利用して他の機器から録音する場合は正常な録音ができなくなりますのでご注意ください。

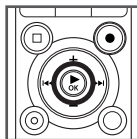
ローカットフィルタの設定［Low Cut Filter］

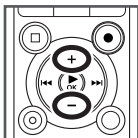
録音時に低周波音をカットし、音声をよりクリアに録音するローカットフィルタ機能を搭載しています。エアコンの空調音やプロジェクターなどのノイズを低減できます。

1 マイク選択の設定［Mic Select］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［録音設定］画面に入ります（☞ P.66）

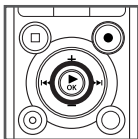
2 ＋またはーボタンを押して［ローカットフィルタ］を選ぶ

3 ►OK ボタンを押す

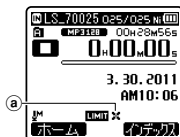
- ［**ローカットフィルタ**］画面に入ります。

4

録音設定

4 **+またはーボタンを押して［300Hz］、［100Hz］または［OFF］を選ぶ**

［**300Hz**］：［**100Hz**］の設定で効果が十分に得られない場合におためしください。
［**100Hz**］：エアコンやプロジェクターの付近などで発生するノイズを軽減する機能です。屋内で録音するときに効果があります。
［**OFF**］：機能しません。

- **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

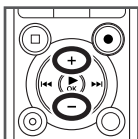
5 **▶OK ボタンを押して設定を完了する**

6 **F2（閉じる）ボタンを押してメニュー画面を終了する**

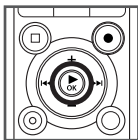
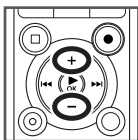
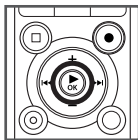
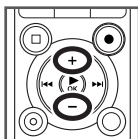
- 設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ ローカットフィルタ

音声起動録音の設定［VCVA］

音声起動録音（VCVA）とは、設定した音声起動レベルよりも大きな音声を感知すると自動的に録音が始まり、音声が小さくなると自動的に録音を一時停止する機能です。会議中の長い沈黙などを自動的にカットして録音することによりメモリを節約できます。

1 マイク選択の設定［**Mic Select**］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**録音設定**］画面に入ります（☞ P.66）

2 ＋または－ボタンを押して［VCVA］を選ぶ

3 ►OK ボタンを押す

- ［**VCVA**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して［ON/OFF］または［**待機モニター**］を選ぶ

5 ►OK ボタンを押す

6 ＋または－ボタンを押して［ON］または［OFF］を選ぶ

［ON/OFF］を選んだ場合：

［**ON**］：VCVA が機能します。VCVA の音声起動レベルは調整できます（☞ P.76）。

［**OFF**］：機能しません。通常の録音に戻ります。

［待機モニター］を選んだ場合：

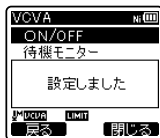
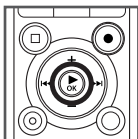
［**ON**］：VCVA 待機中の間は録音モニター（イヤホン出力）が行われません（☞ P.36）。 VCVA の起動状態が音声の出力で確認できます。

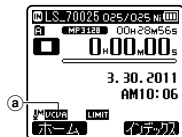
［**OFF**］：常にイヤホン出力を行います。

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

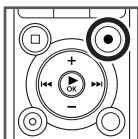
4

録音設定

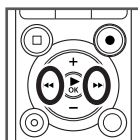
7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

8 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ VCVA

音声起動レベルの調整をして録音する

1 REC（●）ボタンを押して録音を開始する

- VCVA 録音をする場合、［**VCVA**］を［**ON**］に設定します。
- 設定した起動感度より音が小さくなると約 1 秒後に自動的に録音がいったん停止します。
  このときディスプレイに［**待機中**］が点滅します。録音起動中は録音表示ランプが点灯し、いったん停止すると点滅します。

2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して音声起動レベルを調整する

- ディスプレイに VCVA の音声起動レベルを 23 段階で表示します。
- 数字が大きくなるほど VCVA の起動感度は高くなり、小さな音でも録音が始まるようになります。

ⓐ レベルメーター（録音音量に合わせて変化します）
ⓑ 音声起動レベル（設定レベルに応じて左右に動きます）

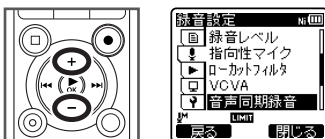
ご注意

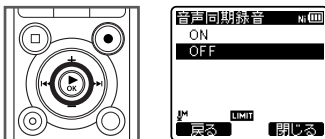
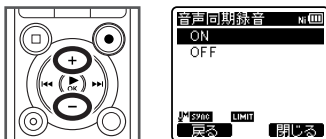
- ［**VCVA**］機能を使うときは、以下の機能は使用できません。
  - ［**音声同期録音**］（☞ P.77）
  - ［**プリレコーディング**］（☞ P.87）
- ［**録音モニター**］を［**OFF**］に設定したときは、［**待機モニター**］は機能しません（☞ P.85）。
- 音声起動レベルの調整は 2 秒以内に行わないと表示が元に戻ります。
- まわりの雑音が大きいなど、録音状況に応じて VCVA の音声起動レベルを調整できます。
- 失敗のない録音を行うために、事前に試し録音で音声起動レベルを調整することをおすすめします。

音声同期録音の設定［V-Sync. Rec］

音声同期録音は、設定した音声同期レベル（検出レベル）よりも大きな音声を感知すると自動的に録音を開始し、音声が小さくなると自動的に録音を停止する機能です。音声同期録音の設定中は、音声同期レベル（検出レベル）以下の入力が、設定した検出時間以上経過すると、本機が待機状態になります。

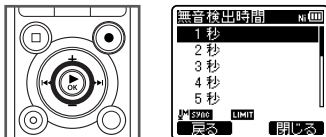
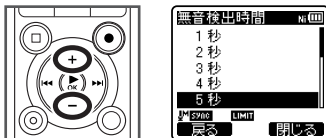
1 マイク選択の設定［Mic Select］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**録音設定**］画面に入ります (☞ P.66)

2 ＋または－ボタンを押して［**音声同期録音**］を選ぶ

3 ►OK ボタンを押す

- ［**音声同期録音**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して［ON］または［OFF］を選ぶ

［**ON**］：音声同期録音が機能します。
［**OFF**］：機能しません。通常の録音に戻ります。

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

5 ►OK ボタンを押す

- ［**ON**］を選んだ場合、［**無音検出時間**］画面に入ります。

6 ＋または－ボタンを押して設定を変更する

［**1 秒**］［**2 秒**］［**3 秒**］［**4 秒**］［**5 秒**］［**10 秒**］：検出時間を設定します。規定レベル以下の入力（録音レベル）が設定した検出時間以上続くと、本機は待機状態になります。

7 ►OK ボタンを押して設定を完了する

8 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

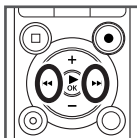
ⓐ 音声同期録音

音声同期レベルの調整をして録音する

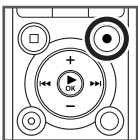
1 REC（●）ボタンを押して録音の準備をする

- 音声同期録音をする場合、［**音声同期録音**］を［**ON**］にし、検出時間を設定してください。

2 ►►I または I◄◄ ボタンを押して音声同期レベルを調整する

- ディスプレイに音声同期レベルを 23 段階で表示します。
- 数字が大きくなるほど起動感度は高くなり、小さな音でも録音を開始します。

ⓐ 音声同期レベル（設定レベルに応じて左右に動きます）

3 もう一度 REC（●）ボタンを押す

- 録音待機中となります。ディスプレイに［**待機中**］が点滅し、録音表示ランプが点滅します。
- 音声同期レベル以上の入力があると、自動的に録音を開始します。

4 音声同期録音が自動的に停止します

- 音声同期レベル以下の音が設定時間以上続くと録音が自動的に終了し、手順3の録音待機状態に戻ります。待機状態になるたびにファイルは閉じられ、別ファイルで録音されていきます。
- 音声同期録音を途中で止める場合、**STOP**（■）ボタンを押してください。

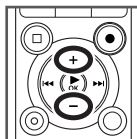
ご注意

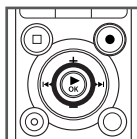
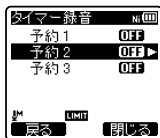
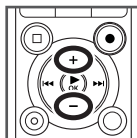
- ［**音声同期録音**］機能を使うときは、以下の機能は使用できません。
  - ［**VCVA**］（☞ P.75）
  - ［**プリレコーディング**］（☞ P.87）

タイマー録音の設定 [Timer Rec]

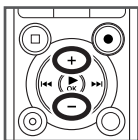
タイマー録音とは設定した時間に録音を行う機能です。お好みの設定（[**ON/OFF**]、[**曜日**]、[**時刻**]、[**録音モード**]、[**録音フォルダ**]、[**マイク感度**]）を３件（[**予約 1**］～[**予約 3**]）まで登録しておくことができます。

1 マイク選択の設定［Mic Select］の手順１～３と同様の操作で［**録音設定**］画面に入ります（☞ P.66）

2 ＋または－ボタンを押して［**タイマー録音**］を選ぶ

3 ►OK ボタンを押す

- ［**タイマー録音**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して予約番号を選ぶ

5 ►OK ボタンを押す

- ［**予約**］画面に入ります。

6 ＋またはーボタンを押して設定項目を選ぶ

7 ►OK ボタンを押してそれぞれの設定に移る

- ［**ON/OFF**］、［**曜日**］、［**時刻**］、［**録音モード**］、［**録音フォルダ**］、［**マイク感度**］の中から、設定したい項目を選んでください。

［ON/OFF］の設定

① ＋またはーボタンを押して［**ON/OFF**］の設定を選び、►**OK** ボタンを押す。

［**ON**］：設定内容が実行されます。
［**OFF**］：設定内容は実行されません。

［曜日］の設定

① ＋またはーボタンを押して［**曜日**］の設定を選び、►**OK** ボタンを押す。

［**1回のみ**］：設定時刻で1回のみ録音します。
［**毎日**］：設定時刻で毎日継続して録音します。
［**毎週**］：指定した曜日の設定時刻に録音します。

- ［**毎週**］を選び►**OK** ボタンを押すと［**曜日**］の選択に移ります。

＋またはーボタンを押して曜日を選び、►**OK** ボタンを押す。

［時刻］の設定

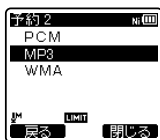
① ►►I または I◄◄ ボタンを押して設定項目を選ぶ。

② ＋またはーボタンを押して設定する。

③ タイマー録音の開始時刻と終了時刻を設定したら、►**OK** ボタンを押す。

［録音モード］の設定

通常の［**録音モード**］設定とは別に、設定した［**録音モード**］でタイマー録音を開始します (☞ P.68)。

① ＋または－ボタンを押して［**録音モード**］を選び、▶**OK** ボタンを押す。

② ＋または－ボタンを押して録音レートの設定を選び、▶**OK** ボタンを押す。

［録音フォルダ］の設定

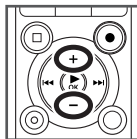
① ＋または－ボタンを押して保存先（メモリ）を選び、▶**OK** ボタンを押す。

② ＋または－ボタンを押して保存先（フォルダ）を選び、▶**OK** ボタンを押す。

［マイク感度］の設定

本機の［**マイク感度**］設定 (☞ P.67) とは別に、設定したマイク感度でタイマー録音を開始します。

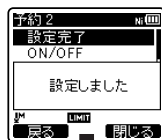
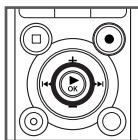
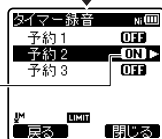
① ＋または－ボタンを押してマイク感度の設定を選び、▶**OK** ボタンを押す。

8 ＋または－ボタンを押して［設定完了］を選ぶ

9 ►OK ボタンを押して設定を完了する

設定時［**ON**］

- 登録した設定内容が確定し、予約選択メニューに戻ります。
- 他の予約番号を設定する場合、これまでの操作を繰り返してください。
- 予約選択メニュー中に ▶▶I ボタンを押すと、設定内容の確認ができます。

10 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

- ［**ON/OFF**］設定を［**ON**］にすると、ディスプレイに［⏲］が表示されます。

ⓐ タイマー録音

ご注意

- ［**タイマー録音**］の開始時刻に本機を操作していたり、本機が動作中のときは、終了後に［**タイマー録音**］を開始します。
- 電源オフやホールドになっていても、［**タイマー録音**］の設定時刻になると録音を始めます。
- ［**開始時刻**］の設定が同じ場合の優先順位は、［**予約 1**］が一番高く、［**予約 3**］が一番低くなります。
- ［**タイマー録音**］と［**アラーム再生**］（☞ P.96）の［**開始時刻**］が同時刻に設定されているときは、［**タイマー録音**］が優先されます。
- タイマー録音中に電池がなくなると録音が中断しますので、あらかじめ電池残量を確認してください。
- あらかじめ［**現在日時**］を確認し、ずれていたら本機の日付と時刻を合わせてください（☞ P.25）。
- 保存先を microSD カードに設定し、タイマー録音時に microSD カードが挿入されていない場合は内蔵メモリの［**フォルダ A**］に録音します。

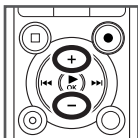
4

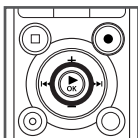
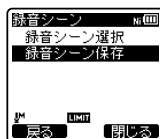
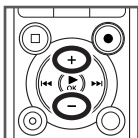
録音設定

録音シーンの設定 [Rec Scene]

録音する場面や状況に合わせ、お好みの録音設定を保存しておくことができます。

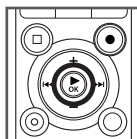
1 **マイク選択の設定［Mic Select］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［録音設定］画面に入ります**（☞ P.66）

2 **＋またはーボタンを押して［録音シーン］を選ぶ**

3 **▶OK ボタンを押す**

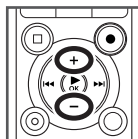
- ［**録音シーン**］画面に入ります。

4 **＋またはーボタンを押して［録音シーン選択］または［録音シーン保存］を選ぶ**

［**録音シーン選択**］：
あらかじめ保存した録音設定を選べます。

［**録音シーン保存**］：
現在の録音に関するメニュー設定を最大３件まで保存できます。

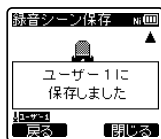
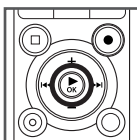
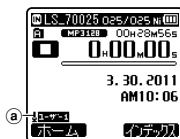
5 **▶OK ボタンを押す**

- ［**録音シーン選択**］を選んだ場合、手順 8 の操作に進みます。

録音シーンを登録する

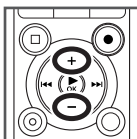
6 **＋またはーボタンを押して設定の保存先を選ぶ**

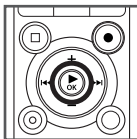
- あらかじめ録音設定は目的に合わせて設定を済ませてください（☞ P.66 ～ P.78、P.85 ～ P.88）。
- 設定の保存先は［**ユーザー 1**］、［**ユーザー 2**］または［**ユーザー 3**］から選べます。

7 **▶OK ボタンを押して設定を完了する**

4

録音設定

- ［**録音シーン保存**］を選んだ場合、手順 10 の操作に進みます。

ⓐ 録音シーン

録音シーンを呼び出す

8 ＋またはーボタンを押して録音シーンを選ぶ

- 設定の内容を確認するには、＋またはーボタンで録音シーンを選び、▶▶I ボタンを押します。I◀◀ ボタンを押すと［**録音シーン選択**］画面に戻ります。

9 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

10 F2（閉じる）ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

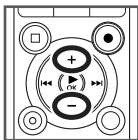
ご注意

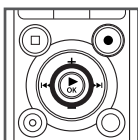
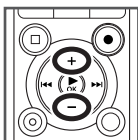
- 録音シーン選択時は、録音に関するメニュー設定の変更ができません。これら機能をご使用になる場合、［**録音シーン**］の設定を［**OFF**］にしてください。

録音モニターの設定［Rec Monitor］

録音中の音声をイヤホンジャックから出力する／しないを選べます。

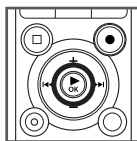
1 マイク選択の設定［**Mic Select**］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**録音設定**］画面に入ります（☞ P.66）

2 ＋または－ボタンを押して［**録音モニター**］を選ぶ

3 ►OK ボタンを押す

- ［**録音モニター**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して［**ON**］または［**OFF**］を選ぶ

［**ON**］：
録音モニターが機能します。**EAR** ジャックから音声を出力します。

［**OFF**］：
機能しません。**EAR** ジャックから音声を出力しません。

- **I◄◄** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

5 ►OK ボタンを押して設定を完了する

6 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- アンプ内蔵スピーカなどを接続している場合、録音中にハウリングをおこすおそれがあります。録音モニターはイヤホンをご使用になるか、録音中は［**録音モニター**］を［**OFF**］にすることをおすすめします。

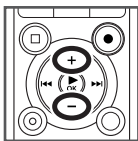
4

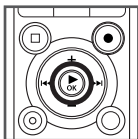
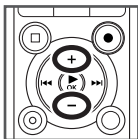
録音設定

外部マイクの電源供給を設定する［Plug-inPower］

プラグインパワー機能に対応した外部マイクをご使用できます。外部マイクに電源を供給する／しないを設定できます。

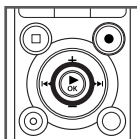
1 マイク選択の設定［Mic Select］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**録音設定**］画面に入ります（☞ P.66）

2 ＋または－ボタンを押して［**プラグインパワー**］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

- ［**プラグインパワー**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して、［**ON**］または［**OFF**］を選ぶ

［**ON**］：プラグインパワーが機能します。接続した外部マイクに電源を供給します。プラグインパワー対応の外部マイクを接続した場合に選びます（☞ P.38）。

［**OFF**］：機能しません。プラグインパワーに対応していない外部マイクを接続した場合に選びます。

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

5 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

6 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

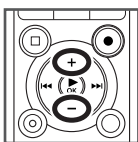
ご注意

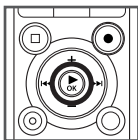
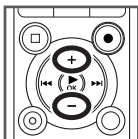
- プラグインパワーに対応していない外部マイクを接続した場合、プラグインパワー機能を［**OFF**］にしてください。録音時にノイズが出るおそれがあります。
- プラグインパワー機能を［**ON**］にしてもファントム電源の供給はできません。

録音開始前から録音する［Pre-Recording］

プリレコーディングは、録音開始最大２秒前※からの音声に続けて録音を行う機能です。例えば小鳥の鳴き声を録音する場合、鳴いたときに録音ボタンを押すと、小鳥が鳴く最大２秒前※から録音が始まります。

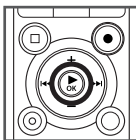
1 マイク選択の設定［Mic Select］の手順１～３と同様の操作で［**録音設定**］画面に入ります (☞ P.66)

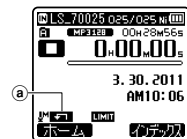
2 ＋または－ボタンを押して［**プリレコーディング**］を選ぶ

3 ►OK ボタンを押す

- ［**プリレコーディング**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して、［**ON**］または［**OFF**］を選ぶ

［**ON**］：
録音開始最大２秒前※からの音声を継続して録音します。

［**OFF**］：
通常の録音になります。

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**録音設定**］画面に戻ります。

5 ►OK ボタンを押して設定を完了する

6 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ プリレコーディング

※［**録音モード**］の設定によって異なります。

4

録音設定

プリレコーディングを使うには

プリレコーディングを使って録音する場合、［**プリレコーディング**］を［**ON**］に設定します。

1 録音中に REC（●）ボタンを押す

- 録音一時停止状態になります。常に最大２秒※の枠内で録音しています。

2 REC（●）ボタンを押す

- 録音を再開します。再開する最大２秒前※から継続して録音します。

※［**録音モード**］の設定によって異なります。

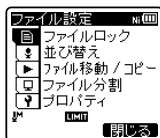
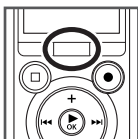
ご注意

- ［**プリレコーディング**］機能を使うときは、以下の機能は使用できません。
  - ［**VCVA**］（☞ P.75）
  - ［**音声同期録音**］（☞ P.77）

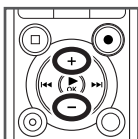
再生設定［Play Menu］

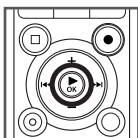
ノイズキャンセルの設定［Noise Cancel］

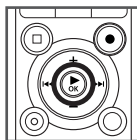
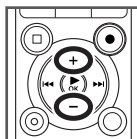
録音した音声が聞き取りにくいときはノイズキャンセルを設定してください。

1 停止中または再生中に、MENU/SCENE ボタンを押す

- メニュー画面に入ります（☞ P.52）。

2 ＋またはーボタンを押して［再生設定］タブを選ぶ

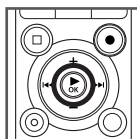
- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 ►OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動させる

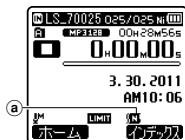
- ［**再生設定**］画面に入ります。

4 ►OK ボタンを押す

- ［**ノイズキャンセル**］画面に入ります。

5 ＋またはーボタンを押して［HIGH］、［LOW］または［OFF］を選ぶ

［**HIGH**］［**LOW**］：
周囲の雑音を低減し、よりクリアな音質で再生します。

［**OFF**］：
機能しません。

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**再生設定**］画面に戻ります。

6 ►OK ボタンを押して設定を完了する

7 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ ノイズキャンセル

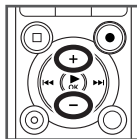
ご注意

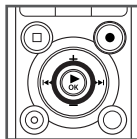
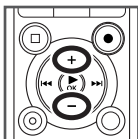
- ［**ノイズキャンセル**］機能を使うときは、以下の機能は使用できません。
  - 早聞き／遅聞き再生（☞ P.44）
  - ［**EUPHONY**］
  - ［**音声フィルタ**］（☞ P.92）
  - ［**リバーブ**］（☞ P.101）

EUPHONY の設定［EUPHONY］

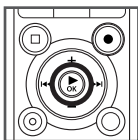
本機は帯域補正、拡張技術と仮想音源処理技術を組み合わせた最新のサラウンド方式「EUPHONY MOBILE」を搭載しています。ヘッドフォン再生において、自然な広がり感以外に、圧迫感や密閉感などを感じにくくし、長時間視聴でも疲れにくいという優れた特徴を備えております。

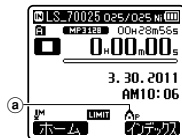
1 ノイズキャンセルの設定［**Noise Cancel**］の手順 1 〜 3 と同様の操作で［**再生設定**］画面に入ります（☞ P.89）

2 **＋**または**－**ボタンを押して［EUPHONY］を選ぶ

3 ►OK ボタンを押す

- ［**EUPHONY**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して音場効果を選ぶ

［**POWER**］：より低音域を強調したモード。
［**WIDE**］：より広がり感のあるモード。
［**NATURAL**］：自然な帯域補正と音場の広がりを実現するモード。
［**OFF**］：EUPHONY 機能を解除します。

- **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**再生設定**］画面に戻ります。

5 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

6 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ EUPHONY

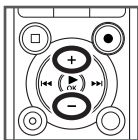
ご注意

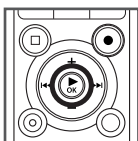
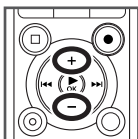
- ［**EUPHONY**］機能を使うときは、以下の機能は使用できません。
  - 早聞き／遅聞き再生 (☞ P.44)
  - ［**ノイズキャンセル**］(☞ P.89)
  - ［**音声フィルタ**］(☞ P.92)
  - ［**リバーブ**］(☞ P.101)
- 内蔵スピーカでの再生時は EUPHONY 機能は働きません。

音声フィルタの設定［Voice Filter］

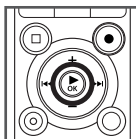
再生または早聞き・遅聞き再生時に、低音域と高音域成分をカットし、音声をよりクリアに強調する音声フィルタ機能を搭載しています。

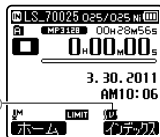
1 ノイズキャンセルの設定［**Noise Cancel**］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**再生設定**］画面に入ります（☞ P.89）

2 ＋または－ボタンを押して［**音声フィルタ**］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

- ［**音声フィルタ**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して［ON］または［OFF］を選ぶ

［**ON**］：
音声フィルタが機能します。
［**OFF**］：
機能しません。

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**再生設定**］画面に戻ります。

5 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

6 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ 音声フィルタ

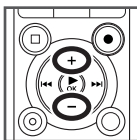
ご注意

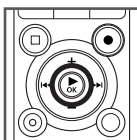
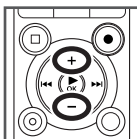
- ［**音声フィルタ**］機能を使うときは、以下の機能は使用できません。
  - ［**ノイズキャンセル**］（☞ P.89）
  - ［**EUPHONY**］（☞ P.90）
  - ［**リバーブ**］（☞ P.101）

再生モードを選ぶ［Play Mode］

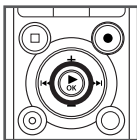
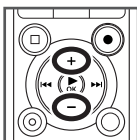
お好みに合わせて再生モードをお選びいただけます。

1 ノイズキャンセルの設定［Noise Cancel］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**再生設定**］画面に入ります（☞ P.89）

2 ＋またはーボタンを押して［**再生モード**］を選ぶ

3 ►OK ボタンを押す

- ［**再生モード**］画面に入ります。

4 ＋またはーボタンを押して［**再生範囲**］、［**リピート**］または［**ランダム**］を選ぶ

［**再生範囲**］：
ファイル再生の範囲を指定します。
［**リピート**］：
リピート再生の設定をする場合に選びます。
［**ランダム**］：
ランダム再生の設定をする場合に選びます。

5 ►OK ボタンを押す

- ［**再生範囲**］、［**リピート**］または［**ランダム**］画面に入ります。

6 ＋またはーボタンを押して設定を選ぶ

［再生範囲］を選んだ場合：
［**ファイル**］［**フォルダ**］［**全ファイル**］：
ファイル再生の範囲を指定します。

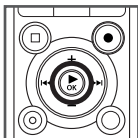
［リピート］または［ランダム］を選んだ場合：
［**ON**］：
再生範囲をリピート再生またはランダム再生します。
［**OFF**］：
リピート再生およびランダム再生を解除します。

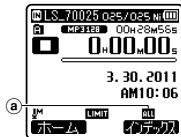
- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**再生モード**］画面に戻ります。

4

再生設定

7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- 他の設定を変更する場合、手順４～手順７を繰り返してください。

8 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ 再生モード

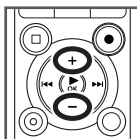
ご注意

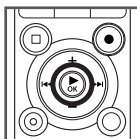
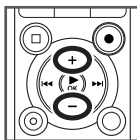
- ［**ファイル**］を設定した状態で、フォルダ内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに［**ファイルエンド**］が２秒間点滅し、最終ファイルの開始位置で停止します。
- ［**フォルダ**］を設定した状態で、フォルダ内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに［**ファイルエンド**］が２秒間点滅し、フォルダ内にある先頭ファイルの開始位置で停止します。
- ［**全ファイル**］に設定すると、フォルダ内の最終ファイルを再生後、次のフォルダの先頭ファイルから再生を開始します。本機内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに［**ファイルエンド**］が２秒間点滅し、本機内にある先頭ファイルの開始位置で停止します。

スキップ間隔の設定 [Skip Space]

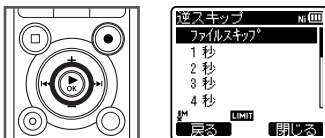
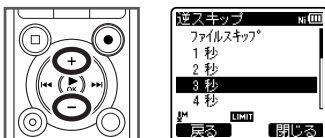
再生中のファイルを設定した間隔だけスキップ（送る）または逆スキップ（戻る）して再生できる機能で、再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返し再生するときなどに便利です。

1 ノイズキャンセルの設定［Noise Cancel］の手順１～３と同様の操作で［**再生設定**］画面に入ります（☞ P.89）

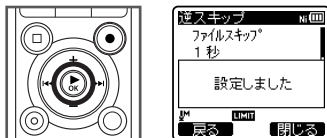
2 ＋または－ボタンを押して［**スキップ間隔**］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

- ［**スキップ間隔**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して［**スキップ**］または［**逆スキップ**］を選ぶ

［**スキップ**］：
設定した間隔分だけ送って再生を開始します。
［**逆スキップ**］：
設定した間隔分だけ戻って再生を開始します。

5 ▶OK ボタンを押す

- ［**スキップ**］または［**逆スキップ**］画面に入ります。

6 ＋またはーボタンを押して設定を選ぶ

［**スキップ**］を選んだ場合：
［**ファイルスキップ**］［**10 秒**］［**30 秒**］［**1 分**］［**5 分**］［**10 分**］
［**逆スキップ**］を選んだ場合：
［**ファイルスキップ**］
［**1 秒**］～［**5 秒**］［**10 秒**］［**30 秒**］［**1 分**］［**5 分**］［**10 分**］

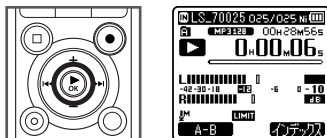
- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**スキップ間隔**］画面に戻ります。

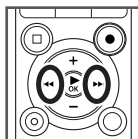
7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

8 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

ご注意

- スキップ間隔より近い位置にインデックスマーク・テンプマーク、頭出し位置がある場合、その位置にスキップ・逆スキップします。

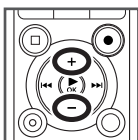
スキップ・逆スキップ再生のしかた

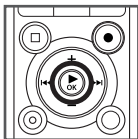
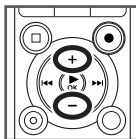
1 ▶OK ボタンを押して再生を開始する

2 再生中に ▶▶I または I◀◀ ボタンを押す

- 設定した間隔でスキップまたは逆スキップして再生を開始します。

アラーム再生の設定［Alarm］

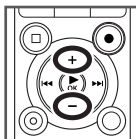
アラーム再生とは、設定した時刻にアラーム音を鳴らし、アラームが鳴っている間にいずれかのボタンを押すと、あらかじめ設定したファイルを再生する機能です。
お好みの設定（［**ON/OFF**］［**曜日**］［**開始時刻**］［**音量**］［**アラーム音**］［**再生ファイル**］）を３件（［**予約 1**］～［**予約 3**］）まで登録しておくことができます。

1 ノイズキャンセルの設定［Noise Cancel］の手順１～３と同様の操作で［**再生設定**］画面に入ります（☞ P.89）

2 ＋または－ボタンを押して［**アラーム再生**］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

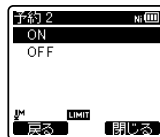
- ［**アラーム再生**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して予約番号を選ぶ

5 ▶OK ボタンを押す

- ［**予約**］画面に入ります。

6 ＋または－ボタンを押して設定項目を選ぶ

7 ▶OK ボタンを押してそれぞれの設定に移る

- ［**ON/OFF**］［**曜日**］［**開始時刻**］［**音量**］［**アラーム音**］［**再生ファイル**］の中から、設定したい項目を選んでください。

［ON/OFF］の設定

① ＋または－ボタンを押して［**ON/OFF**］の設定を選び、▶**OK** ボタンを押す。

［**ON**］：設定内容が実行されます。
［**OFF**］：設定内容は実行されません。

［曜日］の設定

① ＋または－ボタンを押して［**曜日**］の設定を選び、▶**OK** ボタンを押す。

［**1回のみ**］：設定時刻で1回のみアラーム再生します。
［**毎日**］：設定時刻で毎日継続してアラーム再生します。
［**毎週**］：指定した曜日の設定時刻にアラーム再生します。

- ［**毎週**］を選び ▶**OK** ボタンを押すと［**曜日**］の選択に移ります。

＋または－ボタンを押して曜日を選び、▶**OK** ボタンを押す。

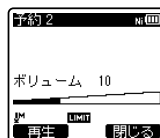
［開始時刻］の設定

① ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して再生の［開始時刻］の［時］［分］を選ぶ。
② ＋または－ボタンを押して設定する。

③ アラーム再生の開始時刻を設定したら、▶**OK** ボタンを押す。

［音量］の設定

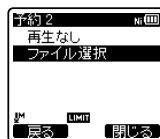
① ＋または－ボタンを押して音量を調整し、▶**OK** ボタンを押す。

- **F1** ボタンを押すと音量の確認ができます。

［アラーム音］の設定

① ＋または－ボタンを押してアラーム音を選び、▶**OK** ボタンを押す。

- **F1** ボタンを押すとアラーム音の確認ができます。

［再生ファイル］の設定

① ＋または－ボタンを押して、［**再生ファイル**］の設定を選び、▶**OK** ボタンを押す。

［**再生なし**］：
アラーム音の設定内容が実行されます。［**再生なし**］を選択した場合、手順８にお進みください。

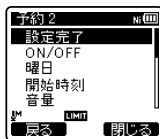
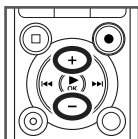
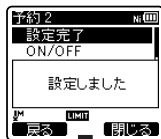
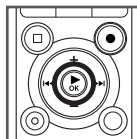
［**ファイル選択**］：
アラーム音の後に設定したファイルを再生します。

［ファイル選択］を選んだ場合：
［**ファイル選択**］を選び **▶OK** ボタンを押すと［**メモリ選択**］画面に入ります。

① ＋または－ボタンを押してアラーム再生するファイルのある記録メディアを選び、**▶OK** ボタンを押す。

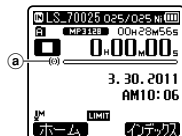
② ＋または－ボタンを押してフォルダを選び、**▶OK** ボタンを押す。

③ ＋または－ボタンを押してファイルを選び、**▶OK** ボタンを押す。

8 ＋または－ボタンを押して［設定完了］を選ぶ

9 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- 登録した設定内容が確定し、予約選択メニューに戻ります。
- 他の予約番号を設定する場合、これまでの操作を繰り返してください。
- 予約選択メニュー中に ▶▶I ボタンを押すと、設定内容を確認できます。

10 F2（閉じる）ボタンを押してメニュー画面を終了する

- ［**ON/OFF**］設定を［**ON**］にすると、ディスプレイに［((o))］が表示されます。

ⓐ アラーム再生

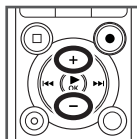
ご注意

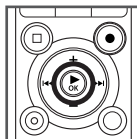
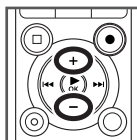
- ［**毎日**］に設定した場合、設定を解除しないと、毎日設定された時刻にアラーム音が鳴り始めます。
- アラームは鳴り始めて 5 分たつと止まります。このとき、再生ファイルを設定していてもファイルは再生されません。
- ［**開始時刻**］の設定が同じ場合の優先順位は、［**予約 1**］が一番高く、［**予約 3**］が一番低くなります。
- アラームを設定した時刻に本機を操作していたり、本機が動作中の場合、アラーム再生されません。
- 電源オフやホールドになっていても、［**アラーム再生**］の設定時刻になると、アラームが鳴り出します。ホールド中の場合でもいずれかのボタンを押すと、設定したファイルの再生が始まり、**STOP**（■）ボタンを押すと再生を停止します。
- 設定したファイルの移動や設定された microSD カードの抜き差し、ファイルの消去をするとファイルの再生は行われず、アラーム音のみが鳴ります。
- タイマー録音と開始時刻の設定が同じ場合、タイマー録音の設定を優先します（☞ P.79）。
- 本体の内蔵メモリを初期化（☞ P.118）すると［**アラーム音**］のデータも消去されるため、［**アラーム音**］が使用できなくなります。データを消去してしまった場合は、パソコンに接続して付属の Olympus Sonority を使って音声ガイドデータを本機にコピーしてください（☞ P.129）。

再生シーンの設定 [Play Scene]

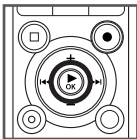
本機で録音した音声ファイルやパソコンから取り込んだ音楽ファイルを、音質や再生方法に合わせて、お好みの再生設定を保存しておくことができます。

1 **ノイズキャンセルの設定［Noise Cancel］の手順 1 〜 3 と同様の操作で［再生設定］画面に入ります（☞ P.89）**

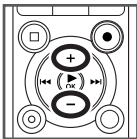
2 **＋または－ボタンを押して［再生シーン］を選ぶ**

3 **►OK ボタンを押す**

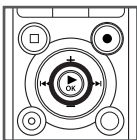
- ［**再生シーン**］画面に入ります。

4 **＋または－ボタンを押して［再生シーン選択］または［再生シーン保存］を選ぶ**

［**再生シーン選択**］：お好みでカスタマイズした再生シーンを選べます。
［**再生シーン保存**］：現在の再生に関するメニュー設定を最大 3 件まで保存できます。

5 ▶OK ボタンを押す

- ［**再生シーン選択**］を選んだ場合、手順 8 の操作に進みます。

再生シーンを登録する

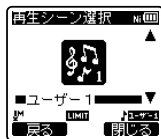
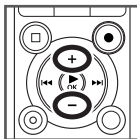
6 ＋または－ボタンを押して設定の保存先を選ぶ

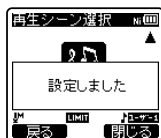
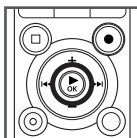
- あらかじめ再生設定は目的に合わせて設定を済ませてください (☞ P.89 ～ P.95、P.101)。

- 設定の保存先は［**ユーザー 1**］、［**ユーザー 2**］または［**ユーザー 3**］から選べます。

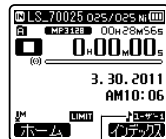
7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- ［**再生シーン保存**］を選んだ場合、手順 10 の操作に進みます。

再生シーンを呼び出す

8 ＋または－ボタンを押して再生シーンを選ぶ

- ［**再生シーン選択**］画面に入ります。

- 各再生シーンの設定内容を確認するには、［**再生シーン選択**］画面で、**＋**または**－**ボタンを押して確認したい再生シーンを選び、▶▶I ボタンを押してください。I◀◀ ボタンを押すと［**再生シーン選択**］画面に戻ります。

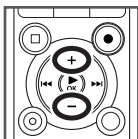
9 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

10 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

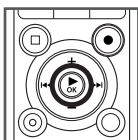
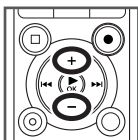
- 設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ再生シーン

残響音を設定する［Reverb］

レコーディングスタジオからドームまで、さまざまな広さの空間での残響音をお楽しみいただけます。

1 ノイズキャンセルの設定［Noise Cancel］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［再生設定］画面に入ります（☞ P.89）

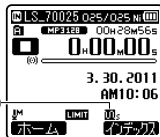
2 ＋またはーボタンを押して［リバーブ］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

- ［リバーブ］画面に入ります。

4 ＋またはーボタンを押して再生効果を選ぶ

［**OFF**］：
機能しません。オリジナルのままの音で再生する場合に選びます。

［**STUDIO**］、［**CLUB**］、［**HALL**］、［**DOME**］：
お好みの音響空間を選んでください。

5 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

6 F2（閉じる）ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ リバーブ

ご注意

- この再生効果を利用して、WAV 形式のファイルを再生した場合、サンプリングレートが 96kHz の場合 48kHz へ、ビット数が 24bit の場合 16bit へそれぞれダウンコンバートされます。
- この機能は再生時にのみ有効です。この再生効果を利用して本機で録音することはできません。
- ［リバーブ］機能を使うときは、以下の機能は使用できません。
  - 早聞き／遅聞き再生 (☞ P.44)
  - ［**ノイズキャンセル**］(☞ P.89)
  - ［**EUPHONY**］(☞ P.90)
  - ［**音声フィルタ**］(☞ P.92)

表示／音設定［LCD/Sound Menu］

バックライトの設定［Backlight］

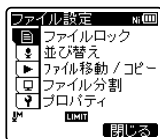
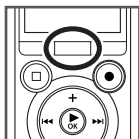
ボタンを押すたびにディスプレイのバックライトが約 10 秒間(初期設定)点灯します。

1 録音中、再生中または停止中に、MENU/SCENE ボタンを押す

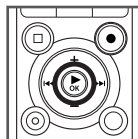
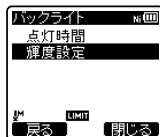
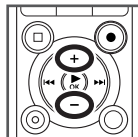
- メニュー画面に入ります(☞ P.52)。

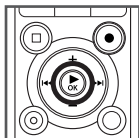
2 ＋または－ボタンを押して［**表示／音設定**］タブを選ぶ

- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

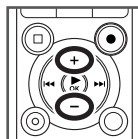
3 ▶OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動させる

- ［**表示／音設定**］画面に入ります。

4 ▶OK ボタンを押す

- ［**バックライト**］画面に入ります。

5 ＋または－ボタンを押して［**点灯時間**］または［**輝度設定**］を選ぶ

6 ▶OK ボタンを押す

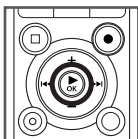
- ［**点灯時間**］または［**輝度設定**］画面に入ります。

7 ＋または－ボタンを押して設定を選ぶ

- バックライトの［**点灯時間**］と［**輝度設定**］をそれぞれ設定できます。

4

表示／音設定

［点灯時間］を選んだ場合：
［**OFF**］: バックライトは点灯しません。
［**5 秒**］［**10 秒**］［**30 秒**］［**1 分**］:
バックライトの点灯時間を設定します。
［輝度設定］を選んだ場合：
［**HIGH**］: バックライトが明るく点灯します。
［**LOW**］: バックライトが通常の明るさで点灯します。

- **⏮** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示／音設定**］画面に戻ります。

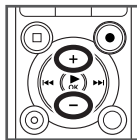
8 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

9 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

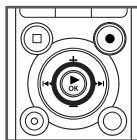
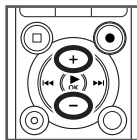
ディスプレイのコントラストの設定［Contrast］

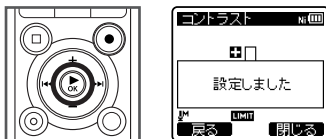
ディスプレイのコントラストを 12 段階に調整できます。

1 バックライトの設定［**Backlight**］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**表示／音設定**］画面に入ります（☞ P.102）

（☞ P.102）

2 ＋またはーボタンを押して［**コントラスト**］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

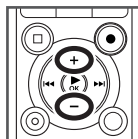
- ［**コントラスト**］画面に入ります。

4 ＋またはーボタンを押してレベルを調整する

- ［**01**］から［**12**］の間で調整を行います。
- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示 / 音設定**］画面に戻ります。

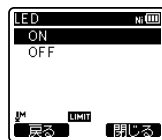
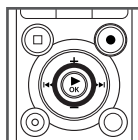
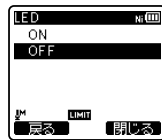
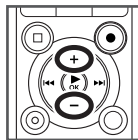
5 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

6 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

LED の設定［LED］

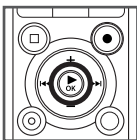
LED 表示ランプを点灯しないように設定できます。

1 バックライトの設定［**Backlight**］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**表示／音設定**］画面に入ります（☞ P.102）

2 ＋またはーボタンを押して［LED］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

- ［**LED**］画面に入ります。

4 ＋またはーボタンを押して設定を変更する

［**ON**］：
LED が点灯します。
［**OFF**］：
LED は点灯しません。

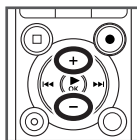
- **I◀◀** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示 / 音設定**］画面に戻ります。

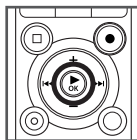
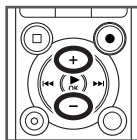
5 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

6 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

ビープ音の設定［Beep］

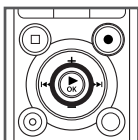
本機はボタン操作を知らせたり誤操作を警告したりするときにビープ音が鳴ります。ビープ音を出したくないときは鳴らないように設定することもできます。

1 バックライトの設定［Backlight］の手順 1 〜 3 と同様の操作で［**表示／音設定**］画面に入ります（☞ P.102）

2 ＋または－ボタンを押して［**ビープ音**］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

- ［**ビープ音**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して設定を変更する

［**音量 3**］：ビープ音の音量を大きくします。
［**音量 2**］：ビープ音の音量を通常に戻します。
［**音量 1**］：ビープ音の音量を小さくします。
［**OFF**］：ビープ音が鳴りません。

- **I◀◀** ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示 / 音設定**］画面に戻ります。

5 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

6 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

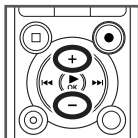
ご注意

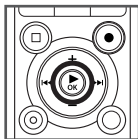
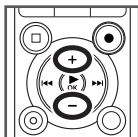
- ［**ビープ音**］の設定を［**OFF**］にしてもアラーム音は鳴ります。

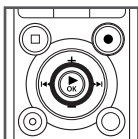
言語の設定［Language(Lang)］

本機は日本語表示と英語表示のどちらかを選べます。

1 バックライトの設定［Backlight］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**表示／音設定**］画面に入ります（☞ P.102）

2 ＋またはーボタンを押して［**言語選択（Lang)**］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

- ［**言語選択 (Lang)**］画面に入ります。

4 ＋またはーボタンを押して設定を変更する

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示 / 音設定**］画面に戻ります。

5 ►OK ボタンを押して設定を完了する

6 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

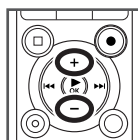
ご注意

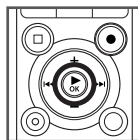
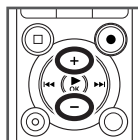
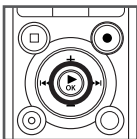
- 表示言語を切り替えても、すでに入力してあるフォルダ名やファイル名の言語はかわりません。

音声ガイドの設定 [Voice Guide]

本機の操作状況を音声でアナウンスする機能です。アナウンスの On/Off、スピードや音量を調節してご使用ください。［**言語選択**］（☞ P.106）機能で言語を［**English**］に切り替えると、英語で音声ガイドを行います。

1 バックライトの設定［**Backlight**］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**表示／音設定**］画面に入ります（☞ P.102）

2 ＋またはーボタンを押して［**音声ガイド**］を選ぶ

3 ►OK ボタンを押す

- ［**音声ガイド**］画面に入ります。

4 ＋またはーボタンを押して設定項目を選ぶ

5 ▶OK ボタンを押して、それぞれの設定に移る

• ［**ON/OFF**］［**スピード**］［**音量**］の中から、設定したい項目を選んでください。

［ON/OFF］の設定

① ＋または－ボタンを押して［**ON/OFF**］の設定を選び、▶**OK** ボタンを押す。

［**ON**］：設定内容が実行されます。
［**OFF**］：設定内容は実行されません。

［スピード］の設定

音声ガイドのスピードを設定します。

① ＋または－ボタンを押して［**スピード**］の設定を選び、▶**OK** ボタンを押す。

［音量］の設定

音声ガイドの音量を設定します。

① ＋または－ボタンを押して［**音量**］の設定を選び、▶**OK** ボタンを押す。

6 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

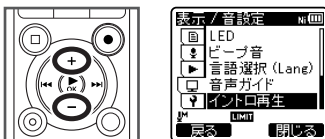
ご注意

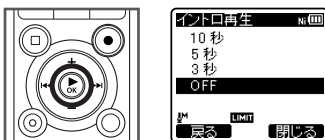
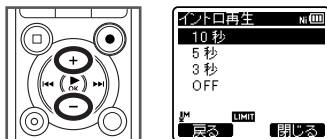
• 電源をオン／オフ（☞ P.22）する際の起動音／終了音は、［**音声ガイド**］を［**OFF**］に設定すると解除されます。
• 本体の内蔵メモリを初期化（☞ P.118）すると［**音声ガイド**］のデータも消去されるため、［**音声ガイド**］が使用できなくなります。データを消去してしまった場合は、パソコンに接続して付属の Olympus Sonority を使って音声ガイドデータを本機にコピーしてください（☞ P.129）。
• ［**音声ガイド**］の［**音量**］設定で、起動音／終了音の音量も設定されます。
• ファイル再生中は、［**音声ガイド**］の［**スピード**］設定が無効になります。

イントロ再生の設定 [Intro Play]

フォルダ内のファイルにカーソルを合わせるとファイルの先頭の数秒間を流すことができます。お探しのファイルを再生するときに便利です。

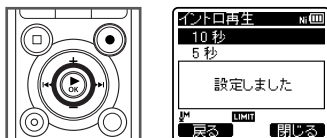
1 バックライトの設定［Backlight］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**表示／音設定**］画面に入ります（☞ P.102）

2 ＋または－ボタンを押して［**イントロ再生**］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

- ［**イントロ再生**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して設定を選ぶ

［**10 秒**］［**5 秒**］［**3 秒**］：
イントロ再生の時間を設定します。

［**OFF**］：
イントロ再生は機能しません。

- ⏮ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、［**表示／音設定**］画面に戻ります。

5 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

6 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

本体設定［Device Menu］

記録するメディアを選択する［Memory Select］

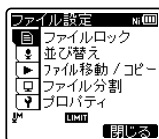
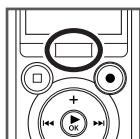
microSD カードを入れると、内蔵メモリに記録するか microSD カードに記録するか選べます（☞ P.27）。

1 停止中に MENU/SCENE ボタンを押す

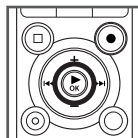
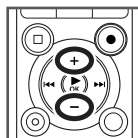
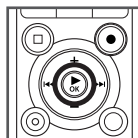
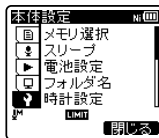
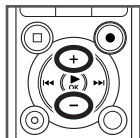
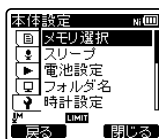
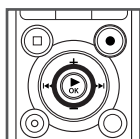
- メニュー画面に入ります（☞ P.52）。

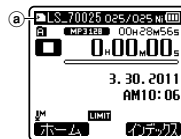
2 ＋または－ボタンを押して［**本体設定**］タブを選ぶ

- 設定タブのカーソルを移動させるとメニュー画面が切り替わります。

3 ►OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動させる

- ［**本体設定**］画面に入ります。

4 ►OK ボタンを押す

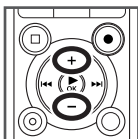
- ［**メモリ選択**］画面に入ります。

5 ＋または－ボタンを押して記録メディアを選ぶ

6 ►OK ボタンを押して設定を完了する

7 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

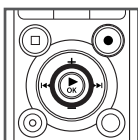
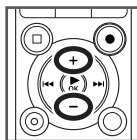
- 設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ 記録メディア表示

スリープの設定 [Power Save]

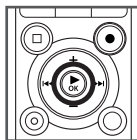
電源を入れて停止状態のまま 10 分以上（初期設定）経過すると、電源がオフになります。

1 記録するメディアを選択する［Memory Select］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**本体設定**］画面に入ります
(☞ P.110)

2 ＋または－ボタンを押して［**スリープ**］を選ぶ

3 ►OK ボタンを押す

- ［**スリープ**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して時間を設定する

［**5 分**］［**10 分**］［**30 分**］［**1 時間**］：
お好みの時間を設定してください。

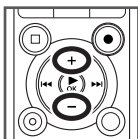
［**OFF**］：
省電力モードは働きません。そのまま放置しておくと電池が早く消耗します。

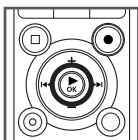
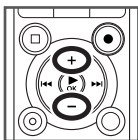
5 ►OK ボタンを押して設定を完了する

6 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

電池の設定［Battery］

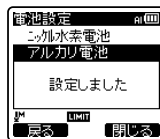
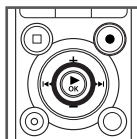
現在使用している電池に合わせお選びください。

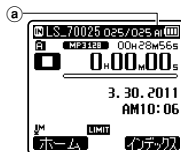
1 記録するメディアを選択する［Memory Select］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**本体設定**］画面に入ります（☞ P.110）

2 ＋または－ボタンを押して［**電池設定**］を選ぶ

3 ►OK ボタンを押す

- ［**電池設定**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して設定する

［**ニッケル水素電池**］（Ni）：
専用ニッケル水素充電池（BR404）をご使用の場合にお選びください。

［**アルカリ電池**］（Al）：
アルカリ乾電池をご使用の場合にお選びください。

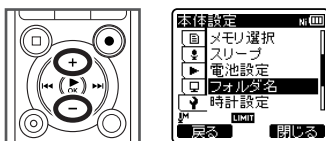
5 ►OK ボタンを押して設定を完了する

6 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

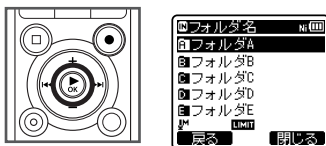
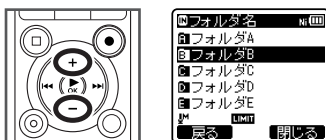
- 設定に合わせて、ディスプレイにアイコンが表示されます。

ⓐ 電池の種類

フォルダ名の変更［Folder Name］

音声録音用の［A］～［E］フォルダのフォルダ名は、テンプレートにあらかじめ登録されている名前に変更できます。テンプレートに登録されているフォルダ名は Olympus Sonority で変更することもできます。

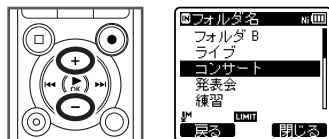
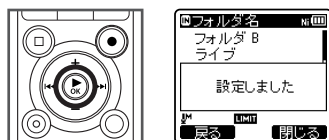
1 **記録するメディアを選択する［Memory Select］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［本体設定］画面に入ります（☞ P.110）**

2 **＋または－ボタンを押して［フォルダ名］を選ぶ**

3 **▶OK ボタンを押す**

• ［**フォルダ名**］画面に入ります。

4 **＋または－ボタンを押して名前を変更するフォルダを選ぶ**

5 **▶OK ボタンを押す**

• テンプレート登録されているフォルダ名を表示します。

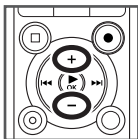
ⓐ 現在のフォルダ名

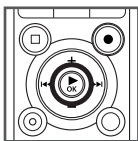
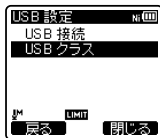
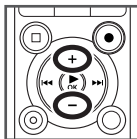
6 **＋または－ボタンを押してテンプレートから変更したいフォルダ名を選ぶ**

7 **▶OK ボタンを押して設定を完了する**

8 **F2（閉じる）ボタンを押してメニュー画面を終了する**

USB の設定 [USB Settings]

パソコンと接続してファイルの送受信などを行う［**PC 接続**］や USB 接続 AC アダプタ（A514）（別売）を接続して充電を行う［**AC アダプタ接続**］の設定のほかに、用途に合わせて USB クラスの切り替えが可能です。

1 記録するメディアを選択する［Memory Select］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**本体設定**］画面に入ります（☞ P.110）

2 ＋または－ボタンを押して［**USB 設定**］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

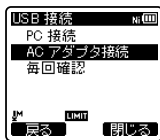
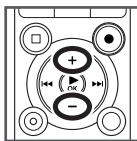
- ［**USB 設定**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して［**USB 接続**］または［**USB クラス**］を選ぶ

［**USB 接続**］:
パソコンと接続したときの設定をします。

［**USB クラス**］:
USB クラスの設定をします。

5 ▶OK ボタンを押す

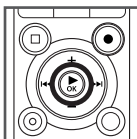
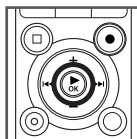
- ［**USB クラス**］を選んだ場合、手順 8 の操作に進みます。

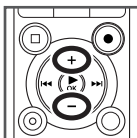
［USB 接続］を選んだ場合

6 ＋または－ボタンを押して接続時の設定を選ぶ

［**PC 接続**］:
パソコンに接続するときの設定です。ストレージまたはコンポジットとして接続されます。

［**AC アダプタ接続**］:
パソコンから充電をしたり、AC アダプタ（A514）（別売）に接続するときの設定です。

［**毎回確認**］:
USB 接続をするごとに接続方法を確認する設定です。

7 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

• ［**USB 接続**］を選んだ場合、手順 10 の操作に進みます。

［USB クラス］を選んだ場合

8 **＋**または**－**ボタンを押して接続時の働きを選ぶ

［**ストレージ**］:
パソコン側から外部記憶装置として認識されます。
［**コンポジット**］:
パソコンと接続し、外部記憶装置、USB スピーカおよびマイクとして使うときの設定です。

9 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

10 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

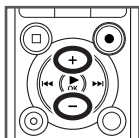
ご注意

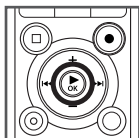
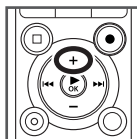
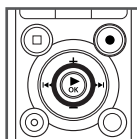
• 外部記憶装置として初めてパソコンに接続すると、自動的に本機のドライバがパソコンにインストールされます。
• ［**USB 接続**］の設定が［**AC アダプタ接続**］の場合、パソコンに接続しても認識されません。
• パソコン側から外部記憶装置として認識されない場合、［**USB クラス**］の設定を［**ストレージ**］に切り替えてください。

設定をリセットする［Reset Settings］

各種機能を初期設定（工場出荷時）に戻します。

1 記録するメディアを選択する［Memory Select］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**本体設定**］画面に入ります（☞ P.110）

2 ＋または－ボタンを押して［**設定リセット**］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

- ［**設定リセット**］画面に入ります。

4 ＋ボタンを押して［**開始**］を選ぶ

5 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- 各種設定が初期値に戻ります。

6 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

4
本体設定

設定リセット後のメニュー設定（初期設定）

録音設定

メニュー項目	初期設定
［マイク選択］（☞ P.66）	［センターマイク ON］
［マイク感度］（☞ P.67）	［中］
［録音モード］（☞ P.68）	［PCM］：［44.1 kHz］
［録音レベル］（☞ P.70）	［マニュアル］
［指向性マイク］（☞ P.72）	［OFF］
［ローカットフィルタ］（☞ P.73）	［OFF］
［VCVA］（☞ P.75）	ON/OFF：［OFF］ 待機モニター：［OFF］
［音声同期録音］（☞ P.77）	［OFF］
［タイマー録音］（☞ P.79）	［OFF］
［録音シーン］（☞ P.83）	［OFF］
［録音モニター］（☞ P.85）	［ON］
［プラグインパワー］（☞ P.86）	［ON］
［プリレコーディング］（☞ P.87）	［OFF］

再生設定

メニュー項目	初期設定
［ノイズキャンセル］（☞ P.89）	［OFF］
［EUPHONY］（☞ P.90）	［OFF］
［音声フィルタ］（☞ P.92）	［OFF］
［再生モード］（☞ P.93）	再生範囲：［ファイル］ リピート再生：［OFF］ ランダム再生：［OFF］
［スキップ間隔］（☞ P.94）	スキップ再生：［ファイルスキップ］ 逆スキップ再生：［ファイルスキップ］
［アラーム再生］（☞ P.96）	［OFF］

メニュー項目	初期設定
［再生シーン］（☞ P.99）	［OFF］
［リバーブ］（☞ P.101）	［OFF］

表示 / 音設定

メニュー項目	初期設定
［バックライト］（☞ P.102）	点灯時間：［10 秒］ 輝度設定：［LOW］
［コントラスト］（☞ P.103）	［06］
［LED］（☞ P.104）	［ON］
［ビープ音］（☞ P.105）	［音量 2］
［言語選択］（☞ P.106）	［日本語］
［音声ガイド］（☞ P.107）	ON/OFF：［ON］ スピード：［スピード 3］ 音量：［音量 3］
［イントロ再生］（☞ P.109）	［OFF］

本体設定

メニュー項目	初期設定
［メモリ選択］（☞ P.110）	［内蔵メモリ］
［スリープ］（☞ P.111）	［10 分］
［電池設定］（☞ P.112）	［ニッケル水素電池］
［USB 設定］（☞ P.114）	USB 接続：［PC 接続］ USB クラス：［ストレージ］

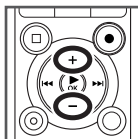
ご注意

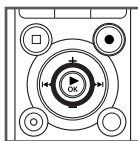
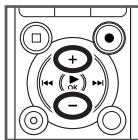
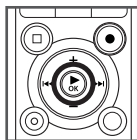
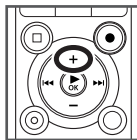
- 設定リセット後の時計設定、ファイル番号、フォルダ名については、初期設定には戻らず設定リセット前の設定を保持します。

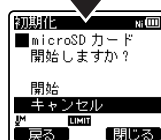
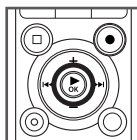
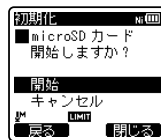
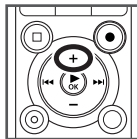
初期化する［Format］

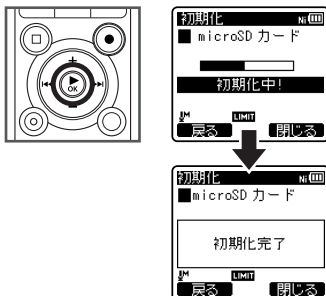
初期化すると記録されているファイルはすべて消去されます。大切なファイルはパソコンに転送してから初期化してください。

1 記録するメディアを選択する［Memory Select］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**本体設定**］画面に入ります（☞ P.110）

2 ＋または－ボタンを押して［**初期化**］を選ぶ

3 ►OK ボタンを押す

- ［**初期化**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して初期化する記録メディアを選ぶ

5 ►OK ボタンを押す

6 ＋ボタンを押して［**開始**］を選ぶ

7 ►OK ボタンを押す

- ［**データが完全に消去されます**］が 2 秒間表示され、［**開始**］、［**キャンセル**］が点灯します。

8 ＋ボタンを押してもう一度［**開始**］を選ぶ

9 ▶OK ボタンを押す

- ［**初期化中**］が表示され、初期化が開始されます。

- ［**初期化完了**］が点滅したら初期化終了です。

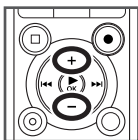
ご注意

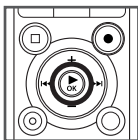
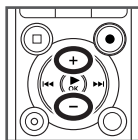
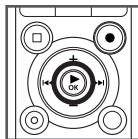
- 本機をパソコンから初期化することは絶対にしないでください。
- 初期化をすると、ファイルロックをかけたファイルや読み取り専用ファイルを含む既存のデータはすべて消去されます。
- 初期化後、録音した音声ファイルは、ファイル名が［**0001**］からとなる場合があります。
- 各種機能の設定を初期設定に戻す場合、［**設定リセット**］を操作してください（☞ P.116）。
- 本機に microSD カードを入れた場合、操作する記録メディアが［**内蔵メモリ**］または［**microSD カード**］のどちらなのか間違えないよう必ず確認してください（☞ P.110）。
- 処理が完了するまで数十秒かかる場合があります。データが破損するおそれがありますので、処理中には次のような操作は絶対にしないでください。また、処理中に電池が切れることのないように、操作の前にあらかじめ新しい電池に交換してください。
  ① 処理中に USB 接続 AC アダプタを取り外す。
  ② 処理中に電池を取り外す。
  ③ 記録メディアが［**microSD カード**］の場合、処理中に microSD カードを取り外す。
- 本機での microSD カードの初期化はクイックフォーマットとなります。microSD カード内のデータは、［**初期化**］をしてもファイル管理情報が更新されるだけで完全には消去されません。譲渡・廃棄をする場合には、microSD カード内にあるデータの流出にご注意ください。廃棄の際には、microSD カードを破壊するなどの対処をおすすめします。
- 本体の内蔵メモリを初期化（☞ P.118）すると［**音声ガイド**］のデータも消去されるため、［**音声ガイド**］が使用できなくなります。データを消去してしまった場合は、パソコンに接続して付属の Olympus Sonority を使って音声ガイドデータを本機にコピーしてください（☞ P.129）。

記録メディアの情報を見る［Memory Info.］

メニュー画面から記録メディアの記録可能残量や容量を表示できます。

1 記録するメディアを選択する［Memory Select］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**本体設定**］画面に入ります（☞ P.110）

2 ＋または－ボタンを押して［**メモリ情報**］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

- ［**メモリ情報**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して画面を切り替える

5 情報を確認したら、▶OK ボタンを押して［**メモリ情報**］画面から出る

6 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

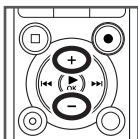
ご注意

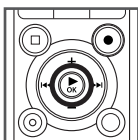
- 本機に表示される記録メディアの容量については、本機が使用する管理ファイルの容量分も含まれています。microSD カードでは、規格容量を下回って表示されますが、異常ではありません。

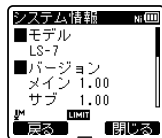
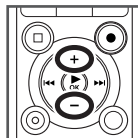
システム情報を見る [System Info.]

メニュー画面から本機の情報を確認できます。

1 記録するメディアを選択する［Memory Select］の手順 1 ～ 3 と同様の操作で［**本体設定**］画面に入ります（☞ P.110）

2 ＋または－ボタンを押して［**システム情報**］を選ぶ

3 ▶OK ボタンを押す

- ［**システム情報**］画面に入ります。

4 ＋または－ボタンを押して画面を切り替える

- ［**モデル名**］［**バージョン**］［**シリアル番号**］が表示されます。

5 情報を確認したら、▶OK ボタンを押して［**システム情報**］画面から出る

6 F2（**閉じる**）ボタンを押してメニュー画面を終了する

本機をパソコンでお使いいただくためには

本機はパソコンと接続することで次のようなことができます。

- Olympus Sonority を使って、本機で録音した音声をパソコンに転送して再生したり、管理できます。
  Olympus Sonority Plus へのアップグレード（有償）および音楽編集プラグインの追加（有償）を行えば、より多彩な機能をご利用いただけます（☞ P.130）。
- Windows Media Player または iTunes を使ってパソコンに取り込んだ WMA・MP3 形式の語学コンテンツや音楽ファイルを転送し、本機でお楽しみいただけます。
- IC レコーダー、ミュージックプレーヤーとしての使いかたのほか、本機はパソコンの外部メモリとして、パソコンからのデータ保存や読み出しにもご使用いただけます（☞ P.136）。

パソコンの動作環境

Windows

OS（オペレーティングシステム）	Microsoft ® Windows® XP Service Pack 2, 3 Microsoft ® Windows® XP Professional x64 Edition Service Pack 2 Microsoft ® Windows Vista®, Service Pack 1, 2(32bit/64bit) Microsoft ® Windows® 7 (32bit/64bit)
CPU	1 GHz 以上の 32 ビット（ x86）または 64 ビット（ x64）プロセッサ
RAM 容量	512MB 以上
ハードディスク空き容量	Olympus Sonority のインストール：300MB 以上
ドライブ	CD-ROM または CD-R、CD-RW、DVD-ROM ドライブ
ブラウザ	Microsoft Internet Explorer 6.0 以上
ディスプレイ	1024 x 768 ドット、 65,536 色以上（1,677 万色以上を推奨）
USB ポート	1 つ以上の空き
その他	• オーディオデバイス • インターネットが利用できる環境

ご注意

- パソコンが USB ポートを備えていても、Windows 95/98/Me/2000 から XP/Vista/7 にアップグレードした場合はサポート対象外となります。
- 動作環境を満たしていても、自作パソコンでの不具合は動作保証外とさせて頂いております。

Macintosh

OS（オペレーティングシステム）	MacOS-X 10.4.11 -10.6
CPU	PowerPC® G5 またはインテル・マルチコアプロセッサ 1.5GHz 以上
RAM 容量	512MB 以上
ハードディスク空き容量	Olympus Sonority のインストール：300MB 以上
ドライブ	CD-ROM または CD-R、CD-RW、DVD-ROM ドライブ
ブラウザ	Safari 2.0 以上
ディスプレイ	1024 × 768 ドット、32000 色以上（1,677 万色以上を推奨）
USB ポート	１つ以上の空き
その他	• オーディオデバイス • インターネットが利用できる環境

表記について

本書では次のコンピュータを想定して説明しています。
お客様の環境と異なる場合、説明内容に従いそれぞれお客様の環境に適するように置き替えて解釈してください。

- １台目のハードディスクを C ドライブとして解説します。
- １台目のフロッピーディスクを A ドライブとして解説します。
- １ 台目の CD-ROM ドライブを D ドライブとして解説します。
- Windows XP を使用しているものとし、Windows のインストール先のパスを C:¥Windows として解説します。

また、お客様が パソコンの基本操作に慣れていることを前提にしています。
パソコンの操作については、ご使用のパソコン取扱説明書をご覧ください。

本機をパソコンに接続して扱う場合の注意事項

- 本機からファイルをダウンロードしたり本機にファイルをアップロードする場合、パソコンから通信中の画面が消えても、本機の LED 表示ランプが点滅中はデータを転送中ですので、USB 接続を外さないでください。また、USB 接続を外す場合、必ず ☞ P.134 に記載の方法で行ってください。ドライブを停止してから外さないと、正常にデータが転送されないことがあります。
- パソコンでは本機ドライブを初期化（フォーマット）しないでください。パソコンで初期化した場合、正しく初期化されません。初期化は、本機の［**初期化**］画面から行ってください（☞ P.118）。
- Windows に付属の Explorer、Macintosh に付属の Finder で表示されるフォルダ（ディレクトリ）名は本機および Olympus Sonority で設定できるフォルダ名とは異なります。
- Windows または Macintosh のファイル管理画面から、本機に保存されているフォルダやファイルに対して移動や名前の変更などの操作を行うと、ファイルの順番が変わったり、ファイルを認識できなくなることがあります。
- パソコン上の操作で本機ドライブの属性をリードオンリー（読み取り専用）に設定しても、本機ではデータの読み書きができますのでご注意ください。
- ノイズにより周辺電子機器に影響を及ぼすことがありますので、パソコンに接続する場合、外部マイクやイヤホンを外してください。

Olympus Sonority を使う

Olympus Sonority はファイルの管理や編集をするためのさまざまな機能が搭載されています。詳しい操作手順や詳細設定については、オンラインヘルプ（☞ P.132）の各項目をご覧ください。

Olympus Sonority でできること

波形編集機能：

波形編集タブで音声データを簡単に加工をすることができます。波形編集モードで、不要な部分の削除、ペーストして、保存しなおすことができます。

ワンタッチエフェクト機能：

ワンタッチエフェクト機能を使用して、音声ファイルに特殊効果を簡単にかけたり、指定した領域にノイズリダクションを施すことができます。

本機のユーザー ID を変更する：

本機で録音されるファイルに、自動的に付けられるユーザー ID を変更できます。

フォルダ名を変更する：

フォルダ名を変更できます。12 文字まで入力可能ですが、半角の ¥/:*?"<>| は入力できません。本機で対応している言語以外の OS（オペレーションシステム）でフォルダ名変更をすると文字化けする場合があります。

ファイル形式をその他の形式に変更する：*

現在のファイルの保存形式を他の形式に変更できます。

ファイルを結合する：*

指定した複数の音声ファイルを結合して 1 つのファイルを作成することができます。

ファイルを分割する：*

指定した 1 つの音声ファイルを 2 つのファイルに分割することができます。

その他詳細な機能については、Olympus Sonority のオンラインヘルプをご確認ください。

* MP3 形式に書き出す場合、Olympus Sonority Plus へのアップグレードが必要です（☞ P.130）。

ソフトウェアのインストール

本機をパソコンにつないでご使用になるには、同梱の CD-ROM「**Olympus Sonority**」に含まれるソフトウェアをインストールしてください。

インストールの前に次のことをご確認ください

- 起動しているアプリケーションは、すべて終了してください。
- Administrator（管理者）に所属しているユーザー名でログインしてください。

Windows

1 付属の「Olympus Sonority」を CD-ROM ドライブに挿入する

- 自動的にインストールプログラムが起動します。起動した場合は手順 4 に進み、起動しない場合は次の手順 2、3 に従って進んでください。

2 CD-ROM の中身をエクスプローラで開く

3 CD-ROM 内にある［**Setup**］をダブルクリックする

4 Olympus Sonority のランチャ画面が表示されたら［**オンラインユーザー登録**］をクリックし、ユーザー登録を行なってください

5 ［**Olympus Sonority インストール**］をクリックすると、インストーラのオープニング画面が起動します。以下インストーラのウィザードに従って進める

6 使用許諾契約

- Olympus Sonority をインストールするには、この契約に同意していただく必要があります。［**同意します**］のチェックボックスをクリックした後、［**次へ**］をクリックしてください。

7 ユーザー登録情報の登録

- あなたのお名前、会社名および別紙に記載されているシリアル番号を入力してください。入力が終りましたら［**次へ**］をクリックします。

8 セットアップタイプの選択

- インストール先を変更することができます。変更しない場合は［**次へ**］をクリックします。（変更する場合は［**カスタム**］を選択します。）

9 インストールの開始

- インストールを開始するには、［**インストール**］をクリックします。インストール作業が終了し、完了画面が表示されるまでは、ほかの作業を行なわないでください。

10 インストールの完了

- インストールが終了すると、［**Install Shield**］の完了画面が表示されます。

Macintosh

1 付属の「Olympus Sonority」を CD-ROM ドライブに挿入する

- CD-ROM の内容が表示された場合は手順３に進み、表示されない場合は手順２，３に従って進んでください。

2 CD-ROM の中身を［Finder］で開く

3 CD-ROM 内にある［**Setup**］をダブルクリックする

4 Olympus Sonority のランチャ画面が表示されたら［**オンラインユーザー登録**］をクリックし、ユーザー登録を行う

5 ［**Olympus Sonority のインストール**］をクリックすると、インストーラのオープニング画面が起動する。以下インストーラのウィザードに従って進める

6 使用許諾契約

- Olympus Sonority をインストールするには、この契約に同意していただく必要があります。［**同意します**］のチェックボックスをクリックした後、［**続ける**］をクリックしてください。

7 インストール先の変更

- インストール先を変更することができます。変更しない場合は［**次へ**］をクリックします。(変更する場合、［**インストール先を変更**］を選択します。)

8 インストールの開始

- インストールが終了すると、［**インストーラ**］の完了画面が表示されます。
- Olympus Sonority 起動後、シリアル番号の入力ダイアログが表示されます。別紙に記載されているシリアル番号を入力してください。入力後、［**OK**］をクリックすると、Olympus Sonority が起動します。

ソフトウェアのアンインストール

パソコンからソフトウェアを削除することをアンインストールと呼びます。アンインストールは、各ソフトウェアが必要なくなったときに行ってください。

Windows

1 Olympus Sonority を終了する

2 ［**スタート**］メニューより［**コントロールパネル**］を選ぶ

3 コントロールパネルウィンドウ内にある［**プログラムの追加と削除**］をクリックする

4 インストールされているアプリケーションの一覧が表示されたら［**Olympus Sonority**］を選ぶ

5 ［**変更と削除**］をクリックする

6 ファイル削除の確認

- ［**OK**］をクリックするとアンインストールを開始します。
  途中でメッセージが表示されることがあります。その際はメッセージをよく読み、指示に従って操作してください。

7 ［**メンテナンスの完了**］の画面が表示されたら［**完了**］をクリックし、アンインストールを終了する

Macintosh

1 Olympus Sonority を終了する

2 ［**Finder**］を開き、アプリケーションフォルダ内の［**SonorityUninstaller.pkg**］をダブルクリックする

3 アンインストーラが起動した後、ウィザードに従って手順を進める

4 途中、管理者のパスワードを要求されたら、パスワードを入力して［**OK**］をクリックする

5 アンインストールが開始され、成功のメッセージが表示されたら［**閉じる**］をクリックする

アンインストール後に残されるファイルについて

作成した音声ファイルは［**Message**］フォルダに保存されています。不要な場合は削除してください。
［**Message**］フォルダの場所は、アンインストールする前に［**ツール**］メニューの［**オプション**］をクリックし［**管理フォルダの設定**］の項目で確認できます。

音声ガイドデータをコピーする

本機を初期化して音声ガイドデータを本機から消去してしまったときは、Olympus Sonority から音声ガイドデータを本機にコピーできます。

1 本機の音声ガイドが［ON］に設定されていることを確認する

- 本機の音声ガイドが［**OFF**］に設定（☞ P.107）されていると、音声ガイドデータはコピーされません。

2 本機をパソコンに接続する

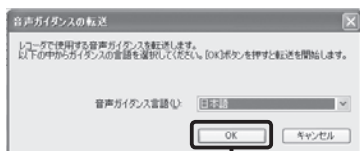
- 接続方法は「**パソコンに接続する**」（☞ P.133）をご覧ください。

3 Olympus Sonority を起動する

- 本機に音声ガイドデータが無い場合、［**音声ガイダンスの転送**］ダイアログが表示されます。

4 音声ガイドデータをコピーする

- ［**音声ガイダンスの転送**］ダイアログで［**OK**］をクリックすると、音声ガイドデータのコピーが始まり、進行状況を示すウィンドウが表示されます。

5 音声ガイドデータのコピー完了

ご注意

- アラーム音（☞ P.96）、電源を ON ／ OFF（☞ P.22）する際の起動音／終了音のデータも、音声ガイドデータと一緒にコピーされます。
- LED 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続ケーブルを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

アップグレード機能

Olympus Sonority は、Plus 版へアップグレード（有償）することで、より高度な機能に拡張することができます。また Olympus Sonority Plus では、音楽編集プラグインを購入することで高度なエフェクト編集などをお楽しみいただけます。音楽編集プラグインを追加するには、Olympus Sonority Plus のアップグレードが必要です。

■ ご購入およびアップグレードのしかた：

Olympus Sonority Plus を購入し、Olympus Sonority からアップグレードするには、以下の手順で操作します。

1 Olympus Sonority を起動する

2 ［ヘルプ］メニューの［**Olympus Sonority Plus の購入**］を選ぶか、ツールバーの［ ］ボタンをクリックする

- ウェブブラウザが起動し、Olympus Sonority Plus の購入サイトが表示されます。画面の案内に従って操作してください。購入完了後、画面上またはメールによりアップグレードキーが発行されます。

3 ［ヘルプ］メニューから［**アップグレードキーの登録**］を選ぶ

- ［**アップグレードキーの登録**］ダイアログが表示されます。

4 アップグレードキーの登録

- 次回起動時に、Olympus Sonority Plus へのアップグレードが行われ、Olympus Sonority Plus としてご利用いただけます。

Olympus Sonority Plus へのアップグレードを確認するには

ブラウズ画面で、メインツリービューのルート［**Olympus Sonority**］をクリックし、インフォメーション画面を表示させてください。アップグレードキーが登録されていることが確認できます。または［**ヘルプ**］メニューの［**Olympus Sonority について**］を選択すると、Olympus Sonority Plus に登録したアップグレードキーが表示されます。音楽編集プラグインは、２０種類以上のエフェクト機能、スペクトラムアナライザ機能が追加されます。詳細はオンラインヘルプ（☞ P.132）をご覧ください。

ご注意

- アップグレードキーの購入にはインターネットが利用できる環境が必要です。ご利用できない場合はカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- アップグレードキーのご購入につきましては、Olympus Sonority のオンラインヘルプ（☞ P.132）をご覧ください。

■ Olympus Sonority Plus でできること：

Olympus Sonority Plus 版は通常版の機能に加え、音楽ファイルのさまざまな編集機能があります。詳しい操作手順や詳細設定については、オンラインヘルプ（☞ P.132）をご覧ください。

MP3 編集：

MP3 ファイルおよびタグの編集、書き出し機能。

音楽 CD の作成：

CD 書き込みフォルダに登録した音声ファイルによる音楽 CD 作成機能。

レコーダーメニューの設定：

本機の設定（アラームの設定, タイマー録音など詳細な設定）機能。

■ 音楽編集プラグインでできること：

Olympus Sonority Plus で音楽編集プラグインをご購入いただくと、音楽編集の幅が広がる高度な機能を追加することができます。詳しい購入方法や操作方法については、オンラインヘルプ（☞ P.132）をご覧ください。

エフェクト機能：

20 種類以上の高度なエフェクト機能を使って、音楽ファイルをより高度に編集できます。

スペクトラムアナライザ：

波形編集画面で再生中の音声の周波数分布をリアルタイムに表示します。

無制限のトラック編集：

同時に編集可能なトラック数の制限がなくなります。

オンラインヘルプの使いかた

オンラインヘルプを表示するには、以下を行ってください。

- Olympus Sonority を起動した状態で、[**ヘルプ**] メニューから [**Olympus Sonority のヘルプ**] を選択する。

■ 目次で検索する：

1 オンラインヘルプを表示させてから、目次のタブをクリックする

2 検索したい項目の [📕] をダブルクリックする

- 選択項目のタイトルが表示されます。

3 検索したい項目の [📄] をダブルクリックする

- 選択項目の説明が表示されます。

■ キーワードで検索する：

1 オンラインヘルプを表示させてから、[索引] の項目をクリックする

- 検索可能なキーワードの一覧が表示されます。

2 キーワードをクリックする

- 選択項目の説明が表示されます。

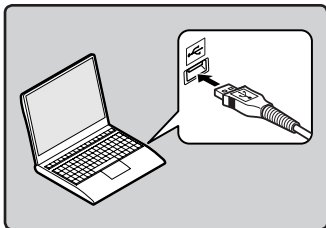
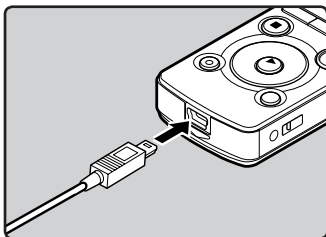
ご注意

- 本書は Olympus Sonority の基本的な操作を説明しています。メニューや詳細についてはオンラインヘルプをご覧ください。オンラインヘルプは Olympus Sonority のインストール後から使用できます。

パソコンに接続する

> **本機の接続は、必ず Olympus Sonority をインストールしてから行ってください（☞ P.126）。**

1 パソコンを起動する

2 USB 接続ケーブルをパソコンの USB ポートに接続する

3 本機が停止または電源が切れている状態で、本機底面の USB 端子へ USB 接続ケーブルを接続する

- USB 接続中は、本機のディスプレイに［**PC と接続中です**］と表示されます。
- 本機の USB 接続設定で、［**AC アダプタ接続**］を設定していると、パソコンと接続状態になりません。USB 接続設定を［**PC 接続**］にしてください（☞ P.114）。
- Windows の場合、［**マイコンピュータ**］を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。microSD カードが入っていると、［**リムーバブルディスク**］として使用できます。
- Macintosh の場合、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。microSD カードが入っている場合は［**Untitled**］と表示されます。

ご注意

- 本機のホールドは解除してください。
- パソコンの USB ポートについては、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- USB コネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていない場合、正常に動作しません。
- USB ハブを経由して本機を接続すると、動作が不安定になることがあります。この場合、USB ハブを使用しないでください。
- USB 接続ケーブルは必ず付属の専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用になると、故障の原因となりますので、絶対におやめください。 またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。

パソコンから取り外す

Windows

1 画面右下のタスクバーの[ ]をクリックして、**[USB大容量記憶装置デバイス－ドライブを安全に取り外します]**をクリックする

- ご使用のパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります。
- ハードウェアの取り外しウィンドウが表示されたら、ウィンドウを閉じてください。

2 本機の LED 表示ランプが消灯していることを確認し、本機をパソコンから取り外す

Macintosh

1 デスクトップに表示されている本機のリムーバブルアイコンを、ドラッグ＆ドロップでゴミ箱に移動する

2 本機の LED 表示ランプが消灯していることを確認し、本機をパソコンから取り外す

ご注意

- LED 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。

ファイルをパソコンに取り込む

音声録音用の 5 つの フォルダは、パソコン上でそれぞれ［**FOLDER_A**］、［**FOLDER_B**］、［**FOLDER_C**］、［**FOLDER_D**］、［**FOLDER_E**］という名前で表示され、その中に録音した音声ファイルが保存されています。パソコン内のお好きなフォルダにコピーしてください。

Windows

1 本機をパソコンに接続する
(☞ P.133)

2 エクスプローラを起動する

- Windows の場合、［**マイコンピュータ**］を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。microSD カードが入っていると、［**リムーバブルディスク**］として使用できます。

3 製品名のフォルダをクリックする

4 データをコピーする

5 本機をパソコンから取り外す
(☞ P.134)

Macintosh

1 本機をパソコンに接続する
(☞ P.133)

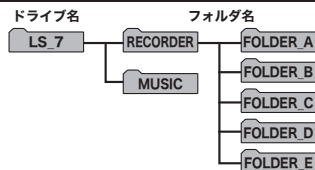
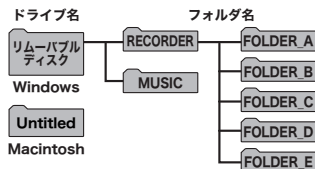
- Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。microSD カードが入っている場合、［**Untitled**］というドライブ名で認識されます。

2 デスクトップの製品名のリムーバブルアイコンをダブルクリックする

3 データをコピーする

4 本機をパソコンから取り外す
(☞ P.134)

■ パソコンを接続した場合のドライブ名とフォルダ名

ご注意

- データ通信中は［**データ送信中**］または［**データ受信中**］と表示され、LED 表示ランプが点滅します。LED 表示ランプ点滅中は、絶対に USB ケーブルを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。
- Mac OS の標準環境では、WMA 形式のファイルは再生できません。
- Windows の標準環境では、24bit の WAV 形式のファイルは再生できません。Olympus Sonority をご使用ください。

パソコンの外部メモリとして使う

IC レコーダー、ミュージックプレーヤーとしての使いかたのほか、本機はパソコンの外部メモリとして、パソコンからのデータ保存や読み出しにもご使用いただけます。
本機とパソコンを接続すれば、本機のデータをパソコンへ転送したり、パソコンに保存されたデータを本機に保存できます。

Windows

1 本機をパソコンに接続する
(☞ P.133)

2 エクスプローラを起動する

- ［**マイコンピュータ**］を開くと、製品名のドライブ名で認識されます（ご使用のパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります）。

3 製品名のフォルダをクリックする

4 データをコピーする

5 本機をパソコンから取り外す
(☞ P.134)

Macintosh

1 本機をパソコンに接続する
(☞ P.133)

- Mac OS に本機を接続すると、デスクトップ上に製品名のドライブ名認識されます。

2 デスクトップの製品名のリムーバブルアイコンをダブルクリックする

3 データをコピーする

4 本機をパソコンから取り外す
(☞ P.134)

ご注意

- データ通信中は［**データ送信中**］または［**データ受信中**］と表示され、LED 表示ランプ点滅します。LED 表示ランプが点滅中は、絶対に USB ケーブルを抜かないでください。データが破損する恐れがあります。

警告表示一覧

表示	詳細	解決方法
電池残量がありません (Battery Low)	電池残量がない。	新しい電池に交換するか、充電してください（☞ P.17、P.19）。
ファイルロック中！消去できません (File Protected)	ファイルロックがかかっているファイルを消去しようとした。	ファイルロックを解除してください（☞ P.58）。
A 〜 E フォルダで録音してください (Cannot record in this folder)	［**レコーダー**］モード以外で録音しようとしている。	［**レコーダー**］モードに切り替え、［**フォルダ A**］〜［**フォルダ E**］を選び直して録音してください（☞ P.29、P.32）。
これ以上記録できません（インデックスマークをつけるとき） (Index Mark Full)	ファイル内でインデックスマークを最大数（16）まで使用している。	必要のないインデックスマークを消去してください（☞ P.45）。
これ以上記録できません（テンプマークをつけるとき） (Temp Mark Full)	ファイル内でテンプマークを最大数（16）まで使用している。	必要のないテンプマークを消去してください（☞ P.45）。
ファイル件数がいっぱいです (Folder Full)	フォルダ内のファイル件数が最大数（200）になっている。	必要のないファイルを消去してください（☞ P.49）。
メモリに異常があります (Memory Error)	内蔵メモリに異常がある。	当社カスタマーサポートセンターにご連絡ください（☞ 裏表紙）。
microSD カードに異常があります (Card Error)	microSD カードが正しく認識されていない。	もう一度 microSD カードの抜き差しを行ってください（☞ P.27、P.28）。
不正コピーされたファイルです (License Mismatch)	不正にコピーされた音楽ファイルです。	ファイルを消去してください（☞ P.49）。
メモリがいっぱいです (Memory Full)	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください（☞ P.49）。
ファイルがありません (No File)	フォルダ内にファイルがない。	他のフォルダを選び直してください（☞ P.30 〜 P.32）。
初期化に失敗しました (Format Error)	初期化に問題があった。	メモリをもう一度初期化し直してください（☞ P.118）。

表示	詳細	解決方法
管理ファイルが作成できません PC に接続して不要なファイルを消去してください (Can' t Make The System File.Connect To PC And Delete Unnecessary File)	メモリ残量がないため、管理用のファイルが作成できない。	パソコンに接続し、不要なファイルを消去してください。
このファイルは再生できません (Cannot play this file)	未対応フォーマットです。	本機で再生可能なファイルを選び直してください（☞ P.43)。
ファイルを選んでください (Please Select The File)	ファイルが選択されていない。	ファイルを選んでから操作してください（☞ P.30 ～ P.32)。
移動（コピー）できない フォルダです (Same folder. Can't be moved（copied）.)	同じフォルダに移動（コピー）しようとしている。	別のフォルダを選んでください。
移動（コピー）できない ファイルがあります (Same files. Can't be moved（copied).)	移動（コピー）先に同一ファイル名がある場合。	ファイルを選び直してください。
分割できないファイルです (This file can't be divided.)	本機で録音した MP3 形式、WAV 形式以外のファイルを分割しようとしている。	ファイルを選び直してください。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
ディスプレイに何も表示されない	電池が正しく入っていない。	電池の ⊕ と ⊖ を確かめてください（☞ P.17）。
	電池残量がない。	新しい電池に交換するか、充電してください（☞ P.17、P.19）。
	電源が切れている。	電源を入れてください（☞ P.22）。
操作できない	電池残量がない。	新しい電池に交換するか、充電してください（☞ P.17、P.19）。
	電源が切れている。	電源を入れてください（☞ P.22）。
	ホールドがかかっている。	ホールドを解除してください（☞ P.23）。
録音できない	メモリ残量がない。	必要のないファイルを消去してください（☞ P.49）。
	ファイル件数が最大記録件数になっている。	他のフォルダを選び直してください（☞ P.30 ～ P.32）。
外部マイクから録音できない	プラグインパワー対応の外部マイクを接続したが、［**プラグインパワー**］の設定が［**OFF**］になっている。	プラグインパワー対応の外部マイクを接続した場合、［**プラグインパワー**］の設定を［**ON**］にしてください（☞ P.86）。
再生音が聞こえない	**EAR** ジャックにイヤホンを接続している。	内蔵スピーカで再生する場合、イヤホンを取り外してください。
	音量が［**00**］になっている。	ボリュームを調節してください（☞ P.40）。
録音のレベルが小さい	録音レベルを調整していない。	録音レベルを調整してもう一度録音してください（☞ P.71）。
	マイク感度が低い。	マイク感度の設定を［**高**］または［**中**］にしてもう一度録音してください（☞ P.67）。
	接続した外部機器の出力レベルの過少が考えられます。	外部機器の出力レベルを調整してください。

症状	考えられる原因	対処方法
音声ファイルの音が歪む	録音レベルを調整していない。	録音レベルを調整してもう一度録音してください（☞ P.71）。
	録音レベルや接続した外部機器の出力レベルの過多が考えられます。	録音レベルを調整（☞ P.71）をしてもきれいに録音できない場合、外部機器の出力レベルを調整してください。
音声ファイルがステレオ録音されてない	接続した外部マイクがモノラルである。	外部モノラルマイクを接続して録音すると、L チャンネルのみに音声が録音されます。
	［**録音モード**］の設定がモノラル録音形式である。	［**録音モード**］の設定をステレオ形式から選んでください（☞ P.68）。
	［**指向性マイク**］の設定が＋側になっている。	［**指向性マイク**］の設定を［**OFF**］にしてください（☞ P.72）。
音声ファイルがない	録音したフォルダではない。	他のフォルダを選び直してください（☞ P.30 ～ P.32）。
再生時に雑音がする	録音時に本機をこすったりした。	————
	録音時、再生時に本機を携帯電話や蛍光灯近くに置いている。	操作時に本機の位置を変えてください。
	接続した外部マイクと本機の設定が合っていない。	プラグインパワー機能に対応していないマイクを接続した場合、［**プラグインパワー**］設定を［**OFF**］にしてください（☞ P.86）。
録音中にイヤホンから音が聞こえない	［**録音モニター**］の設定が［**OFF**］になっている。	［**録音モニター**］の設定を［**ON**］にしてください（☞ P.85）。
ファイルが消去できない	ファイルロックがかかっている。	ファイルロックを解除してください（☞ P.58）。
	読み取り専用ファイルである。	ファイルロックを解除するかパソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
フォルダが消去できない	フォルダ内に本機で認識できないファイルがある。	パソコンに接続してフォルダを消去してください（☞ P.133）。

症状	考えられる原因	対処方法
録音モニターでノイズが聞こえる	ハウリングをおこしています。	アンプ内蔵スピーカなどを接続している場合、録音中にハウリングをおこすおそれがあります。 録音モニターはイヤホンをご使用になるか、録音中は［**録音モニター**］を［**OFF**］にすることをおすすめします（☞ P.85）。
		イヤホンとマイクの距離を離す、マイクをイヤホンの方へ向けないなど調整をしてください。
インデックスマーク・テンプマークがつけられない	マーク件数が最大（16 件）になっている。	必要のないマークは消去してください（☞ P.45）。
	ファイルロックがかかっている。	ファイルロックを解除してください（☞ P.58）。
	読み取り専用ファイルである。	ファイルロックを解除するかパソコンで読み取り専用の設定を解除してください。
充電ができない	［**電池設定**］の設定が ［**アルカリ電池**］になっている。	付属の充電池をご使用の上、電池設定を［**ニッケル水素電池**］にしてください。また、充電池の推奨温度範囲外でのご使用はお避けください（☞ P.18、P.21 、P.112）。
	►**OK** ボタンを押していない。	USB 接続したときに表示される確認画面に従い、►**OK** ボタンを押してください。
	［**USB クラス**］の設定が［**コンポジット**］になっている。	［**USB クラス**］の設定を［**ストレージ**］にしてください（☞ P.114）。
パソコン側から本機を認識できない	［**USB 接続**］の設定が［**AC アダプタ接続**］になっている。	［**USB 接続**］の設定を［**PC 接続**］にしてください（☞ P.114）。

アクセサリー（別売）

OLYMPUS 製 IC レコーダー専用のアクセサリーは、弊社 Web サイトの「オンラインショップ」で直接ご購入いただけます。http://shop.olympus-imaging.jp/index.html

ステレオマイクロホン：ME51SW

大口径マイク内蔵で、高感度のステレオ録音が可能です。

2 チャンネルマイクロホン（全指向性）：ME30W

モノラルマイクロホン ME30 2本と小型三脚、接続アダプタのセットです。プラグインパワー対応の高感度全指向性マイクで、楽器演奏の録音に適しています。

コンパクトガンマイクロホン（単一指向性）：ME31

野鳥の声の野外録音などに役立つ指向性のガンマイクです。金属切削ボディの採用により、高い本体剛性を実現しました。

コンパクトズームマイクロホン：ME32（単一指向性）

三脚と一体化しているので、テーブルに設置して会議や講義など離れた場所の音を録音したい場合に適しています。

モノラルマイクロホン（単一指向性）：ME52W

周囲の雑音の影響を軽減し、離れた場所の音を録音したい場合に使用します。

モノラルタイピンマイク（全指向性）：ME15

タイピン型ホルダー付きの目立たない小型マイクです。

ウィンドジャマー：WJ2

風切音などの低い周波数成分を低減します。

テレホンピックアップ：TP7

イヤホン型マイクを耳に入れてそのまま通話できます。電話の声や会話を明瞭に録音できます。

単 4 形ニッケル水素充電池：BR404

持続性に優れた高性能充電池です。

USB 接続 AC アダプタ：A514

USB 接続型 DC5V の AC アダプタです。（AC100-240V　50/60Hz）

コネクティングコード：KA333

両端がステレオミニプラグ（φ 3.5）の抵抗入り接続コードです。イヤホン出力をライン入力に接続して録音する場合に使用します。モノラルミニプラグ（φ 3.5）、またはモノラルミニミニプラグ（φ 2.5）への変換プラグアダプタ（PA331/PA231）も同梱しています。

ユーティリティーソフト：Olympus Sonority Plus

Voice Treck で録音した音声をパソコン上で再生したり、ファイル管理することができます。またポッドキャスティングにも対応しています。

専用リモコンセット：RS30W

受信機を REMOTE ジャックに取り付けるとリモコンで本機の録音／停止の操作ができます。受信位置は調整できるので、さまざまな角度から本機を操作できます。

用語の説明

用語	意味
サンプリング周波数（サンプリングレート）［Hz・kHz］	サンプリング周波数は、音のきめ細かさを決める数値のことです。この周波数が高いほど前後の音との差が減少し、なめらかな流れの録音ができます。
量子化ビット数（ビット深度）［bit］	量子化ビット数は、音声等のアナログ信号をデジタル化する際に、どれだけ多くのデータで記録を残すかを決める数値のことです。
ビットレート［kbps］	1 秒間に何ビットのデータで再現しているかを示す数値のことです。例えば 128kbps のファイルは 1 秒間に 128kbit を使って再現されているデータということになります。ビットレートの数値を下げるほど、音は劣化しますがデータ容量が少なく済みます。ビットレートの数値が同じでも、MP3 や WMA などの音声圧縮方式によって音質が異なります。MP3/128kbps と WMA/128kbps では、同じ音質にはなりません。
リニア PCM 方式	得られたデータに対して圧縮等の処理を行わないため、音質を損なわずにありのままの音を記録することができます。音楽 CD(CD-DA) がこの方式を利用しています。
MP3 方式	最も広く普及している音声圧縮方式の一つです。音楽 CD 並の音質をほとんど劣化させずに、データ容量を元データの約 1/11 まで圧縮することができるとされています。
WMA 方式	Microsoft 社が開発した音声圧縮方式です。音楽 CD 並の音質をほとんど劣化させずに、データ容量を元データの約 1/22 まで圧縮することができるとされています。
メモリ（メディア）	記憶媒体のことで、電源が切れてもデータは消えない構造になっています。本書では内蔵フラッシュメモリ、および microSD カードのことを指します。
プラグインパワー方式	IC レコーダーなどの録音機からマイクロホンへ電源を供給する方式のことです。

主な仕様

一般事項

■ **記録形式：**
リニア PCM (Pulse Code Modulation) 形式
MP3（MPEG-1 Audio Layer3）形式
WMA（Windows Media Audio）形式

■ **規定入力レベル：**
− 70 dBv

■ **サンプリング周波数：**
リニア PCM 形式

96 kHz 24 bit	96 kHz
88.2 kHz 24 bit	88.2 kHz
48 kHz 16 bit	48 kHz
44.1 kHz 16 bit	44.1 kHz
44.1 kHz mono	44.1 kHz

MP3 形式

320 kbps	44.1 kHz
256 kbps	44.1 kHz
128 kbps	44.1 kHz
mono	44.1 kHz

WMA 形式

128 kbps	44.1 kHz
64 kbps	44.1 kHz
32 kbps	22 kHz
mono	8 kHz

■ **ヘッドホン最大出力：**
3 mW ＋ 3 mW（22 Ω負荷時）

■ **記録媒体：**
内蔵型 NAND FLASH メモリ（4GB）
microSD カード
（512 MB 〜 32 GB に対応）

■ **スピーカ：**
φ 20 mm 丸型ダイナミックスピーカ内蔵

■ MIC **ジャック：**
φ 3.5 mm インピーダンス 2.2 k Ω

■ EAR **ジャック：**
φ 3.5 mm インピーダンス 8 Ω以上

■ **スピーカ実用最大出力：**
400 mW（スピーカ 8 Ω）

■ **電源：**
規定電圧：3 V
電　　池：単 4 形乾電池 2 本（LR03）またはオリンパス製ニッケル水素充電池 2 本
外部電源：USB 接続 AC アダプタ（A514）（DC5V）

■ **外形寸法：**
112 mm × 39.8 mm × 15.9 mm
（最大突起部含まず）

■ **質量：**
90 g（電池含む）

■ **使用温度：**
0 〜 42℃

■ **同梱品：**
本体／ USB 接続ケーブル／ストラップ／キャリングケース／ウィンドスクリーン／単 4 形ニッケル水素充電池× 2 ／ Olympus Sonority CD-ROM ／取扱説明書（保証書付）

周波数特性

■ MIC **ジャック録音時：**

リニア PCM 形式

96 kHz 24 bit	40 Hz ～ 44 kHz
88.2 kHz 24 bit	40 Hz ～ 42 kHz
48 kHz 16 bit	40 Hz ～ 23 kHz
44.1 kHz 16 bit	40 Hz ～ 21 kHz
44.1 kHz mono	40 Hz ～ 21 kHz

MP3 形式

320 kbps	40 Hz ～ 20 kHz
256 kbps	40 Hz ～ 20 kHz
128 kbps	40 Hz ～ 17 kHz
mono	40 Hz ～ 13 kHz

WMA 形式

128 kbps	40 Hz ～ 19 kHz
64 kbps	40 Hz ～ 16 kHz
32 kbps	40 Hz ～ 9 kHz
mono	40 Hz ～ 3 kHz

■ **内蔵マイク録音時：**

20 Hz ～ 20 kHz（[**センターマイク ON**]）
70 Hz ～ 20 kHz（[**センターマイク OFF**]）
（但し、MP3 形式または WMA 形式で録音する場合、周波数特性の上限値は各録音モードによる）

■ **再生時：**

20 Hz ～ 20 kHz

電池持続時間

以下の値はあくまでめやすです。

■ アルカリ乾電池：

録音モード		内蔵ステレオマイク録音時	イヤホン再生時
リニア PCM 形式	44.1 kHz 16 bit	30 時間	41 時間
MP3 形式	320 kbps	33 時間	48 時間
WMA 形式	128 kbps	34 時間	47 時間
	mono	44 時間	51 時間

■ ニッケル水素充電池：

録音モード		内蔵ステレオマイク録音時	イヤホン再生時
リニア PCM 形式	44.1 kHz 16 bit	22 時間	30 時間
MP3 形式	320 kbps	21 時間	34 時間
WMA 形式	128 kbps	23 時間	33 時間
	mono	31 時間	37 時間

ご注意

- 電池持続時間は当社試験法によるものです。使用電池、使用条件により大きく変ります。
- 繰り返し使用したニッケル水素充電池では電池持続時間は短くなります。
- microSD カードご使用時は電池持続時間は短くなります。
- ご使用の電池の性能により電池持続時間は変化します。

録音時間

以下の値はあくまでめやすです。

■ リニア PCM 形式：

録音モード	内蔵フラッシュメモリ (4 GB)	microSD カード				
		1 GB	2 GB	4 GB	8 GB	16 GB
96 kHz 24 bit	1 時間 50 分	25 分	55 分	1 時間 50 分	3 時間 40 分	7 時間 25 分
88.2 kHz 24 bit	2 時間	25 分	55 分	2 時間	4 時間	8 時間 5 分
48 kHz 16 bit	5 時間 30 分	1 時間 20 分	2 時間 45 分	5 時間 30 分	11 時間 5 分	22 時間 20 分
44.1 kHz 16 bit	6 時間	1 時間 25 分	2 時間 55 分	6 時間	12 時間 5 分	24 時間 15 分
44.1 kHz mono	12 時間	2 時間 55 分	5 時間 55 分	12 時間	24 時間 10 分	48 時間 35 分

■ MP3 形式：

録音モード	内蔵フラッシュメモリ (4 GB)	microSD カード				
		1 GB	2 GB	4 GB	8 GB	16 GB
320 kbps	26 時間 30 分	6 時間 30 分	13 時間	26 時間 30 分	53 時間	107 時間
256 kbps	33 時間	8 時間	16 時間 30 分	33 時間	66 時間 30 分	134 時間
128 kbps	66 時間 30 分	16 時間	33 時間	66 時間	133 時間	268 時間
mono	133 時間	32 時間 30 分	66 時間	132 時間	267 時間	536 時間

■ WMA 形式：

録音モード	内蔵フラッシュメモリ (4 GB)	microSD カード				
		1 GB	2 GB	4 GB	8 GB	16 GB
128 kbps	65 時間	15 時間 30 分	32 時間	64 時間 30 分	130 時間	262 時間
64 kbps	130 時間	31 時間 30 分	64 時間 30 分	129 時間	261 時間	523 時間
32 kbps	260 時間	63 時間 30 分	128 時間	259 時間	522 時間	1046 時間
mono	1017 時間	248 時間	502 時間	1014 時間	2042 時間	4089 時間

ご注意

- 小刻みに録音を繰り返したときは、録音可能時間がこれより短くなる場合があります（録音可能時間および録音時間表示はめやすとしてご使用ください）。
- ご使用の microSD カードにより空き容量に差が出ることがあるため、録音可能時間にも差が発生します。

1 ファイルあたりの最長録音時間

- 1 ファイルあたりの最大容量は、MP3 形式は約 4GB に制限されています。
- メモリ残量にかかわらず、1 ファイルあたりの最長録音時間は下記の値に制限されています。

■ リニア PCM 形式：

録音モード	録音時間
96 kHz 24 bit	約 1 時間
88.2 kHz 24 bit	約 1 時間
48 kHz 16 bit	約 3 時間
44.1 kHz 16 bit	約 3 時間 20 分
44.1 kHz mono	約 6 時間 40 分

■ MP3 形式：

録音モード	録音時間
320 kbps	約 29 時間 40 分
256 kbps	約 37 時間 10 分
128 kbps	約 74 時間 30 分
mono	約 149 時間

■ WMA 形式：

録音モード	録音時間
128 kbps	約 26 時間 40 分
64 kbps	約 26 時間 40 分
32 kbps	約 53 時間 40 分
mono	約 148 時間 40 分

本機の仕様および外観は性能改良などのため、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

索引

記号

アルファベット

D

E

F

I

L

M

O

P

R

S

U

W

かな

あ

い

お

か

け

こ

さ

＜保証規定＞

1. この保証書は、取扱説明書、品質表示ラベル等の注意書に従った正常なお取扱いにより発生した故障に対して、お買い上げ日から満一年間、当社が無料修理の責任を負うことを保証するものです。
2. 有効期間内に故障して無料修理を受けられる場合は、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店又は別紙の当社サービスステーションに依頼してください。当社では本機の補修用修理部品は、製造打ち切り後 6 年間をめやすに保有しており、期間中は原則として修理をお受けいたします。期間後でも修理可能の場合もありますのでお問い合わせください。
3. 販売店、または当社サービスステーションにご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。また販売店と当社間の運賃諸掛につきましては、輸送方法によって（問屋便以外を使用した場合）一部ご負担いただく場合があります。
4. ご転居、ご贈答品等でお買い上げ販売店に依頼できない場合は、最寄りの当社サービスステーションにお問い合わせください。
5. この保証書は、本書に明示した期間、条件の元において無料修理をお約束するものです。従って、この保証書は、オリンパスイメージング株式会社、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 本製品の故障に起因する付随的損害（録音、再生に要した諸費用及び録音、再生により得べかりし利益の損失等）については保証致しかねます。
7. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
   - イ. ご使用上の誤り及び当社サービスステーション及び指定する修理取扱い所以外で行われた修理･改造･分解･掃除等による故障。
   - ロ. お買い上げ後の輸送、落下等による故障及び損傷。
   - ハ. 火災・異常電圧・地震・水害・落雷・公害・その他、天災・地変による破損又は故障。
   - ニ. 本書のご提示がない場合。
   - ホ. 本書にお買い上げ年月日、シリアル No.、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   - へ. 電池等の消耗品による故障。
8. 保証の対象は本体のみです。

＜保証書取扱い上の注意＞

本書は日本国内においてのみ有効です。（THIS WARRANTY CARD IS VALID ONLY IN JAPAN）
販売店名およびお買い上げ年月日が記載されていることを確認してください。記入もれがあった場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

＜保証責任者・保証履行者＞

オリンパス イメージング株式会社
〒163-0914 東京都新宿区西新宿 2 の 3 の 1
新宿モノリス

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。お買い上げの日から 1 年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

	無料修理保証期間	部品代	修理工料
本体	1 年	無料	
品名	リニアPCMレコーダー	型名	LS-7
シリアルNo.		お買い上げ日	年 月 日
販売店名	無効		

オリンパス イメージング株式会社

〒163-0914　東京都新宿区西新宿2の3の1 新宿モノリス

● **ホームページによる情報提供について**

製品仕様・パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を当社ホームページで提供しております。
また、オンライン修理受付の詳細やインターネットでのお申し込み、修理に関するお問い合わせ先（修理センター、国内サービスステーションなど）、カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間につきましても当社ホームページで最新情報をお知らせしております。
オリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● **製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）**

フリーダイヤル **0120-084215**

携帯電話・PHSからは042-642-7499

FAX　042-642-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

便利でお得なサービスメニューをご用意しています。

● **オンライン修理受付のご案内**

オンライン修理受付では、インターネットを利用して修理のお申し込みや修理の状況をご確認いただけます。また、下記にご案内しておりますピックアップサービス（引取修理）もオンライン修理受付からお申し込みいただけます。

● **ピックアップサービス（引取修理）のご案内**

オリンパス指定の運送業者が、梱包資材を持ってお客様のご指定の日時にご自宅へお伺いし、故障した製品をお預かりします。
お客様自身での梱包は不要です。その後弊社にて修理完成後、お客様のご自宅へ返送いたします。

電話でのお申し込みの場合：「オリンパス修理ピックアップ窓口」

0120-971995

営業時間：平日 8：00〜21：00
土・日・祭日 9：00〜17：00（指定休業日を除く）

※ 記載内容は変更されることがあります。

J1-BS0673-02　AP1105